

8670

ワイヤレスリングスキャナ

ユーザーズガイド

免責事項

Honeywell International Inc.（以下“ハネウエル”）は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならずハネウエルにお問い合わせください。本書の情報についてハネウエルでは一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容を備えたり実施したり、あるいは使用した結果発生した損害については、ハネウエルでは一切の責任を負いません。意図した結果を得るためのソフトウェアやハードウェアの選択と使用のすべての責任をハネウエルは負いません。

本書には、著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象となります。本書のどの部分も、ハネウエルの文書による事前承諾を得ずに複製、変更、または他言語への翻訳はできません。

Copyright © 2016 Honeywell International Inc. All rights reserved.

Web アドレス : www.honeywellaidc.com

Microsoft® Windows®, Windows NT®, Windows 2000, Windows ME, Windows XP、および Windows ロゴは Microsoft 社の登録商標です。

Bluetooth® のマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc の所有です。

Android™ はグーグル社の登録商標です。

Apple® は、米国およびその他の国で登録されたアップル社の登録商標です。

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を所有しています。

著作権については、www.hsmpats.com を参照してください。

目次

カスタマーサポート

テクニカルサポート	iii
製品のサービスと修理	iii
条件付き保証	iii
フィードバックの送信	iii

Chapter 1 - はじめに

本マニュアルについて	1-1
製品の開梱	1-1
リングスキャナ概要	1-1
トリガー回転	1-2
指へのリング装着	1-2
リングストラップをCリングへ交換	1-2
リングスキャナの装着	1-3
読み取り時の手首の位置	1-3
バッテリー及び充電情報	1-3
バッテリーの交換	1-3
バッテリーについての推奨事項	1-4
バッテリーの適切な処分	1-4
バッテリーの充電	1-5
ブザー・バイブレーション・LEDのシーケンスと意味	1-5
リングスキャナのBluetoothデバイスとのペアリング	1-6
HIDキーボードを使用してBluetoothデバイスとペアリング	1-6
ホストからの切断	1-7
Bluetooth PC/ノート型PCシリアルポートとのペアリング	1-8
ハネウエルモバイルコンピュータとペアリング	1-8
Android™ またはアップルデバイスとペアリング	1-9
ハネウエル車載コンピュータとペアリング	1-9
アクセスポイントとペアリング	1-9
読み取り方法	1-10
メニューバーコードのセキュリティ設定	1-10
カスタムデフォルトの設定	1-11
カスタムデフォルトのリセット	1-11

Chapter 2 - インターフェースの設定

はじめに	2-1
インターフェースのプログラム設定 - プラグ & プレイ	2-1
キーボードウェッジ	2-1
ノート型PCとの直接接続	2-1
RS232シリアルポート	2-1
RS485	2-2
RS485パケットモード	2-3
USB IBM SurePos	2-3
パソコンUSBもしくはマッキントッシュのキーボード	2-4
USB HID	2-4
USBシリアル	2-4
CTS/RTSエミュレーション	2-4
ACK/NAKモード	2-5

USB 用 Remote MasterMind™	2-5
Verifone® Ruby 端末の初期設定	2-5
Gilbarco® 端末の初期設定	2-6
Honeywell 2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定	2-6
Datalogic™ Magellan®2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定	2-6
NCR2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定	2-6
Wincor Nixdorf 端末の初期設定	2-7
Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定	2-8
Wincor Nixdorf RS232 モード A	2-8
国別キーボード	2-9
キーボードスタイル	2-16
キーボードの変換	2-17
制御キャラクタの出力	2-17
キーボード設定	2-18

Chapter 3 - ワイヤレスシステムの操作

スキャナの Bluetooth PIN コードの変更	3-1
Bluetooth/ISM 帯域ネットワークの最小化	3-1
自動再接続モード	3-1
再接続試行最高限度回数	3-2
再接続タイムアウト	3-2
Bluetooth / ISM ネットワークアクティビティの例	3-3
スキャナとホスト間の通信	3-3
スキャナおよびホストの設定	3-3
RF (無線周波) モジュールの操作	3-4
システム条件	3-4
スキャナが通信可能範囲外にあるとき	3-4
スキャナが通信可能範囲内へ戻ったとき	3-4
バッチモード有効時での通信可能範囲への出入り	3-4
スキャナのリセット	3-4
スキャナレポート	3-4
スキャナのアドレス	3-5
通信モード	3-5
通信固定モード - スキャナ 1 台の場合	3-5
通信オープンモード - スキャナ 1 台の場合	3-5
スキャナとの解除	3-5
通信固定されたスキャナの上書き	3-6
通信範囲外警告	3-6
アラームの種類	3-6
スキャナパワータイムアウトタイマー	3-7
フレキシブルパワーマネージメント	3-7
複数スキャナでの操作	3-8
スキャナ名	3-8
アプリケーションワークグループ	3-9
アプリケーションワークグループセレクション	3-10
工場出荷時設定の再設定：すべてのアプリケーションワークグループ	3-11
カスタムデフォルトのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ	3-11

アクセスポイントの操作	3-11
スキャナとアクセスポイントの接続	3-11
ホストからの切断およびアクセスポイントへの接続	3-12
リンクされたスキャナの交換	3-12
アクセスポイントの LED シーケンスと意味	3-12
アクセスポイントの操作	3-13
スキャナのページング	3-13
バッチモード	3-14
バッチモード：ブザー音	3-15
バッチモード：保存形式	3-15
バッチモード個数	3-15
バッチモード：出力順序	3-17
レコードの合計件数	3-17
最後のコードを削除	3-18
すべてのコードを削除	3-18
保存したデータをホストへ送信	3-18
バッチモード送信ディレイ（間隔）	3-18
ホストコマンドの認知	3-19
ホスト ACK タイムアウト	3-20

Chapter 4 - 入力・出力設定

起動ブザー	4-1
BEL ブザー	4-1
トリガークリック音	4-1
読み取り成功およびエラーインジケータ	4-2
ブザー - 読み取り成功時	4-2
ブザーの音量：読み取り成功時	4-2
ブザーの音程 - 読み取り成功時	4-2
振動：読み取り成功時	4-3
ブザーの音程：読み取り失敗時およびエラー発生時	4-3
ブザーの長さ：読み取り成功時	4-4
LED- 読み取り成功時	4-4
ブザーの回数：読み取り成功時	4-4
ブザーの回数：読み取り失敗時およびエラー発生時	4-4
読み取り成功ディレイ	4-5
ユーザー定義の読み取り成功ディレイ	4-5
マニュアルトリガーモード	4-5
シリアルトリガーモード	4-6
読み取りタイムアウト	4-6
低品質コード	4-6
低品質 1D コード	4-6
低品質 PDF コード	4-6
CodeGate®	4-7
ストリーミングプレゼンテーション™ モード	4-7
ハンズフリータイムアウト	4-8
携帯端末読み取りモード	4-8

再読み取りディレイ	4-8
ユーザー定義の再読み取りディレイ	4-9
2D 読み取りディレイ	4-9
照明	4-10
エイマーディレイ	4-10
ユーザー定義のエイマーディレイ	4-10
エイマーモード	4-10
センタリング	4-11
シングルコードセンタリング	4-11
カスタムセンタリング設定	4-11
優先シンボル	4-13
高優先度シンボル	4-13
低優先度シンボル	4-13
優先シンボルのタイムアウト	4-14
優先シンボルのタイムアウト	4-14
アウトプットシーケンスの概要	4-14
アウトプットシーケンスエディタ	4-14
アウトプットシーケンスを追加する	4-14
他の設定	4-15
アウトプットシーケンスエディタ	4-16
パーティカルシーケンス	4-16
アウトプットシーケンスの要求	4-17
複数シンボル	4-17
No Read	4-17
ビデオリバーズ（反転コード）	4-18
ワーキングオリエンテーション	4-19

Chapter 5 - データ編集

プリフィクス／サフィックスについて	5-1
プリフィクスまたはサフィックスの追加 :	5-1
1つまたはすべてのプリフィクスまたはサフィックスの削除	5-2
キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加	5-2
プリフィクスの設定	5-2
サフィックスの設定	5-3
ファンクションコード送信	5-3
キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ	5-3
キャラクタ間ディレイ	5-4
ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ（間隔）	5-4
ファンクション間ディレイ（間隔）	5-5
メッセージ間ディレイ	5-5

Chapter 6 - データフォーマット

データフォーマットエディタについて	6-1
データフォーマットの追加	6-1
他の設定	6-2
ターミナル ID テーブル	6-4

データフォーマットエディタコマンド（編集コマンド）	6-4
移動コマンド	6-8
検索コマンド	6-9
その他のコマンド	6-11
データフォーマッタ	6-13
データフォーマット非適合エラーブザー	6-14
基準／代用データフォーマット	6-15
データフォーマットの切り替え	6-15

Chapter 7 - シンボル

すべてのシンボル	7-2
読み取り桁数について	7-2
Codabar	7-3
Codabar の連結	7-4
Code 39	7-5
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	7-6
Full ASCII	7-7
Code 39 コードページ	7-7
Interleaved 2 of 5 (ITF)	7-8
NEC 2 of 5	7-9
Code 93	7-10
Code 93 コードページ	7-11
Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート/ストップ)	7-12
Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート/ストップ)	7-13
Matrix 2 of 5	7-14
Code 11	7-15
Code 128	7-16
ISBT 128 連結機能	7-16
Code 128 コードページ	7-17
GS1-128	7-18
Telepen	7-19
UPC-A	7-20
拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13	7-22
クーポン GS1 データバー 出力	7-22
UPC-E0	7-23
UPC-E1	7-25
EAN/JAN-13	7-26
UPC-A から EAN-13 への変換	7-26
ISBN 変換	7-28
EAN/JAN-8	7-28
MSI	7-30
GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)	7-32
GS1 データバー限定型 (リミテッド)	7-32
GS1 データバー拡張型 (エクスパンデッド)	7-33
Trioptic コード	7-33
Codablock A	7-34
Codablock F	7-35
ラベルコード	7-35

PDF417	7-36
MacroPDF417	7-36
MicroPDF417.....	7-37
GS1 コンポジットシンボル	7-37
UPC/EAN バージョン.....	7-38
GS1 エミュレーション.....	7-38
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	7-39
QR コード.....	7-40
QR コードページ.....	7-41
Data Matrix	7-41
Data Matrix コードページ	7-42
Maxi コード	7-42
Aztec コード.....	7-43
Aztec コードページ.....	7-44
中国郵便漢信 (Han Xin) コード	7-44
2次元郵便コード	7-45
2次元郵便コード (単独) :	7-45
2次元郵便コード (組み合わせ)	7-46
郵便コード - 1次元	7-49
中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)	7-49
韓国郵便	7-50

Chapter 8 - イメージングコマンド

シングル使用ベース	8-1
コマンドシンタックス.....	8-1
イメージスナップ : IMGSNP	8-1
IMGSNP モディファイア	8-1
画像送信 - IMGSHIP	8-4
IMGSHIP モディファイア	8-4
署名の取り込み - IMGBOX.....	8-11
署名取り込みの最適化.....	8-11
IMGBOX モディファイア	8-12
RF 初期設定のイメージングデバイス.....	8-14

Chapter 9 - ユーティリティ

すべてのシンボル体系へのテストコード ID プリフィクス追加.....	9-1
デコーダの改訂情報を表示	9-1
ドライバの改訂情報の表示	9-1
ソフトウェアの改訂情報表示.....	9-1
データフォーマットの表示	9-1
テストメニュー	9-2
TotalFreedom (トータルフリーダム)	9-2
プラグインアプリケーション.....	9-2
EZConfig-Scanning について	9-3
ウェブサイトからの EZConfig-Scanning のインストール	9-3
工場出荷時設定の再設定 :	9-4

Chapter 10 - シリアルプログラミングコマンド

記述上の語句	10-1
メニューコマンドシンタックス (構文)	10-1
質問コマンド	10-1
レスポンス	10-2
トリガーコマンド	10-3
カスタムデフォルトの再設定	10-3
メニューコマンド	10-4

Chapter 11 - 製品仕様

8670 ワイヤレスリングスキャナ製品仕様	11-1
必要な安全ラベル	11-3

Chapter 12 - 保守とトラブルシューティング

修理	12-1
保守	12-1
スキャナの清掃	12-1
ウィンドウの清掃	12-1
リングスキャナストラップおよびトリガーの交換	12-1
リングストラップ /C リングの取り外し	12-1
トリガーの交換	12-3
トラブルシューティング	12-3

Chapter A - 付録チャート

シンボルチャート	A-1
リニアシンボル	A-1
2次元シンボル	A-2
郵便シンボル	A-2
ASCII 変換チャート (コードページ 1252)	A-3
下位 ASCII リファレンステーブル	A-4
ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換	A-8
キーボードキーリファレンス	A-10

サンプルシンボル

プログラミングチャート



カスタマーサポート

テクニカルサポート

解決方法のためにナレッジベースを検索、またはテクニカルサポートポータルにログインし、問題を提出するには www.hsmcontactsupport.com にアクセスしてください。

最新の連絡先は、www.honeywellaidc.com/ja-jp を確認してください。

製品のサービスと修理

ハネウエルは、世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。サービスセンターは、www.honeywellaidc.com にアクセスし、**Support** を選択してください。製品を返送される前に、以下のサービスセンターに連絡し、RMA (Return Material Authorization) 番号を取得してください。

保証または保証外のサービスを受けられる場合は、製品に日付つきの購入記録のコピーを添付して返却してください。(送料はご負担願います。)

条件付き保証

保証情報は、www.honeywellaidc.com にアクセスし、**Resources>Warranty** をクリックしてください。

フィードバックの送信

当社発行資料の改善には、ユーザーからのフィードバックは何より重要です。本書に関するフィードバックについては、ハネウエルテクニカルコミュニケーション HSMJapanInquiry@Honeywell.com まで直接ご連絡ください。



はじめに

本マニュアルについて

本ユーザーズガイドでは、8670 ワイヤレスリングスキャナのインストールとプログラム設定の手順について説明します。また、製品の仕様、外形寸法、保証内容、およびカスタマーサポートに関する情報も含まれています。

ハネウェルのバーコードスキャナは、工場出荷時に一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。設定変更が必要な場合は、本書記載のバーコードを読み取ってプログラム設定してください。

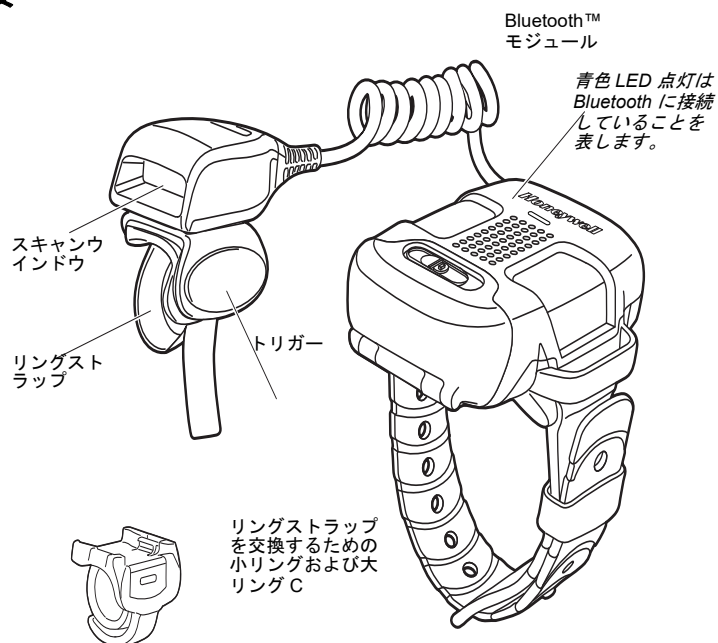
アスタリスク（*）が付いているオプションは工場出荷時の設定を示しています。

製品の開梱

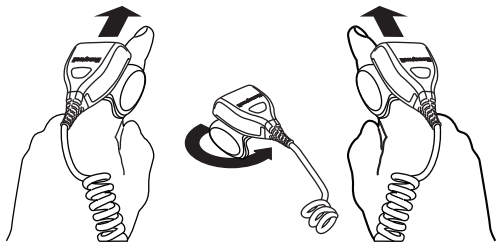
梱包箱開封後、以下の手順に従ってください。

- 出荷中の損傷がないか確認します。損傷があった場合は、すぐに配送した運送会社に連絡してください。
- 箱の中身に間違いがないか確認します。
- 返却もしくは保管用に、梱包箱はそのまま保管ください。

リングスキャナ概要



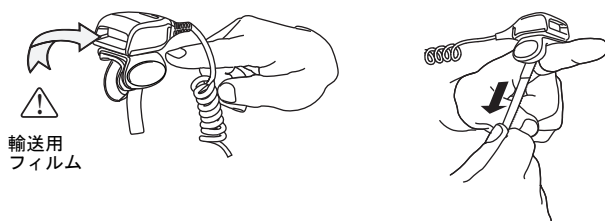
トリガー回転



左手

右手

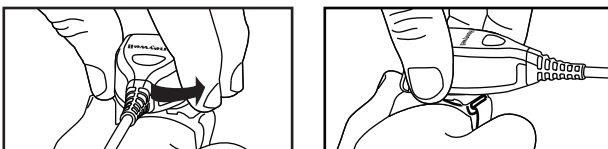
指へのリング装着



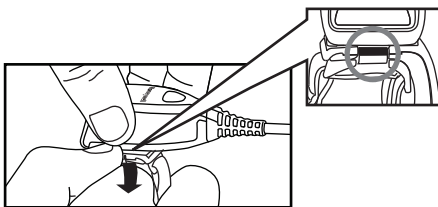
1. リングスキャナウィンドウから輸送用フィルムをはがしてください。
2. 緩めたリングストラップに指を入れてください。
3. 指にリングを固定するためにリングストラップを引いてください。
注意：Cリングを使用している場合、指にスライドさせてください。

リングストラップをCリングへ交換

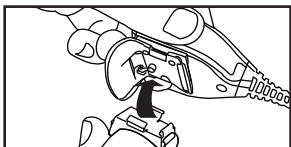
1. リングスキャナを90度回してください。



2. ラッチダウンを押してください。



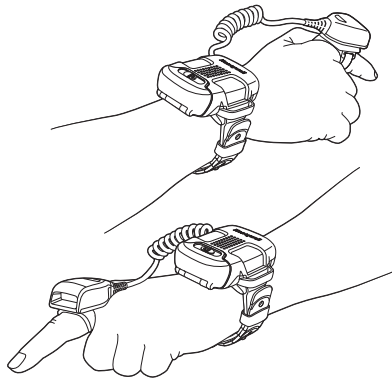
3. リングストラップを取り外してください。



4. Cリングを取り付けるためにこの指示の反対を行ってください。

リングスキャナの装着

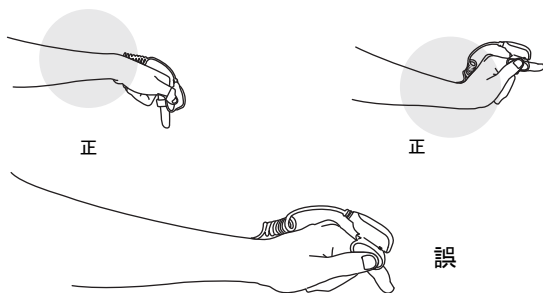
リングケーブルを手の下で交差させないでください。



右手 - ハネウェルロゴが正面に来るように
バッテリーモジュールを装着してください。

左手 - ハネウェルロゴが向こう側に向くよう
にバッテリーモジュールを装着してください。

読み取り時の手首の位置



警告：レーザービームを直視しないでください。



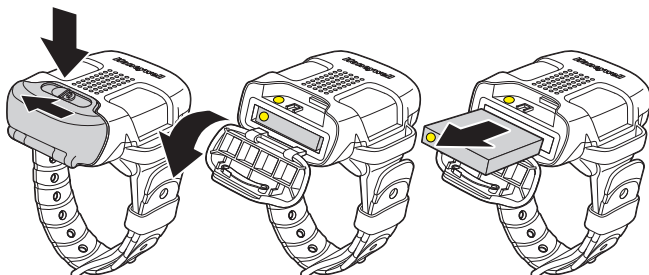
バッテリー及び充電情報

使用する前に、バッテリーを満充電にしてください。8650 用 8 連バッテリーチャージャーは別売です。

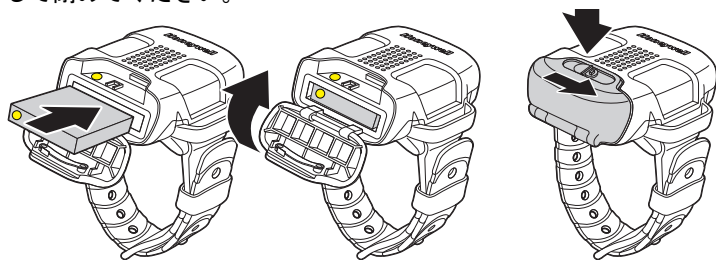
バッテリーの交換

注意：ユニット内部への埃の蓄積を防ぐために、バッテリーは埃または微粒子がない環境下で交換してください。

リングスキャナの LED が赤く点滅した場合、バッテリー残量が少ないことを示しています。バッテリーを交換するためには、ボタンを押し、Bluetooth™ モジュールを開けるためのロックをスライドさせ、バッテリーを取り外してください。



コンパートメントにバッテリーを交換し、バッテリーの黄色いドットとコンパートメントの端に合わせ、ロックをスライドして閉めてください。



Bluetooth モジュールの 3.7V、750mAh リチウムイオンバッテリーは、Bluetooth モジュールを 8 時間電源供給しおよそ 24 時間スタンバイするように設計されています。出荷時、バッテリーはほとんど放電した状態です。最初に使用する際、最適な性能を確保する為に最低 4 時間の充電を行なってください。

Bluetooth モジュールは電源オンオフスイッチがありません。バッテリーが装着されている場合、ユニットとアクセサリはオンです。電源をオフまたはユニットをオフにするためにバッテリーを取り外してください。



注意： バッテリー交換を誤ると、爆発するおそれがあります。当装置には部品番号 HNP-40、定格 3.7 Vdc、2.77Whr のハネウエル製リチウムイオン電池パックのみをご使用ください。ハネウエル提供以外のバッテリーを使用して故障した場合、保証の対象外です。使用済みバッテリーは、それを廃棄する国の所轄省庁が指定したリサイクル方法に従って処分してください。

バッテリーについての推奨事項

- バッテリーはリチウムイオン電池で、完全に充電せずにも使えますし、耐用寿命に悪影響を及ぼすことなく、放電しきってからでなくても充電できます。この種のバッテリーについては、充電 / 放電コンディショニングをする必要はありません。
- 欠陥のあるバッテリーは、スキャナ破損の原因になりますので、直ちに交換してください。
- バッテリーは何回も充電できますが、最終的には消耗してしまいます。十分に充電できなくなった場合、バッテリーを交換してください。
- 電池や充電器が正常に機能しているか判らないときには、ハネウエルが正規サービスセンターへ送って点検してください。詳細については[カスタマーサポート iii](#) ページを参照してください。を参照してください。

リチウム電池の安全に関する注意事項

- バッテリーを燃やしたり、加熱したりしないこと。
- 火気・高温の場所を避けて保管すること。
- 金属製品とともにバッテリーを保管したり、所持したりしないこと。
- 水気を避け、バッテリーを濡らさないようにすること。
- 金属製品を使ってバッテリーの陽極と陰極を接続（ショート）しないこと。
- バッテリーに穴を開けたり、たたいたり、踏んだり、強い衝撃を与えたりしないこと。
- バッテリーを解体・改造しないこと。

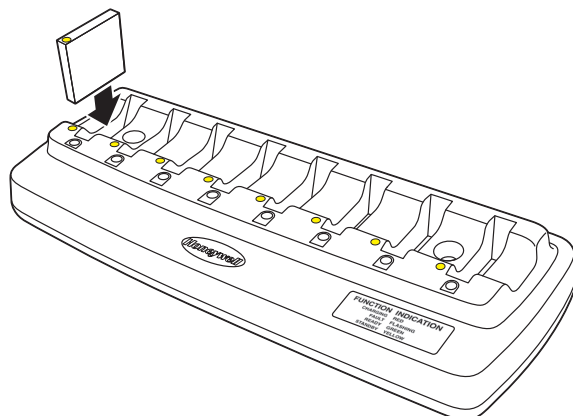
バッテリーの適切な処分



バッテリーが耐用年数の終わりに達したときは、資格を持つリサイクル業者ないし危険物取扱業者によって処分してください。バッテリーを一般廃棄物と共に焼却したり、処分したりしないでください。スキャナのバッテリーを弊社に御返却いただくことも可能です。（送料ご負担いただきます。）使用済みバッテリーの梱包、表示、明細書作成、輸送に関するすべての国・連邦・州・自治体法規の遵守は輸送業者の責任です。リサイクル・処分に関しては、[カスタマーサポート](#) (iii ページ) にお問い合わせください。バッテリーをご返送いただく費用が高額な場合、地元のリサイクル処理業者にて処分された方が経費を抑えられる場合もありますので、まずはお問い合わせください。

バッテリーの充電

3つの充電接点を充電ポケットの3つの充電接点に合わせて持ってください（ガイドとしてバッテリーラベルの矢印の方向を使用し、バッテリーの黄色いドットをチャージャーの黄色いドットを合わせてください）。バッテリー充電ポケットにバッテリーをまっすぐに差し込み、しっかりと押してください。



バッテリーが充電ポケットに正しく挿入されていることが重要です。バッテリーが正しく挿入されていないと、バッテリーまたはチャージャーに損傷を与えます。

バッテリーが充電ポケットにある場合、バッテリーチャージャーはバッテリーの充電を始めます。充電を始める前にチャージャーはバッテリーの状態を確認するために、わずかに遅れがあります。充電中、チャージャーおよびバッテリーパックは暖かさを感じるくらいの熱を発生します。これは正常で、不具合ではありません。8連チャージャーの赤色 LED はバッテリーが充電中を表しています。緑色 LED はバッテリーが満充電であることを示しており、取り外しができます。チャージャーに関する詳細は、www.honeywellaidc.com から利用可能な 8650、8 連バッテリーチャージャークイックスタートガイドを参照してください。

ブザー・バイブレーション・LED のシーケンスと意味

スキャナ上部には LED が組み込まれており、通信、デコード、およびバッテリー状態を表示します。以下の表はスキャナの LED 表示、ブープ音、およびバイブレーションのリストです。

LED 表示	ブザー表示	振動表示	原因
通信およびバッテリー			
赤点滅	なし	なし	バッテリー残量少
緑点灯	1 回ブープ音	なし	リンク成功
赤点滅	なし	なし	スキャナおよび Bluetooth はケーブルに問題があります。
バーコード読取			
緑点灯	2 回ブープ音	2 回振動	メニュー変更成功
赤点滅	エラーブザー	1 回振動	メニュー変更失敗
緑点灯	1 回ブープ音	1 回振動	バーコード読取成功

以下の表は Bluetooth モジュールの LED 表示のリストです。

LED 表示	原因
Bluetooth	
青点滅	Bluetooth 接続試行中
青点灯	Bluetooth 接続成功
青点灯なし	Bluetooth 接続なし

リングスキャナの Bluetooth デバイスとのペアリング

リングスキャナは Bluetooth デバイス、ハネウエルモバイルコンピュータ、ハネウエル車載コンピュータおよびハネウエルアクセスポイント（AP）と共に使用できます。

HID キーボードを使用して Bluetooth デバイスとペアリング

8670 リングスキャナは、パーソナルコンピュータ、ノート PC、タブレット、および Apple® デバイスのようなホスト Bluetooth デバイスと接続できます。ホストデバイスと一方向通信を確立するために以下のステップに従ってください。

1. 以下の Bluetooth HID Keyboard Connect（Bluetooth HID キーボード接続）バーコードを読み取ります。



* Bluetooth HID キーボード接続



Bluetooth HID 日本語キーボード接続

2. ホストデバイスを設定し、Bluetooth 機器を検索します。（ペアリングの方法は、ホストデバイスのユーザーズガイドを参照してください）
3. ホストデバイスがスキャナを検知したら、表示されたリストから、8670 リングスキャナ名を選択してください。
注意：バッテリーモジュールではなく、リングスキャナに表示されているシリアル番号を選択してください。
4. いくつかのホストデバイスはリングスキャナと自動的にペアリングされます。ホストデバイスが自動的にリングスキャナとペアリングされた場合、ペアリング成功のメッセージが表示されます。以下のステップは必要ありません。
5. いくつかの PDT ホストは PIN のためのポップアップが表示されます。このメッセージを無視してください。
6. ホストデバイスが自動的にリングスキャナとペアリングできない場合、PIN が表示されます。この PIN を 60 秒以内にスキャンしてください。リングスキャナを使用して、以下の Bluetooth PIN コードをスキャンして、以下のチャートから PIN コード用に数字バーコードをスキャンし、**Save（保存）** バーコードをスキャンしてください。



Bluetooth PIN コード



K0K
0



K1K
1



K2K
2



リングスキャナがホストとペアリングされると、リングスキャナ上部の LED が緑色に点滅し、Bluetooth モジュールの LED が青色に点灯します。ホストデバイスはリングスキャナとペアリングされています。本書の裏表紙に記載の [サンプルシンボル](#) からバーコードを読み取り、リングスキャナの動作を確認してください。

ホストからの切断

リングスキャナがホストに接続されている場合、他のデバイスと通信するためには切断する必要があります。Bluetooth HID Keyboard Disconnect (Bluetooth HID キーボード 通信切断) を読み取って、ホストデバイスとリングスキャナ間の通信を切断してください。



Bluetooth HID キーボード 通信切断

複数のリングスキャナおよび / または複数のホストとの接続についての情報は、[ワイヤレスシステムの操作 3-1](#) ページを参照してください。

Bluetooth PC/ ノート型PC シリアルポートとのペアリング

8670 リングスキャナは PC またはノートパソコンの Bluetooth シリアルポートとペアリングできます。以下の **BT 接続 - ホームベース以外のデバイス** バーコードをスキャンすることで、スキャナを切断し、発見できる状態にします。一旦、スキャナが Bluetooth ホストを検索し接続すると、スキャナはホストデバイスアドレスへの接続を保存し、バーチャル COM ポートを変更します。これによって接続が失われた場合に、スキャナがホストに自動的に再接続します。

1. 以下の **BT 接続 - ホームベース以外のデバイス** バーコードをスキャンすることで、リングスキャナを切断し、発見できる状態にします。



BT_TRMD;BT_DNG5.

BT 接続 - ホームベース以外のデバイス

2. ホストデバイスを設定し、他の Bluetooth 機器を検索します。(ペアリングの方法は、ホストデバイスのユーザーズガイドを参照してください)

3. ホストデバイスがスキャナを検知したら、表示されたリストから、8670 リングスキャナ名を選択してください。

注意：バッテリーモジュールではなく、リングスキャナに表示されているシリアル番号を選択してください。

4. PIN を要求された場合、**1234** (初期設定) を入力してください。

リングスキャナがホストのシリアルポートとペアリングされると、リングスキャナ上部の LED が緑色に点滅し、Bluetooth モジュールの LED が青色に点灯します。ホストデバイスはリングスキャナとペアリングされています。ホストデバイスアドレスへの接続はリングスキャナに保存され、バーチャル COM ポートが変更されます。これによって接続が失われた場合に、リングスキャナがホストに自動的に再接続します。

スキャナバッテリーが充電され、ホストデバイスとペアリングされると、バーコードの読取を開始できます。本書の裏表紙に記載の **サンプルシンボル** からバーコードを読み取り、リングスキャナの動作を確認してください。

ハネウェルモバイルコンピュータとペアリング

8670 リングスキャナは、Dolphin 75e のようなハネウェルモバイルコンピュータとペアリングできます。(Tecton モバイルコンピュータについては、[ハネウェルモバイルコンピュータとペアリング](#) 18 ページを参照してください。)

1. モバイルコンピュータを設定し、他の Bluetooth 機器を検索してください。(ホストデバイスのユーザーズガイドを参照してください。)

2. 以下の **BT 接続 - PDA/ モバイルシステムデバイス** バーコードをスキャンしてください。



BT_TRMD;BT_DNG1.

BT 接続 - PDA/ モバイルシステムデバイス

上のバーコードでリングスキャナがモバイルコンピュータとペアリングできない場合、次のバーコードをスキャンしてください。



BT_TRMD;BT_DNG5.

BT 接続 - ホームベース以外のデバイス

3. モバイルコンピュータがスキャナを検知したら、表示されたリストから、8670 リングスキャナ名を選択してください。

注意：バッテリーモジュールではなく、リングスキャナに表示されているシリアル番号を選択してください。

4. PIN を要求された場合、**1234** (初期設定) を入力してください。

リングスキャナがモバイルデバイスとペアリングされると、リングスキャナ上部の LED が緑色に点滅し、Bluetooth モジュールの LED が青色に点灯します。モバイルコンピュータはリングスキャナとペアリングされ、8670 からの入力データを許可します。

スキャナバッテリーが充電され、ホストデバイスとペアリングされると、バーコードの読取を開始できます。本書の裏表紙に記載の**サンプルシンボル**からバーコードを読み取り、リングスキャナの動作を確認してください。

Android™ またはアップルデバイスとペアリング

8670 リングスキャナは Android またはアップルデバイスとペアリングできます。

注意：8670 はアップルデバイスとは Bluetooth HID モードでの接続のみ対応しています。

1. Android またはアップルデバイスを設定し、他の Bluetooth 機器を検索します。(ペアリングの方法は、Android またはアップルデバイスのユーザーズガイドを参照してください)
2. 以下の **BT 接続 -Android/ アップルデバイス**バーコードをスキャンしてください。



BT 接続 -Android/ アップルデバイス

Android デバイスでは、8670 リングスキャナはキーボードとして表示されます。ペアリングするためにクリックしてください。リングスキャナが Android デバイスとペアリングされると、リングスキャナ上部の LED が緑色に点滅し、Bluetooth モジュールの LED が青色に点灯します。本書の裏表紙に記載の**サンプルシンボル**からバーコードを読み取り、リングスキャナの動作を確認してください。トリガーを押した場合に、リングスキャナがビープ音ではなくクリック音を発する場合、接続は成功していません。

バーチャルキーボード

スキャナがアップルデバイスやスマートフォン、ノート型 PC など接続されると、スキャナのトリガーを使用してバーチャルキーボードの切り替えができます。アップルデバイスとペアリングしている場合、リングスキャナのトリガーを 2 回素早く押すことでオンスクリーンキーボードが有効になります。Android デバイス (v 4.4 以降) とペアリングする場合、オンスクリーンキーボードは、**設定 - 言語と入力**で設定されていなければなりません。**Default** をタップし、**ハードウェア物理キーボード**の設定をオフにしてください。

ハネウェル車載コンピュータとペアリング

8670 リングスキャナは、Thor VM1 または VM2、または Tecton モバイルコンピュータのようなハネウェル車載端末とペアリングできます。

リングスキャナを使用して、デバイスに提供 / 付属している、または画面に表示されている EZPairing バーコードをスキャンしてください。EZPairing バーコードは、以下のように 10 桁が続く **LnkB** から始まります。



リングスキャナがホストとペアリングされると、リングスキャナ上部の LED が緑色に点滅し、Bluetooth モジュールの LED が青色に点灯します。スキャナバッテリーが充電され、ホストデバイスとペアリングされると、バーコードの読取を開始できます。本書の裏表紙に記載の**サンプルシンボル**からバーコードを読み取り、リングスキャナの動作を確認してください。

アクセスポイントとペアリング

8670 リングスキャナはハネウェルアクセスポイント AP-010BT または AP-100BT とペアリングできます。

1. **Bluetooth HID Keyboard Disconnect** (Bluetooth HID キーボード接続) を読み取ってください。



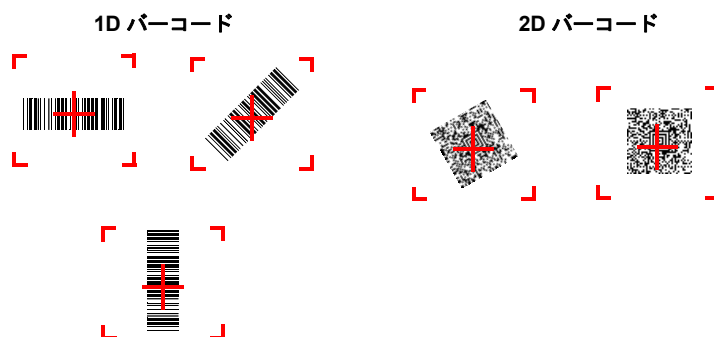
Bluetooth HID キーボード 通信切断

リングスキャナを使用して、デバイスに提供されているかデバイスに付属の Mac アドレスバーコードをスキャンしてください。リングスキャナは動き始め、Bluetooth モジュール上部の LED がペアリングモードを示す点滅します。

リングスキャナがホストとペアリングされると、リングスキャナ上部の LED が緑色に点滅し、Bluetooth モジュールの LED が青色に点灯します。スキャナバッテリーが充電され、ホストデバイスとペアリングされると、バーコードの読取を開始できます。本書の裏表紙に記載の [サンプルシンボル](#) からバーコードを読み取り、リングスキャナの動作を確認してください。

読み取り方法

8670 リングスキャナは、明るい赤色エイミングパターンを照射するビューファインダーがあります。エイミングパターンは、バーコードの中央に合わせてください。ただし、読み取りやすくするためにどの方向にしてもかまいません。



エイミングパターンは、スキャナがバーコードに近づくと小さくなり、遠ざかると大きくなります。バーまたはエレメントが小さなシンボル (ミルサイズ / 分解能) はスキャナを近づけて読み取り、大きなシンボル (ミルサイズ / 分解能) は離して読み取ってください。1 個または複数のシンボル (1 ページまたは 1 個の物体の) を読み取る時は、目標から適切な距離でリングスキャナを保持し、トリガを引き、エイマーをシンボルの中心に合わせてください。読み取るバーコードの反射が大きい場合は (ラミネートされている場合など)、無用な反射を避けるため、バーコードを 15 度 ~ 18 度傾けることが必要な場合があります。

メニューバーコードのセキュリティ設定

ハネウェルのスキャナ製品はメニューバーコードを読み取るか、シリアルコマンドを送るよう設計されています。メニューコードの読み取りを規制したい場合は、メニューバーコードのセキュリティ設定をご利用可能です。詳しくは、お近くのテクニカルサポートオフィス ([テクニカルサポート iii ページ参照](#)) にご連絡ください。

カスタムデフォルトの設定

お客様自身のカスタムデフォルトのメニューコマンドを作ることができます。そのためには、以下の保存したいメニューコマンドもしくはシーケンスの前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）バーコードを読み取ってください。コマンドが裏表紙から数字のコードを読み取る必要がある場合は、そのあとに Save（保存）のコードを読み取ればシーケンス全体がカスタムデフォルトとして保存されます。次のカスタムデフォルトのためのコマンドを保存する前に Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）コードを再度読み取ります。



MNUCDP.

カスタムデフォルトの設定



MNUCDS.

カスタムデフォルトの保存

注意：カスタムデフォルト設定はすべてのワークグループに適用されます。。コードレスシステムを使用している場合、**Save Defaults**（デフォルトの保存）バーコードをスキャンすることでリングスキャナにリセットを実行し、リンク非接続になります。リングスキャナをホストに再接続しなければなりません。

複数のカスタムデフォルトがあり、そのうち1つの設定を変えたい場合は、古い設定を上書きするだけです。例えば、ブザーの音量をカスタムデフォルトでは「小」に設定しており、「大」に変更しようと思う場合、Set Custom defaults（カスタムデフォルトの設定）バーコードを読み取り、それから Beeper Volume High（ブザー音量 大）バーコードを読み取った後に Save Custom defaults（カスタムデフォルトの保存）を読み取るだけです。他のカスタムデフォルトは残り、ブザー音量の設定は更新されます。

カスタムデフォルトのリセット

ご使用のスキャナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults（カスタムデフォルトを起動）バーコードを読み取ってください。これは多くのユーザーのために推奨するデフォルトバーコードです。これはスキャナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルトを起動

注意：カスタムデフォルト設定は、**Save Defaults** バーコードをスキャンすることでリングスキャナにリセットを実行し、リンク非接続にするすべてのワークグループの読取に適用されます。リングスキャナをホストに再接続しなければなりません。



インターフェースの設定

はじめに

この章では、最適なインターフェースのためのシステム設定についてご紹介します。

インターフェースのプログラム設定 - プラグ & プレイ

プラグ & プレイのバーコードで、一般的に使用されているインターフェース用に簡易スキナセットアップを行うことができます。

注意：コードの1つを読み取った後、ホスト端末インターフェースを有効にするため、再起動する必要があります。

キーボードウェッジ

ご使用のシステムを IBM PC AT 互換機 やアメリカ向けのキーボードと互換性のあるキーボードウェッジインターフェースで設定される場合は、以下のバーコードを読み取ってください。キーボードウェッジは初期設定のインターフェースです。

注意：以下のバーコードを読み取ると、キャリッジリターン (CR) サフィックスも有効になります。



PAP_AT.
IBM PC AT と互換機、CR サフィックスつき

ノート型 PC との直接接続

ほとんどのノート型 PC の場合、Laptop Direct Connect (ノート型 PC との直接接続) バーコードを読み取ることで、内蔵キーボードとの同時操作が可能になります。以下の Laptop Direct Connect バーコードもまたキャリッジリターン (CR) サフィックスの設定を行い、外付けキーボード [2-17](#) ページの使用を有効にします。



PAPLTD.
ノート型 PC との直接接続、
CR サフィックスつき

RS232 シリアルポート

RS232 インターフェースバーコードはパソコンもしくは端末のシリアルポートとの接続に用います。以下の RS232 インターフェースバーコードもキャリッジリターン (CR) やラインフィード (LF) サフィックス、ならびに以下で示されるようなボーレートやデータフォーマット設定を行います。またトリガーモードもマニュアルに変換します。

オプション	設定
ボーレート	115,200 bps
Data Format (基準データフォーマットへ切り替え)	8 データビット、パリティビットなし、1 ストップビット



PAP232.

RS232 インターフェース

RS485

IBM POS の端末インターフェースヘスキャナを接続する場合は、以下のいずれかの設定バーコードを読み取ってください。

注意：設定バーコード読み取り後、キャッシュレジスターを再起動して、インターフェースを有効にしてください。



PAPP5B.

BM ポート 5B インターフェース



PAP9B1.

IBM ポート 9B
HHBCR-1 インターフェース



PAPP17.

IBM ポート 17 インターフェース



PAP9B2.

IBM Port 9B
HHBCR-2 インターフェース

前述の各バーコードは以下のそれぞれのシンボルへのサフィックスを設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128 *	00 0A 0B
UPC E	0A	Code 128 **	00 18 0B
		MaxiCode	00 2F 0B

* サフィックスは IBM 4683 Port 5B、IBM 4683 Port 9B、HHBCR-1、ならびに IBM 4683 Port 17 インターフェース用の Code 128 に設定されています。

** サフィックスは IBM 4683 Port 9 HHBCR-2 インターフェース Code 128 用に設定されています。

RS485 パケットモード

以下を選択すると、IBM POS 端末上で大きいバーコードデータを小さいパケットへと分割することができます。大きいバーコードデータを小さいパケットへと分割するには、以下の Packet Mode On バーコードを読み取ってください。大きいバーコードデータを1つのかたまりとしてホストへ送りたい場合は、Packet Mode Off バーコードを読み取ってください。初期設定 = Packet Mode Off (パケットモード 無効)



RTLPDF0.

* パケットモード 無効



RTLPDF1.

パケットモード 有効

RS485 パケットの長さ

パケットモード使用の際は、ホストに送られる「パケット」データのサイズを指定することができます。Packet Length (パケットの長さ) バーコードを読み取り、次に本書の裏表紙にある [プログラミングチャート](#) からパケットサイズ (20 ~ 256 の間) を選び、**Save** (保存) を読み取ります。初期設定 = 40



RTLMP5.

パケットの長さ

USB IBM SurePos

以下の「プラグ&プレイ」コードのうち一つを読み取り、IBM SurePos (USB ハンディスキャナ) もしくは IBM SurePos (USB 卓上スキャナ) インターフェースの設定を行ってください。

注意: 設定バーコード読み取り後、キャッシュレジスターを再起動して、インターフェースを有効にしてください。



PAPSPH.

USB IBM SurePos

USB ハンディスキャナインター
フェース



PAPSPT.

USB IBM SurePos
USB 卓上スキャナインター
フェース

前述の各バーコードは以下のそれぞれのシンボルへのサフィックスを設定します。

シンボル	サフィックス	シンボル	サフィックス
EAN 8	0C	Code 39	00 0A 0B
EAN 13	16	Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
UPC A	0D	Code 128	00 18 0B
UPC E	0A	Code 39	00 0A 0B

パソコンUSB もしくはマッキントッシュのキーボード

以下のコードのうち一つを読み取り、パソコンのUSB キーボードもしくはマッキントッシュのUSB キーボードの設定を行ってください。これらのコードを読み取ると、CR ならびに LF も追加されます。



PAF124.
USB キーボード - PC



PAF125.
USB キーボード - Mac



TRMUSB134.
USB 日本語キーボード - PC

USB HID

以下のコードのうち一つを読み取り、USB HID バーコードスキャナのスキャナ設定を行ってください。



PAF131.
USB HID バーコードスキャナ

USB シリアル

以下のコードを読み取り、標準の RS232 ベースの COM ポートにエミュレートするようスキャナを設定してください。お客様が Microsoft® Windows® のパソコンをお使いの場合は当社ウェブサイト (www.honeywellaidc.com) からドライバをダウンロードしていただく必要がございます。ドライバは次に空いている COM ポートに接続します。Apple® マッキントッシュコンピュータの場合は、スキャナを USB CDC クラスデバイスとして認識し、自動でクラスドライバを使用します。



TRMUSB130.
USB シリアル

注意：他に設定（ボーレートなど）は不要です。

CTS/RTS エミュレーション



USBCTS1.
CTS/RTS エミュレーション 有効



USBCTS0.
* CTS/RTS エミュレーション 無効

ACK/NAK モード



USBACK1.

ACK/NAK モード 有効



USBACK0.

* ACK/NAK モード 無効

USB 用 Remote MasterMind™

USB インターフェースの場合で、Remote MasterMind Scanner Management Software (ReM) と通信する設定を行いたい場合、ReM と通信するために、**ReM 有効** バーコードを読み取ります。この機能を無効にするには、**ReM 無効**をスキャンします。



REMIFC0.

ReM 無効



REMIFC1.

ReM 有効

Verifone® Ruby 端末の初期設定

Verifone Ruby 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このこのバーコードはボーレートを 1200 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットにします。また、ラインフィード (LF) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定を行います。

シンボル	プリフィクス
UPC-A	A
UPC-E	A
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPRBY.

Verifone Ruby の設定

Gilbarco® 端末の初期設定

Gilbarco 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 2400 bps に、データフォーマットを 7 データビット、偶数パリティビット、2ストップビットにします。また、キャリッジリターン (CR) サフィックスならびに各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定を行います。

シンボル	プリフィクス
UPC-A	A
UPC-E	E0
EAN-8	FF
EAN-13	F



PAPGLB.

Gilbarco の設定

Honeywell 2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Honeywell 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 38400 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットにします。



PAPBIO.

Honeywell2 面式カウンタースキャナの設定

Datalogic™ Magellan® 2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

Datalogic Magellan 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps 、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットに設定します。



PAPMAG.

Datalogic Magellan2 面式カウンタースキャナの設定

NCR2 面式カウンタースキャナの補助ポート設定

NCR 2 面式カウンタースキャナの補助ポート構成の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プリフィクス	シンボル	プリフィクス
UPC-A	A	Interleaved 2 of 5	b
UPC-E	E0	Code 128	f
		Code 32	a
		Pharmaceutical (PARAF)	
EAN-8	FF	Code 39	a
EAN-13	F		



PAPNCR.

NCR2 面式カウンタースキャナの設定

Wincor Nixdorf 端末の初期設定

Wincor Nixdorf 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1ストップビットに設定します。



PAPWNX.

Wincor Nixdorf 端末の設定

Wincor Nixdorf Beetle™ 端末の初期設定

Wincor Nixdorf Beetle 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プリフィクス	シンボル	プリフィクス
Aztec コード	V	Interleaved 2 of 5	I
Codabar	N	MaxiCode	T
Code 93	L	MicroPDF417	S
Code 128	K	PDF417	Q
Data Matrix	R	QR コード	U
EAN-8	B	Straight 2 of 5 IATA (2 バー スタート/ストップ)	H
EAN-13	A	UPC-A	A0
GS1 DataBar (GS1 データ バー)	E	UPC-E	C
GS1-128	P	その他すべてのバーコード	M



PAPBTL.

Wincor Nixdorf Beetle の設定

Wincor Nixdorf RS232 モード A

Wincor Nixdorf RS232 モード A 端末の場合は、以下のプラグ&プレイコードを読み取ってスキャナを設定してください。このバーコードはボーレートを 9600 bps、データフォーマットを 8 データビット、パリティビット無し、1 ストップビットに設定します。各シンボル用に以下のようなプリフィクス設定も行います。

シンボル	プリフィクス	シンボル	プリフィクス
Code 128	K	EAN-13	A
Code 93	L	GS1-128	K
Codabar	N	Interleaved 2 of 5	I
UPC-A	A0	Plessey	O
UPC-E	C	Straight 2 of 5 IATA	H
EAN-8	B	GS1 DataBar (GS1 データバー)	E
その他すべてのバー コード	M		



PAPWMA.

Wincor Nixdorf RS232 モード A
の設定

国別キーボード

USB キーボードまたはキーボードウェッジインターフェースの場合、キーボードはアメリカキーボードに初期設定されています。以下から該当する国コードを読み取り、自国もしくは自言語用のキーボードを設定します。原則として、以下の記号をサポートしますが、米国以外の国では特別な留意が必要です。# \$ @ [\] ^ ' { | } ~. 各国のキャラクタ変換を見るには ["ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換 "A-8 ページ](#) を参照してください。

国別キーボード



KBDCTY0.
* アメリカ



KBDCTY81.
アゼリー キリル文字



KBDCTY82.
ベラルーシ



KBDCTY33.
ボスニア



KBDCTY59.
ブラジル MS



KBDCTY35.
アルバニア



KBDCTY80.
アゼリー ラテン



KBDCTY1.
ベルギー



KBDCTY16.
ブラジル



KBDCTY52.
ブルガリア キリル文字

国別キーボード (つづき)



KBDCTY53.
ブルガリア ラテン



KBDCTY18.
カナダ フランス語



KBDCTY32.
クロアチア



KBDCTY40.
チェコ プログラマー



KBDCTY38.
チェコ QWERTZ



KBDCTY11.
オランダ



KBDCTY54.
カナダ (フランス語 Legacy)



KBDCTY55.
カナダ 多言語



KBDCTY15.
チェコ



KBDCTY39.
チェコ QWERTY



KBDCTY8.
デンマーク



KBDCTY41.
エストニア

国別キーボード (つづき)



KBDCTY83.
フェロー語



KBDCTY3.
フランス



KBDCTY4.
ドイツ



KBDCTY64.
ギリシャ 220 ラテン



KBDCTY65.
ギリシャ 319 ラテン



KBDCTY63.
ギリシア ラテン



KBDCTY2.
フィンランド



KBDCTY84.
ゲール語



KBDCTY17.
ギリシャ



KBDCTY61.
ギリシャ 220



KBDCTY62.
ギリシャ 319



KBDCTY66.
ギリシャ MS

国別キーボード (つづき)



KBDCTY60.
ギリシャ Polytonic



KBDCTY50.
ハンガリー語 101 キー



KBDCTY75.
アイスランド



KBDCTY58.
イタリア語 142



KBDCTY28.
日本語



KBDCTY79.
キルギスタン キリル文字



KBDCTY12.
ヘブライ語



KBDCTY19.
ハンガリー



KBDCTY73.
アイルランド



KBDCTY5.
イタリア



KBDCTY78.
カザフスタン



KBDCTY14.
ラテンアメリカ

国別キーボード (つづき)



KBDCTY42.

ラトビア



KBDCTY44.

リトアニア



KBDCTY34.

マケドニア



KBDCTY86.

モンゴル キリル文字



KBDCTY20.

ポーランド



KBDCTY58.

ポーランド語 プログラマー



KBDCTY43.

ラトビア QWERTY



KBDCTY45.

リトアニア IBM



KBDCTY74.

マルタ



KBDCTY9.

ノルウェー



KBDCTY57.

ポーランド語 214



KBDCTY13.

ポルトガル語

国別キーボード (つづき)



KBDCTY25.
ルーマニア



KBDCTY67.
ロシア MS



KBDCTY21.
SCS



KBDCTY36.
セルビア ラテン



KBDCTY49.
スロヴァキア QWERTY



KBDCTY31.
スロヴェニア



KBDCTY26.
ロシア



KBDCTY68.
ロシア タイプライター



KBDCTY37.
セルビア キリル文字



KBDCTY22.
スロヴァキア



KBDCTY48.
スロヴァキア QWERTZ



KBDCTY10.
スペイン

国別キーボード (つづき)



KBDCTY51.
スペイン語 変動



KBDCTY29.
スイス フランス語



KBDCTY85.
タタール語



KBDCTY24.
トルコ Q



KBDCTY7.
イギリス



KBDCTY88.
アメリカ Dvorak left



KBDCTY23.
スウェーデン



KBDCTY6.
スイス ドイツ語



KBDCTY27.
トルコ F



KBDCTY76.
ウクライナ



KBDCTY87.
アメリカ Dvorak



KBDCTY89.
アメリカ Dvorak right

国別キーボード（つづき）



KBDCTY30.

アメリカ インターナショナル



KBDCTY77.

ウズベキスタン キリル文字

キーボードスタイル

Caps Lock や Shift Lock などのキーボードスタイルを設定します。キーボードの変換設定を行った場合は、以下のキーボードスタイル設定すべてを上書きします。初期設定 = Regular（レギュラー）

通常 Caps Lock キーがオフの場合は、レギュラーを使用します。



KBDSTY0.

* レギュラー

通常 Caps Lock キーがオンの場合は Caps Lock を使用します。



KBDSTY1.

Caps Lock

通常 Shift Lock キーがオンの場合は、Shift Lock を使用します。（アメリカキーボードでは通常不使用。）



KBDSTY2.

Shift Lock

Caps Lock キーのオン／オフを切り換える場合は、自動 Caps Lock を使用します。キーをオン／オフすると、ソフトが追跡反応確認して自動的に対応します。この設定を使用できるのは、Caps Lock の状態を確認する LED があるシステム（AT キーボード）の場合のみです。



KBDSTY6.

自動 Caps Lock

Caps Lock の切り換えに Caps Lock キーを使用できない国（ドイツ、フランスなど）では Autocaps via NumLock のバーコードを読み取ります。NumLock オプションは、通常の Autocaps と同じ働きをしますが、Caps Lock. の現在の状態を確認するには、NumLock を使用します。



KBDSTY7.

Autocaps via NumLock

外付けキーボード（IBM AT または相当品）を使用していない場合は、外付けキーボードにエミュレートを読み取ります。



KBDSTY5.

外付けキーボードにエミュレート

注意：外付けキーボードにエミュレートのバーコードを読み取った後は、コンピュータをかならず再起動してください。

キーボードの変換

アルファベットのキーボード文字を強制的にすべて大文字またはすべて小文字にできます。例えば、「abc569GK」というバーコードの場合、すべてのキャラクタを大文字に変換バーコードを読み取ると、「ABC569GK」と出力させることができます。また、すべてのキャラクタを小文字に変換バーコードを読み取ると、「abc569gk」と出力します。

この設定は**キーボードスタイル**キーボードスタイルでの設定を上書きします。

注意：お使いのインターフェースがキーボードウェッジの場合は、**自動 Caps Lock** (2-16 ページ) のメニューコードをまず読み取ってください。そうでない場合はご希望と違う出力になることがあります。

初期設定 = Keyboard Conversion Off (キーボードの変換 無効)



KBDCNV0.

* キーボード変換 無効



KBDCNV1.

すべてのキャラクタを大文字に変換



KBDCNV2.

すべてのキャラクタを小文字に変換

制御キャラクタの出力

この機能を選択すると、コントロールキャラクタの代わりにテキスト文字列を送信します。例えば、キャリッジリターンのためのコントロールキャラクタが必要なとき、ASCII コードの 0D の代わりに、「CR」と出力表示されます。**ASCII 変換チャート (コードページ 1252)** A-3 ページを参照してください。00 から 1 F ままで変換されます (チャートの最初の列)。

初期設定 = 無効

注意：Control + ASCII モードはこのモードを上書きします。**キーボード設定**以下参照。



KBDNPE1.

コントロールキャラクタ出力 有効



KBDNPE0.

* コントロールキャラクタ出力 無効

キーボード設定

ここでは、CTRL+ ASCII コードやターボモードといった特別なキーボードの機能調節を行います。

Control + X (Control + ASCII) モード有効 :00 ~ 1F の値について、ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせて送信します。Windows は推薦モードです。すべてのキーボードの国別コードがサポートされています。DOS モードはレガシーモードであり、すべてのキーボードの国別コードをサポートしているわけではありません。新規ユーザーは Windows モードをお使いください。CTRL+ ASCII の値については、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページのキーボードファンクションの対応を参照してください。

Windows モードプリフィクス/サフィックス 無効 :00 ~ 1F の値について ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせて送信しますが、プリフィクスならびにサフィックスの情報転送は一切行いません。

初期設定 = Control + ASCII Mode Off (Control + ASCII モード 無効)



KBDCAS2.

Windows モードの Control + X
モード 有効



KBDCAS0.

* Control + X モード 無効



KBDCAS1.

DOS モードの Control + X モード 有効



KBDCAS3.

Windows モードプリフィクス/サフィックス 無効

Turbo Modeターミナルへのキャラクタ送信を高速化します。ターミナルでキャラクタの読み落としがある場合は使用しないでください。初期設定 = 無効



KBDTMD1.

ターボモード 有効



KBDTMD0.

* ターボモード 無効

数字キーパッドモードテンキーで入力したように数字を送信します。初期設定 = 無効



KBDNPS1.

数字キーパッドモード 有効



KBDNPS0.

* 数字キーパッドモード 無効

自動直接接続モード IBM AT 型のターミナルを使用し、システムでキャラクタの読み落としがある場合に使用できます。初期設定 = 無効



KBDADC1.

自動直接接続モード 有効



KBDADC0.

* 自動直接接続モード 無効



ワイヤレスシステムの操作

8670 ワイヤレスリングスキャナは Bluetooth デバイス、ハネウエルモバイルコンピュータ、ハネウエル車載コンピュータ、およびハネウエルアクセスポイントと共に使用できます。ペアリングの方法は、[リングスキャナの Bluetooth デバイスとのペアリング](#)、1-6 ページを参照してください。以下の情報は、複数のリングスキャナのシステム動作だけでなく詳細無線設定を説明しています。

スキャナの Bluetooth PIN コードの変更

一部の機器には、Bluetooth セキュリティ機能の一環として、暗証コードが必要です。スキャナの初期設定の暗証記号は 1234 で、ご使用のホストに初めて接続する際、入力が必要かもしれません。複数のスキャナを使用する場合、それぞれのスキャナが個別に識別できるように PIN を変更する必要があるかもしれません。暗証コードは 1 ~ 16 文字の間でなければなりません。スキャナの PIN コードを変更するには、下記のバーコードを読み取り、その後本書の裏表紙にある [プログラミングチャート](#) から該当の数値バーコードを読み取ります。Save (保存) を読み取り、設定を保存します。



BT_PIN.

Bluetooth 暗証コード

Bluetooth/ISM 帯域ネットワークの最小化

この設定は、無線システムの再接続時の動作をカスタマイズし、利便性を確保しながら、干渉を低く抑えるための最適な妥協点を見出すのに役立ちます。

注意：ISM 帯域とは、無線ネットワーク、コードレス電話、Bluetooth が使用する 2.4 GHz から 2.48 GHz の周波数帯域を指します。

自動再接続モード

自動再接続は、接続が中断されたことが検出されたときに、スキャナが自動的に再接続のプロセスを開始するか否かを制御するものです。Auto Reconnect On (自動再接続 有効) のバーコードを読み取ると、スキャナはユーザーの介入なしにただちに再接続のプロセスを開始します。初期設定 = Auto Reconnect On (自動再接続 有効)



BT_ACM1.

* 自動再接続 有効



BT_ACM0.

自動再接続 無効

注意：Bluetooth のインターフェースモジュールに接続している場合には、Auto Reconnect Off (自動再接続 無効) に設定してください。

下の表は、Auto Reconnect（自動再接続）が有効 および無効設定時の結果です。

事象	自動再接続 有効	自動再接続 無効
スキャナが通信範囲外にあるとき	自動的に再接続されます。再接続を最高限度回数まで試行しても成功しない場合は、トリガーを押すか、スキャナをホストに再接続するかのいずれかによってスキャナの再接続を行ってください。 リングスキャナの Bluetooth デバイスとのペアリング 1-6 ページ を参照してください。 再接続試行最高限度回数 3-2 ページ も参照してください。	スキャナはトリガーを押すかホストに再接続することで再接続されません。
(ファームウェアのアップグレードもしくは電源再起動により) ホストがリセットされたとき	スキャナは通信範囲外にあるかのように動作します。	ホストがオフの間は、再接続を試行しません。再接続を始めるためには、トリガーを押してください。
スキャナのパワータイムアウトタイマーの設定によりスキャナの電源がオフのとき (3-7 ページ参照)	トリガーを押さなければなりません。	
ファームウェアのアップグレードによりスキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	
バッテリー交換により、スキャナがリセットされたとき	自動的に再接続されます。	

再接続試行最高限度回数

再接続試行最高限度回数は、スキャナがホストとの接続を試みる回数を制御します。接続セットアッププロセスの間、スキャナはホストを探し、接続すべく発信を行います。発信をし続けることによって、ISM 帯域の他のユーザーに影響するのを避けるため、この設定によって接続試行回数が制限されています。再接続試行最高限度回数に達すると、スキャナはホストへの再接続を断念します。トリガーを押すか、ホスト接続バーコードを読み込むか、スキャナをホストにペアリングすることで試行回数がリセットされ、スキャナは再度接続を試みるようになります。

Maximum Link Attempts（再接続試行最高回数）バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定試行回数（0～100）を読み取ってください。Save（保存）を読み取って、設定を保存します。初期設定=0



BT_MLA

再接続試行最高限度回数

注意：自動再接続モードが有効のとき、再接続試行最高限度回数を0に設定すると、スキャナはパワータイムアウトタイマー設定 (3-7 ページ参照) 時間が経過するまで、通信を試みます。自動再接続モードが無効のとき、再接続試行最高限度回数を0に設定すると、スキャナはトリガーが押されたあと1回だけ再接続を試みます。

再接続タイムアウト

再接続タイムアウトは、再接続試行中のアイドル時間を制御します。ホストとの接続を再試行するには、一般に最高5秒ほどかかります。これはスキャナが実際にコンタクトしようと試みている時間です。再接続タイムアウトは1回再接続を試み終わってから次に試み始めるまでの経過時間を秒単位で制御します。

注意：試行時の所要時間は、ホストに接続されているスキャナの台数によって異なります。接続に成功したときには、さらに7秒かかることもあります。

Relink Time-Out (再接続タイムアウト) バーコードを読み取り、その後裏表紙の内側から設定秒数 (0 ~ 100) を読み取ってください。Save (保存) を読み取って、設定を保存します。初期設定=3 秒



BT_RLT.
再接続タイムアウト

Bluetooth / ISM ネットワークアクティビティの例

注意: バッチモード 3-14 ページ参照。バッチモードの使用に関する情報。

初期設定

スキャナが通信範囲外に出ると、ホストへの接続を何回も試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

再接続試行最高限度回数 15、

他の値は初期設定値の場合:

スキャナが通信範囲外に出ると、ホストへの接続を 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル (8 x 15 = 120) すなわち、約 2 分後に、スキャナはホストへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたであろうバーコードは保存されています。1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。

自動再接続モードを 0 に設定、

再接続試行最高限度回数 15、

他の値は初期設定値の場合:

スキャナが通信範囲外に出ても、再接続を一切試みません。トリガーを引くと、ホストへのリンクを 15 回試みます。1 回の試行には、アクティブタイム約 5 秒と、アイドリングタイム約 3 秒がかかります。15 サイクル (8 x 15 = 120) すなわち、約 2 分後に、スキャナはホストへの接続試行を止めますが、バッチモードで保存されたであろうバーコードは保存されています。1 時間経つとスキャナの電源が切れ、バッチモードのデータは失われます。他にどのような事象によって再接続プロセスが始まるか、自動再接続モード、3-1 ページを参照してください。

自動再接続モードを 1 に設定、

再接続試行最高限度回数 0、

再接続タイムアウトを 10 に、

スキャナパワータイムアウトを 1800 に設定した場合:

注意: スキャナパワータイムアウトタイマー 3-7 ページを参照してください。

スキャナは 1 回の試行開始から次の試行開始まで、15 秒の間隔でホストへの接続を試みます。30 分経過すると、スキャナの電源がオフになります。

スキャナとホスト間の通信

データが読み取られると、データはホストシステムへ送られます。バーコードが正しく読み取られると、コードレススキャナは「読み取り成功」を視覚的かつ聴覚的 (スキャナ上部の緑色 LED が点灯し、とピーツという音が鳴る) と振動で感覚的に表示します。これはバーコードが正しくスキャンされた場合のみ示されます。

ハネウェルアクセスポイント (AP) を使用している場合、ホストはデータを受信した場合に応答します。スキャナはホストからのデータの認知 (ACK) を認識します。AP が、データがホストへ正しく送信されたか否か判定できない場合は、スキャナはエラー音を発します。その際には、スキャンされたデータがホストによって受信されたかをチェックしなければなりません。

スキャナおよびホストの設定

システムとしてスキャナとホストを使用する場合、メニューパラメータと設定がホストに保存されます。スキャナがホストにリンクされていない場合、設定はスキャナに保存されます。

RF（無線周波）モジュールの操作

無線システムは、スキャナとホスト間でのデータの送受信を行うために、適応型周波数ホッピング（AFH）を使用する2方向 Bluetooth 無線を使用します。ライセンス不要な ISM 帯域を使用することで、周波数が無作為に変化する無線信号に、比較的小さいデータパケットを載せて高速なデータレートで送信しています。それ故に、当コードレスシステムを多様なデータ収集アプリケーションに対応でき、かつノイズの多い無線周波環境に対して強い耐性のある製品にしています。環境によりますが、スキャナとホスト間の通信範囲は 10m です。この範囲のコントロールについては[フレキシブルパワーマネージメント](#)、3-7 ページのフレキシブル出力管理の項目をご覧ください。

システム条件

あるスキャナを通信可能範囲外へ持ち出したり、更には中へ再び持ち込んだり、2つのコードレスシステムの間でスキャナを交換したりする際、コードレスシステムの構成部分は、特定の相互作用を起こします。下記はワイヤレスシステムの動作条件について説明したものです。

スキャナが通信可能範囲外にあるとき

スキャナはバーコードデータを送信していないときも、ホストと通信しています。スキャナが数秒にわたってホストと通信できないときは、スキャナが通信可能範囲外にあることとなります。スキャナが通信可能範囲外にあるときにバーコードを読み取ると、スキャナはエラー音を発してホストと通信していないことを示します。[通信範囲外警告](#)、3-6 ページおよび [自動再接続モード](#)、3-1 ページを参照してください。

スキャナが通信可能範囲内へ戻ったとき

スキャナまたはホストがリセットされたか、スキャナが通信可能範囲内に戻ったとき、スキャナは再度通信を開始します。スキャナが通信を再度確立する際、通信再確立プロセス（パラメータテーブルのアップロード）が完了すると、音が一回鳴ります。詳細については[通信範囲外警告](#) 3-6 ページまたは [自動再接続モード](#)、3-1 ページを参照してください。

バッチモード有効時での通信可能範囲への出入り

注意：その場合は、[バッチモード](#)、3-14 ページを参照してください。

スキャナは通信可能範囲外において数多くのシンボル（UPC シンボル約 500 個、他はばらつきあり）を保存し、通信可能範囲内に戻った時点でホストへ送信することができます。

このモードでは、通信エラーブザーは聞こえませんが、無線通信が機能していない場合、トリガーを押したときに短いブザー音が聞こえます。無線接続がされてデータがホストに送信されている間、スキャナは一連のビープ音とパイプレーションを発生します。

スキャナのリセット

下のバーコードを読み取ることによって、スキャナは再起動され、ホストと再接続します。



RESET_
スキャナのリセット

スキャナレポート

下記のバーコードを読み取ることで、接続されたスキャナについてのレポートを生成することができます。レポートには、ポート、ワークグループ、スキャナ名、アドレスが表示されます。スキャナに名前を割り当てるには[スキャナ名](#)、3-8 ページを参照してください。



RPTSCN.
スキャナレポート

スキャナのアドレス

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のスキャナのアドレスを決定することができます。



通信モード

注意：この機能はハネウエル充電通信ベース（CCB）でのみ対応しています。

Locked Link Mode（通信固定モード）と Open Link Mode（通信オープンモード）は、各々異なるアプリケーションに対応するモードです。これらモードを切り換えるには、下記の説明にある該当バーコードを読み取ってください。初期設定 = Open Link Mode（通信オープンモード）

通信固定モード - スキャナ1台の場合

以下のバーコードをスキャンした場合、リンクされたスキャナのみが AP またはホストに接続でき、他のスキャナは AP またはホストにリンクすることをブロックされます。



異なるスキャナを使用する場合は、Unlink Scanner（スキャナとの通信解除）のバーコードを読み取って元のスキャナとの通信を切断します。（以下参照 [スキャナとの解除](#)。）

通信オープンモード - スキャナ1台の場合

オープンリンク - シングルスキャナモードの場合、スキャナが AP またはホストとペアリングする度に、スキャナは AP またはホストと接続され、古いスキャナが切断されます。



スキャナとの解除

ホストとスキャナが通信している場合、まずスキャナの通信を解除しなければ次の新しいスキャナと接続することができません。元のスキャナとの通信解除を行うと、ホストは通信を切断します。ホストとスキャナの通信を解除するには、下記の Unlink Scanner（スキャナとの解除）バーコードを読み取ってください。



通信固定されたスキャナの上書き

ホストにリンクされた故障したり紛失したスキャナを交換する必要がある場合、新しいスキャナで以下の **Override Locked Scanner**（通信固定されたスキャナの上書き）バーコードを読み取り、スキャナをホストと接続してください。ロックされたリンクが無効化され、故障または紛失したスキャナのホストとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。



BT_RPL1.

通信固定されたスキャナの上書き
(シングルスキャナ)

通信範囲外警告

注意：この機能は、ハネウェルアクセスポイント (AP) のみサポートしています。

ホストの通信可能範囲外にスキャナがあるとき、スキャナからアラーム音が鳴ります。そのスキャナがホストに近づくか、ホストが別のスキャナと接続するか、もしくはアラーム音継続の設定時間が経過すると、アラームは止まります。アラームが鳴る時間を設定するには下記の該当するバーコードを読み取り、その後、裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から数値を読み取り、タイムアウト時間 (0 ~ 3000 秒の間) を設定し、Save (保存) を読み取ります。初期設定 = 0 秒 (アラームなし)



BT_ORD.

スキャナアラームの鳴動時間

注意：バーコード読み取り時に通信範囲外にいる場合、データはホストと通信ができないためアラームを設定していても、エラーブザーが鳴りません。

アラームの種類

アラームタイプを変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から数値 (0 ~ 9) バーコードを読み取り、次に **Save** (保存) バーコードを読み取ってください。初期設定 = 0

アラーム音の種類：

設定	音
0	3 回長くピーツという音、音程 - 中
1	3 回長くピーツという音、音程 - 高
2	4 回短くピーツという音、音程 - 中
3	4 回短くピーツという音、音程 - 高
4	1 回鳥のさえずりのような音、音程 - 中
5	鳥のさえずりのような音が 2 回 + 1 回、音程 - 中
6	1 回鳥のさえずりのような音、音程 - 高
7	鳥のさえずりのような音が 2 回 + 1 回、音程 - 高



BT_ORW.

スキャナアラームの種類

スキャナパワータイムアウトタイマー

指定時間内に動作しない場合、スキャナは低パワーモードに入ります。適切なスキャナパワータイムアウトバーコードを読み取って、タイムアウトの長さを秒単位で変更してください。

注意：タイムアウトの長さを「0」にすると、タイムアウトがない状態になります。

タイムアウト時間内にスキャナのトリガーを押さなかった場合、スキャナはパワーダウンモードに入ります。トリガーが押されたか関わらず、タイマーはリセットされます。バッテリーが充電中は、スキャナはパワーダウンモードになりません。

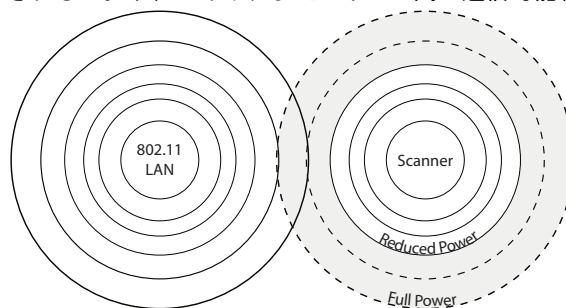
初期設定=3600 秒



注意：スキャナがパワーダウンモードに入っている時にトリガーを押すと、パワーが戻ります。起動ブザーが鳴り、無線通信に入るまで数秒の遅れが発生します。その後、スキャナを使用できます。

フレキシブルパワーマネージメント

ネットワーク性能に問題があり、スキャナが他の装置と混線していると思われる場合は、スキャナの出力を下げるができます。これにより、下記の図に示されるとおり、スキャナまたはホスト間の通信可能範囲が縮小されます。



下記のバーコードの1つを読み込むことで、以下のいずれかの出力を選択して設定することができます。完全出力（100%）[2.5mW、4dBm]、出力 – 中（35%）[0.875mW、0dBm]、出力 – 中低（5%）[0.125mW、-9dBm]、出力 – 低（1%）[0.025mW、-16dBm] 初期設定 = Full Power（フルパワー）



BT_TXP100.
* フルパワー



BT_TXP35.
中出力



BT_TXP5.
中低出力



BT_TXP1.
低出力

複数スキャナでの操作

注意：この機能は、ハネウェルアクセスポイント（AP）のみサポートしています。Multiple Scanner Operation Mode（複数スキャナ操作モード）では、1台のAPまたはCCBにスキャナを最多7台まで接続することができます。その7台のスキャナのうち、1台の通信を解除するか、通信可能範囲の外へ持ち出さなければ、8番目のスキャナを追加することはできません。

スキャナを複数スキャナ操作モードに追加するには、以下のバーコードを読み取ってください。このバーコードをスキャンすると、スキャナは現在のホストAPから切断するため、再接続するためにAPとペアリングしなければなりません。



BASCON2,DNG3.
複数スキャナ操作モード

スキャナ名

御使用の各スキャナを識別できるように、それぞれに名前をつけることができます。例えば、ホストから送信された特定のコマンドを受信するスキャナに独自の識別名称をつけたいときなどです。

初期設定名は“Honeywell-8670-SN-#####”（12桁のシリアル番号）です。ホストに複数のスキャナが接続されており、それらすべての同一の初期設定名が付いている場合、ホストに最初に接続されたスキャナがコマンドを受信します。同一の初期設定名が付いている一連のスキャナを命名し直す際は、1台を残してすべてのスキャナをホストとの通信から解除してください。

命名し直しの操作は3-9ページのバーコードを読み取るか、シリアルコマンド「ScannerName:BT_NAMNEWname」を送信します。（NewNameは新しいスキャナの名前）他のスキャナの名称も変更したい場合は、1台ずつ接続し、各スキャナに「ScannerName:BT_NAMname」（Xenonの場合、「Xenon:BT_NAMname」）というコマンドを繰り返します。

スキャナに順序だった番号で命名し直すには、下記のバーコードを読み取ってください。名称を変更するたびに、Reset（リセット）コードを読み取り、スキャナがホストと再度接続するまで待つてから、次のスキャナを命名し直すためのバーコードを読み取ってください。



BT_NAM0001.
0001



BT_NAM0002.
0002



BT_NAM0003.
0003



BT_NAM0004.
0004



BT_NAM0005.
0005



BT_NAM0006.
0006



BT_NAM0007.
0007



RESET_
Reset（リセット）

下記の Scanner Name（スキャナ名）バーコードを読み取り、その後スキャナ名として数字を読み取ることも可能です。例えば、通信済のスキャナを「312」と命名したい場合、下記のバーコードを読み取り、本書の裏表紙にある[プログラミングチャート](#)から3、1、2のバーコードを読み取り、Save（保存）を読み取ってください。Reset（リセット）バーコードを読み取り、スキャナがホストに再度接続されるまで待つてください。



BT_NAM.
スキャナ名

アプリケーションワークグループ

注意：アプリケーションワークグループは、ハネウエルアクセスポイント（AP）のみサポートしています。

ご使用のコードレスシステムでは、1台のホストAPに対し最多7台までスキャナを接続することができます。また、最高7つまでワークグループを設定できます。すべてのスキャナを同一の設定にしたい場合は、複数のワークグループを使用する必要はありません。一方、各スキャナに独特な設定（ブザー音量、プリフィクス/サフィックス、データフォーマットなど）

を施したい場合は、各スキャナが独自のワークグループを持つように設定し、各スキャナを独立させることができます。例えば、小売/倉庫のアプリケーションでは、倉庫と小売店舗内でそれぞれ異なったデータをバーコードに付して使用したいことがあるかもしれません。その場合、小売店舗内のスキャナをすべて1つのワークグループに割り当て、倉庫内のスキャナをすべてもう1つのワークグループに割り当てるのが可能です。これにより、小売店舗内であれ倉庫であれ、変更点は該当するワークグループ内のスキャナすべてに適用されます。ハネウエルのオンライン設定ツール、EZConfig（[9-3](#) ページ参照）では、複数のスキャナ、複数のワークグループへの設定変更が容易にできるようになっています。

スキャナは、自らが使用しているメニュー設定を保存しています。スキャナがホスト AP に接続または再接続するたびに AP からスキャナにそのワークグループの最新設定が送信され、そして更新されます。また、スキャナはホスト AP によって処理されたメニュー設定変更も受信します。スキャナがホスト AP から外されて別のホスト AP に差し込まれたりすると、そのスキャナに元々割り当てられていたワークグループの新しいホスト AP 設定で更新されます。例えば、最初にホスト AP と接続した際はワークグループ 1 だったスキャナは、2 台目のホスト AP でもワークグループ 1 となり、関連の設定が付与されず。

アプリケーションワークグループセレクション

ここでは、下記のバーコードを読み取ることによってスキャナを特定のワークグループに割り当てることができます。その後、ご使用のアプリケーションが必要とする設定（ブザー音量、プリフィクス/サフィックス、データフォーマットなど）を設定することができます。初期設定 = Group 0（グループ 0）



GRPSEL0.
*グループ 0



GRPSEL1.
グループ 1



GRPSEL2.
グループ 2



GRPSEL3.
グループ 3



GRPSEL4.
グループ 4



GRPSEL5.
グループ 5



GRPSEL6.
グループ 6

工場出荷時設定の再設定：すべてのアプリケーションワークグループ

下記のバーコードを読み取ると、すべてのワークグループを工場出荷時設定に戻します。



PAPDFT&

工場出荷時設定にリセット：
すべてのワークグループ

工場出荷時設定の詳細については、[シリアルプログラミングコマンド](#)、10-1 ページのメニューコマンドの表を参照してください。標準製品の各コマンド初期設定は「*」で示されています。

注意：このバーコードを読み取ると、スキャナとホスト AP の設定がリセットされ、通信が解除されます。スキャナを AP に再接続（ペアリング）しなければなりません。詳細は、[リングスキャナの Bluetooth デバイスとのペアリング](#)、1-6 ページのスキャナモードを参照してください。

ご使用のスキャナが複数スキャナ操作モードになっている場合は、すべてのスキャナがホスト AP に再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

カスタムデフォルトのリセット：すべてのアプリケーションワークグループ

すべてのワークグループをカスタムデフォルト設定に戻したい場合は、下記の Custom Product Default Settings（カスタムデフォルト設定）バーコードを読み取ってください。カスタムデフォルトがない場合は、初期設定へリセットされます。カスタムデフォルトについての詳細は、[カスタムデフォルトの設定 1-11 ページ参照](#)のカスタムデフォルトの設定を参照してください。



PAPDFT.

カスタムデフォルト設定：
すべてのワークグループ

注意：このバーコードを読み取ると、スキャナとホスト AP の設定がリセットされ、通信が解除されます。スキャナを AP に再接続（ペアリング）しなければなりません。詳細は[リングスキャナの Bluetooth デバイスとのペアリング](#)、1-6 ページを参照してください。

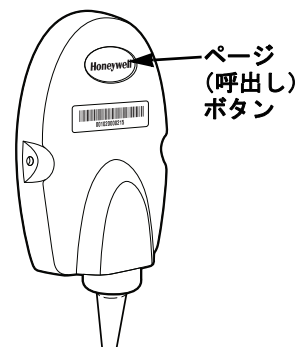
ご使用のスキャナが複数スキャナ操作モードになっている場合は、すべてのスキャナがホスト AP に再接続されて、設定が変更されるまで、30 秒間ブザー音が鳴り続けます。

アクセスポイントの操作

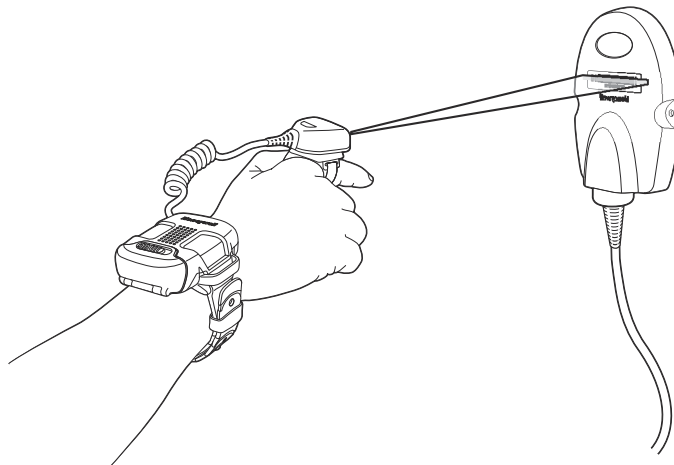
8670 リングスキャナは、スキャナとホスト間で 2 方向通信ができるハネウェルアクセスポイント（AP-010BT または AP-100BT）と接続ができます。

スキャナとアクセスポイントの接続

ホストコンピューター（ノート PC/ デスクトップ）を起動します。はじめにインターフェースケーブルをアクセスポイントに接続し、次にコンピューターのポートへ接続します。ホストへの接続が確立するとページボタンが点灯します。



以下の Bluetooth HID キーボード通信切断バーコードをスキャンし、アクセスポイントの上部にあるリンクバーコードを読み取ると、アクセスポイントとスキャナ間の接続を確立します。スキャナは短いビーブ音が鳴り、緑の LED が点滅し、アクセスポイントの接続が確認できます。アクセスポイントのページボタンが青のままです。



アクセスポイントが3回ビーブ音のあとに5回エラー音を鳴らす場合、正しくないモデルのアクセスポイントに接続しようとしていることを示します。

ホストからの切断およびアクセスポイントへの接続

お使いのリングスキャナが、iPad やスマートフォン、ノート型 PC のようなホストデバイスに直接接続されている場合、アクセスポイントに接続する為に Bluetooth 接続を切断する必要があります。Bluetooth HID Keyboard Disconnect (Bluetooth HID キーボード 通信切断) を読み取って、ホストデバイスとリングスキャナ間の通信を切断してください。リングスキャナをアクセスポイントに接続するために、アクセスポイントの接続バーコードを読み取ってください。



PAPSPP.

Bluetooth HID キーボード 通信切断

リンクされたスキャナの交換

アクセスポイントにリンクされた故障したり紛失したスキャナを交換する必要がある場合、新しいリングスキャナで以下の Override Locked Scanner (通信固定されたスキャナの上書き) バーコードを読み取り、Access Point linking バーコードを読み取ります。ロックされたリンクが無効化され、故障または紛失したスキャナのアクセスポイントとのリンクが削除され、新しいスキャナがリンクされます。



BT_RPL1.

通信固定されたスキャナの上書き
(シングルスキャナ)

アクセスポイントの LED シーケンスと意味

アクセスポイント上部に LED があり、起動および通信状態を表示します。

青色 LED- ホストとの通信	
青色 LED	通信状態
オフ	USB 保留
継続してオン	電源オン、システムアイドル
複数回にわたり短く点滅。ホストポート間のデータ通信中点滅	データ受信

アクセスポイントの操作

下記のバーコードを読み取ることによって、ご使用のアクセスポイントのアドレスを決定することができます。



*:BASLDA.

アクセスポイントアドレス

スキャナのページング

ページングモード (スキャナの呼び出し)

初期設定では、アクセスポイントのページングボタンを押すと、そのアクセスポイントと通信を確立しているスキャナを呼び出します。アクセスポイントのページングボタンを無効にしたい場合は、下記の Paging Mode Off (ページングモード 無効) バーコードを読み取ってください。ページングモードが無効のときは、ボタンを押してもアクセスポイントはスキャナを呼び出さなくなります。アクセスポイントの赤色 LED は点灯したままになり、ページングモードが無効であることを示します。(LED はボタンを押すと消え、ボタンが解除されると再度点灯します) 初期設定 = Paging Mode On (ページングモード 有効)



BEPPGE1.

* ページングモード 有効



BEPPGE0.

ページングモード 無効

ページング音の音程

アクセスポイントのページングボタンを押すと、そのアクセスポイントと通信しているスキャナがピーツと鳴り始めます。下記のバーコードの1つを読み取ることによってスキャナのページング音の高さを設定することができます。初期設定 = Low (低 1000Hz)



BEPPFQ1000.

* 低 (1000Hz)



BEPPFQ3250.

中 (3250 Hz)



BEPPFQ4200.

高 (4200 Hz)

バッチモード

バッチモードは、スキャナがハネウェルアクセスポイント（AP）の通信範囲外にあるとき、または棚卸をするときのバーコードデータ保存に使用します。スキャナは通信可能範囲外において数多くのシンボル（UPC シンボル約 500 個、他はばらつきあり）を保存し、通信可能範囲内に戻った際、または手動でホスト AP へ送信することができます。

注意：バッチモードはハネウェル AP でのみサポートしています。1 台のホスト AP に対して複数のスキャナを使用する際、バッチモードには限界があります。マルチリンクモードを使用すれば、最多 7 台のスキャナを 1 台のホスト AP に接続することが可能です。ただし、スキャナが通信範囲エリアを常に出入りしている場合、蓄積された、もしくはバッチ処理された読み取りデータが失われる可能性があります。

Automatic Batch Mode（自動バッチモード）はホスト AP の通信範囲外にある場合、バーコードデータを保存します。スキャナが通信範囲内に戻ると、データはホストへ自動的に送信されます。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、スキャナをホスト AP の通信範囲内に戻し、データが送信できるようにしなければなりません。

Inventory Batch Mode（インベントリバッチモード）ではホスト AP の通信範囲内に居る・居ないに関わらず、バーコードデータを保存します。保存されたデータをホスト AP に送信するためには、**インベントリの記録を送信**（3-18 ページ）をスキャンしてください。スキャナのバッファスペースが満杯になると、バーコード読み取り時にエラーブザーを鳴らします。バーコードを再度読み取るには、データをホスト AP へ送信しなければなりません。一旦データを送信すると、スキャナ内のデータはクリアされます。

Persistent Batch Mode（持続バッチモード）はデータが AP に送信してもスキャナに保持される以外、インベントリバッチモードと同じです。1 回以上送信したい場合は、このモードを使用してください。スキャナのバッファをクリアするには、**すべてのコードを削除**（3-18 ページ参照）のバーコードをスキャンしてください。

初期設定 = Batch Mode Off.（バッチモード 無効）



BATENA0.

*バッチモードオフ



BATENA1.

自動バッチモード



BATENA2.

インベントリバッチモード



BATENA3.

持続バッチモード

バッチモード：ブザー音

バッチモード使用時に**インベントリバッチモード** (3-14 ページ) (バッチモードブザー 有効) を読み取ると、毎回バーコードをスキャンした際のスキヤナのビープ音とバイブレーションを設定できます。**Batch Mode Beep** (バッチモードブザー) が有効の場合、各バーコードがホスト AP に送信されるとクリック音が鳴ります。この音を無効にするには、**Batch Mode Beep Off** (バッチモードブザー 無効) をスキャンしてください。*初期設定 = Batch Mode Beep On* (バッチモードブザー 有効)



BATBEP0.

バッチモードブザー 無効



BATBEP1.

* バッチモードブザー 有効

バッチモード：保存形式

バッチモードにおいて、スキヤナがデータを保存する際、フラッシュメモリに保存するか RAM に保存するかを選択できます。

フラッシュ保存：スキヤナが低出力になる前に、まだ送信していないデータをすべてフラッシュメモリに書き込みます。スキヤナが再起動した際もデータはまだ残っています。しかし、スキヤナのパワーダウンタイムアウトに達した場合やバッテリー残量が非常に少なくなると、未送信のデータがあってもスキヤナは低出力になります。

RAM 保存：ホスト AP に未送信のデータがスキヤナに入っているとき、スキヤナはパワーダウンタイムアウトに達しても低出力になりません。しかし、バッテリー切れになった場合は、スキヤナは低出力になり、データは失われます。

初期設定 = Flash Storage (フラッシュメモリに保存)



BATNVS1.

* フラッシュメモリに保存



BATNVS0.

RAM ストレージ

バッチモード個数

バッチモードにおいて、同一のバーコードを何個も送信するのではなく、バーコードの個数を送信したいことがあるかもしれません。例えば、Batch Mode Quantity Off (バッチモードの個数 無効) の状態で XYZ という 3 つのバーコードを読み取ったとすると、そのデータを送信したときには、XYZ が 3 個表示されます。Batch Mode Quantity On (バッチモードの個数 有効) と (3-17 ページ) の Quantity Codes (個数コード) を使えば代わりに「XYZ, 00003」と出力することができます。

注意：出力した内容をフォーマットしたい場合、例えばバーコードデータと数量の間に CR や Tab を挿入したいときは、[データフォーマット 6-1 ページのデータフォーマットの項を参照してください](#)。

初期設定 = Batch Mode Quantity Off (バッチモードの個数 無効)



BATQTY0.

* バッチモードの個数 無効



BATQTY1.

パッチモードの個数 有効

個数の入力

3-17 ページの Quantity Codes（個数コード）を用いれば、最後に読み取ったバーコードについて、9999 までの個数（初期設定 = 1）を入力できます。個数の数字は右から左へ移動しますので、5 桁目の数字が読み込まれると既に読み込んだ 1 桁目の数字がなくなり、2・3・4 桁目の数字が左へずれて、新たな 1 桁を迎え入れます。

例えば、個数が 1234 に設定されたあとで、Quantity 5 バーコードを読み取ると、1 が脱落し、個数は 2345 になります。

Example: 例：最後に読み取ったアイテムに 5 という個数を付与する場合

1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。

Example: 例：最後に読み取ったアイテムに 1,500 という個数を付与する場合

1. 当該アイテムのバーコードを読み取ります。
2. Quantity 1 のバーコードを読み取ってください。
3. Quantity 5 のバーコードを読み取ってください。
4. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。
5. Quantity 0 のバーコードを読み取ってください。

Example: 例：個数を 103 から 10 に変更する場合

間違った個数を訂正するには、Quantity 0 のバーコードを読み取り、間違った数字を置き換えます。その後、正しい数量コードを読み取ります。

1. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 1030 に変更します。
2. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0300 に変更します。
3. Quantity 1 バーコードを読み取って個数を 3001 に変更します。
4. Quantity 0 バーコードを読み取って個数を 0010 に変更します。

初期設定 = 1

個数コード



BATNUM0.

0



BATNUM1.

1



BATNUM2.

2



BATNUM3.

3



BATNUM4.

4



BATNUM5.

5



BATNUM6.

6



BATNUM7.

7



BATNUM8.

8



BATNUM9.

9

バッチモード：出力順序

バッチモードでデータを送信する際には、データを FIFO（先入れ先出し）で送信するか、LIFO（後入れ先出し）で送信するかを選択してください。初期設定 = Batch Mode FIFO（先入れ先出し）



BATLIFO.

* バッチモード 先入れ先出し



BATLIF1.

バッチモード 後入れ先出し

レコードの合計件数

バッチモードの間に読み取ったバーコードの数量を出力したい場合は、Total Records（レコードの合計件数）を読み取ってください。



BATNRC.

レコードの合計件数

最後のコードを削除

バッチモードにおいて、最後に読み取ったバーコードを削除したい場合は Delete Last Code（最後のコードを削除）を読み取ってください。



BATUND.

最後のコードを削除

すべてのコードを削除

スキャナのバッファからバッチモードで蓄積されたすべてのデータを消去したい場合は、Clear All Codes（すべてのコードを削除）を読み取ってください。



BATCLR.

すべてのコードを削除

保存したデータをホストへ送信

Inventory Batch Mode（[インベントリバッチモード](#) 3-14 ページ参照）において、保存されたすべてのデータをホスト AP へ送信するには、下記のバーコードを読み取ってください。



BAT_TX.

インベントリの記録を送信

バッチモード送信ディレイ（間隔）

蓄積されたスキャンデータをホスト AP へ送信する際、送信が速すぎてアプリケーションが処理しきれないことがあります。蓄積されたスキャンデータ間にディレイ（間隔）を設定するには、下記のディレイのいずれかを読み取ってください。初期設定 = 無効

注意：ほとんどの場合、ディレイは短い（250 ミリ秒）のが理想です。しかし、より長いディレイを設定することもできます。詳細については、[テクニカルサポート](#)（[-iii ページ](#)）にご連絡ください。



BATDLY0.

* バッチモードの送信ディレイ
（無効）（ディレイなし）



BATDLY250.

バッチモードの送信ディレイ 短
（250 ミリ秒）



BATDLY500.

バッチモードの送信ディレイ 中
（500 ミリ秒）



BATDLY1000.

バッチモードの送信ディレイ 長
(1000 ミリ秒)

ホストコマンドの認知

一部のアプリケーションでは、送信されてきたバーコードをホストが承認するか、または却下することを要求し、この処理をユーザーに知らせるよう要求します。ホスト ACK モードでは、スキャナは各スキャン後に返答を待ちます。視覚的聴覚的レスポンスでオペレーターはフィードバックを得られます。ホスト ACK を有効にすることによってスキャナはホストシステムからのコマンドに反応する状態になります。

注意：ホスト ACK を 9600 未満のボーレートで使用すると、システム性能が落ちますので、ご注意ください。

ホスト ACK を正常に作動させる為には、下記の条件を満たす必要があります。

- ワイヤレスシステムがホストのポート RS232 (ターミナル ID = 000) もしくは USB COM エミュレーション (ターミナル ID = 130) に設定してください。
- RTS/CTS の初期設定は無効です。ホストシステムが RTS/CTS を必要としている場合は、有効にしなければなりません。
- ホスト ACK を有効にしてください (3-20 ページ)
- 区切り文字にはカンマが必要です。
- ホストターミナルのソフトウェアには、バーコードデータを解釈し、かつデータの内容によって決定を下す能力が必要とされます。スキャナへ適切なエスケープコマンドを送信する能力が必要です。

エスケープコマンドは「アプリケーションワークグループ」を介してスキャナへ送信されます。コマンドが送信されると、そのグループ内のスキャナすべてがコマンドに反応します。そのため、各スキャナにホスト ACK モードで自分専用のグループを割り当てることを推奨します。

スキャナが反応するコマンドは 3-20 ページに列挙されています。[ESC] は Hex 値での 1B です。典型的なコマンドストリングは y <ESC> x で、「y」はアプリケーションワークグループ番号、「<ESC> x」はエスケープコマンド、コンマは終止符が必要です。「y」が特定されていない場合、コマンドは初期設定の Application Work Group 0 に送信されます。

例： コマンドをつなげて、カスタマイズされたレスポンスシーケンスを作成することもできます。以下はコマンドストリングの一例です。

```
0[ESC]4,[ESC]5,[ESC]6,
```

上記の例では、アプリケーションワークグループがゼロのスキャナが、始めは小さい音でピーッと、その後中位の音でピーッと、さらにその後大きな音でピーッと鳴ります。

例： ファイルのどのアイテムにもピーツ音が必要ですが、ファイルにアイテムがない場合、エラーブザーが必要です。この場合、

オンファイル製品用に [ESC]7 がホストへ送信されます。

非オンファイル製品用に [ESC]8、[ESC]8 がホストへ送信されます。

バーコードがスキャンされると、スキャナはホスト ACK シーケンスまたはタイムアウト (初期設定 10 秒) になるまでのタイムアウト期間を入力します。

ホスト ACK が有効なとき、システムは次のように機能します。

- スキャナはコードを読取、データをホストに送信します。スキャナがエスケープコマンドを受信するまで音や視覚によるインジケータは発せられません。読み取りに成功すると、スキャナの読み取り用ライトが消えます。
- 以下のいずれかになるまで、スキャナの操作は中止されます。1) ベースユニットを介して、ホストからの有効なエスケープ・ストリングを受信する。2) スキャナがタイムアウトになる。
- 上記の 1) ないし 2) の条件が満たされると、スキャナは再び読み取り準備が整い、プロセスが繰り返されます。

スキャナが 10 秒以内に有効なエスケープコマンドを受信しなければ、タイムアウトが起きます。タイムアウトはエラーブザーで示されます。タイムアウトになった場合、ユーザーはホストシステムをチェックしてスキャナへの応答がなぜ受信されなかったのかを確認してください。

ホスト ACK



HSTACK1.

ホスト ACK 有効



HSTACK0.

*ホスト ACK 無効

ホスト ACK タイムアウト

ホスト応答モードを使用している場合、有効なエスケープコマンド用にスキャナが待機する時間の長さのタイムアウトを設定できます。次のバーコードを読み取って、タイムアウトする時間（秒）を設定し、その後、裏表紙にある[プログラミングチャート](#)から数値を読み取って、タイムアウト時間（1～90秒の間）を設定しをスキャンしてください。初期設定 = 10



HSTATO.

ホスト ACK タイムアウト

ホスト ACK のレスポンス

コマンド	動作
[ESC] a,	2回ビーブ音とバイブレーションが設定変更成功を示します。
[ESC] b,	エラーブザーが鳴り、設定変更が成功しなかったことを示します。
[ESC] 1,	緑のLEDが135秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 2,	緑のLEDが2秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 3,	緑のLEDが5秒間点灯し、その後小休止します。
[ESC] 4,	小さい音で1回ピーッと鳴ります。
[ESC] 5,	中位の音で1回ピーッと鳴ります。
[ESC] 6,	大きい音で1回ピーッと鳴ります。
[ESC] 7,	連続音とバイブレーションで、デコードとホストへの通信が成功したことを示します。
ESC 8, ESC J	ホストへのデコードまたは通信が失敗したことを表すエラーブザーが鳴ります。

入力・出力設定

起動ブザー

スキャナは、電源が入るとブザーが鳴るようになっています。起動ブザーをお使いにならない場合は、無効バーコードを読み取ってください。初期設定 = Power Up Beeper On – Scanner (スキャナ、起動ブザー有効)



BEPPWR0.

スキャナ、起動ブザー無効



BEPPWR1.

*スキャナ、起動ブザー有効

BEL ブザー

ホストからのコマンドに対してブザーを鳴らしたい場合は、下の Beep on BEL On (BEL ブザー 有効) バーコードを読み取ってください。スキャナがホストから BEL キャラクタを受信するたびにブザーが鳴ります。初期設定 = Beep on BEL Off (BEL ブザー 無効)



BELBEP0.

*BEL ブザー 無効



BELBEP1.

BEL ブザー 有効

トリガークリック音

トリガーを引くたびにクリック音が聞こえるようにしたい場合は、下の Trigger Click On (トリガークリック音 有効) バーコードを読み取ってください。クリック音が聞こえないようにするには、Trigger Click Off (トリガークリック音 無効) コードを読み取ります。(シリアルトリガーモードもしくは自動読み取りモードには影響しません。) 初期設定 = Trigger Click Off (トリガークリック音 無効)



BEPTRG0.

*トリガークリック音 無効



BEPTRG1.

トリガークリック音 有効

読み取り成功およびエラーインジケータ

ブザー - 読み取り成功時

読み取りに成功した場合のブザーを **On (有効)** または **Off (無効)** に設定できます。この設定を無効にすると、読み取り成功時のインジケータの中でもブザーだけを無効にします。エラー発生時や設定変更時のブザーはすべて鳴動します。初期設定 = *Beeper -Good Read On* (読み取り成功のブザー 有効)



BEPBEP0.

読み取り成功のブザー 無効



BEPBEP1.

* 読み取り成功のブザー 有効

ブザーの音量 : 読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザーの音量を変更します。初期設定 = *High* (高)



BEPLVL1.

低



BEPLVL2.

中



BEPLVL3.

* 高



BEPLVL0.

無効

ブザーの音程 - 読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の音程 (周波数) を変更します。初期設定 = *Medium* (中)



BEPFQ11600.

低 (1600 Hz)



BEPFQ12700.

* 中 (2700 Hz)



BEPFQ14200.
高 (4200 Hz)

振動：読み取り成功時

バーコードの読取に成功するとスキャナは1回振動し、設定バーコードの読取に成功すると2回振動します。設定バーコードの読取に失敗すると、スキャナは1回長く振動します。(2回分の長さ)振動を使用しない場合は、**Vibrate - Good Read Off** (読み取り成功の振動 オフ)を読み取ってください。初期設定 = *Vibrate - Good Read On* (読取成功の振動 オン)



TFBGRD0.
読み取り成功時の振動 無効



TFBGRD1.
* 読み取り成功時の振動 有効

振動時間

読み取り成功時の振動の長さを設定したい場合、以下のバーコードをスキャンし、裏表紙の内側から数字を読み取って (100 ~ 2,000 ミリ秒) の長さを設定し **Save (保存)** を読み取ります。初期設定 = 300 ミリ秒



TFB DUR.
振動時間

ブザーの音程：読み取り失敗時およびエラー発生時

エラー発生時にスキャナが発するエラーブザー音の音程を変更できます。初期設定 = *Razz (低)*



BEPFQ2250.
* 低 (250 Hz)



BEPFQ23250.
中 (3250 Hz)



BEPFQ24200.
高 (4200 Hz)

ブザーの長さ：読み取り成功時

読み取り成功時にスキャナが鳴らすブザー音の長さを変更します。初期設定 = Normal (通常)



BEPBIP0.

* 通常



BEPBIP1.

短

LED- 読み取り成功時

LED インジケータは、グッドリードに対応して On または Off に設定できます。初期設定 = On (有効)



BEPLED1.

* 読み取り成功時の LED 有効



BEPLED0.

読み取り成功時の LED 無効

ブザーの回数：読み取り成功時

グッドリードのブザー回数を 1 ~ 9 に設定できます。読み取り成功時のブザー回数を設定すると、その回数が読み取り成功時のブザーと LED の回数として適用されます。例えば、この設定をブザー 5 回に設定すると、読み取り成功に反応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザーと LED の点滅は互いに同期しています。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にあるから数字 (1 ~ 9) バーコードと Save (保存) バーコードを読み取ります。プログラミングチャート 初期設定 = 1



BEPRPT.

読み取り成功時のブザーと LED 回数

ブザーの回数：読み取り失敗時およびエラー発生時

読み取り失敗時およびエラー発生時にスキャナが鳴らすブザーや LED の点滅回数を 1 ~ 9 のうちで設定できます。例えば、この設定をブザー 5 回に設定すると、エラーに反応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に裏表紙の内側にあるから数値 (1 ~ 9) バーコードを読み取り、次に Save (保存) バーコードを読み取ります。プログラミングチャート 初期設定 = 1



BEPERR.

エラー発生時のブザーと LED 回数

読み取り成功ディレイ

読み取り成功後、次のバーコードを読み取るまでの最短時間を設定します。初期設定 = 0 ミリ秒 (ディレイなし)



DLYGRD0.

*ディレイなし



DLYGRD500.

短いディレイ (500 ミリ秒)



DLYGRD1000.

中位のディレイ (1,000 ミリ秒)



DLYGRD1500.

長いディレイ (1,500 ミリ秒)

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

読み取り成功ディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 30,000 ミリ秒) を設定し、最後に **Save** (保存) を読み取ります。



DLYGRD.

ユーザー定義の読み取り成功ディレイ

マニュアルトリガーモード

マニュアルトリガーモードの場合、バーコードが読み取られるまで、もしくはトリガーを放すまで読み取りを行います。Normal (標準) と Enhanced (強化) の二つのモードから選択できます。標準モードは、高速で広い読取範囲で読取を行います。強化モードでは、最速の読み取りを行います。標準モードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。初期設定 = Manual Trigger Mode - Normal (マニュアルトリガーモード 標準)



PAPHHF.

* マニュアルトリガー 標準



PAPHHS.

マニュアルトリガー 強化

シリアルトリガーモード

トリガーを引くか、シリアルトリガーコマンドを用いることで、スキャナを動作させることができます。**トリガーコマンド** 10-3 ページを参照してください。シリアルトリガーを使用するために、シリアルインターフェースモードにする必要があります。詳細については **RS232 シリアルポート** (2-1 ページ) または **USB シリアル** (2-4 ページ) を参照してください。シリアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るか、停止コマンドが送信されるまで読み取り動作を継続します。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるようにスキャナを設定することもできます。(**読み取りタイムアウト** を参照。)

読み取りタイムアウト

スキャナをシリアルコマンドで動作させる場合、この設定でトリガーのタイムアウト (ミリ秒単位) を設定します。スキャナが一旦タイムアウトになった後は、トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを用いて動作させることができます。**Read Time-Out** (読み取りタイムアウト) のバーコードを読み取り、裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から数字を読み取って、タイムアウト時間 (0 ~ 300,000 ミリ秒) を設定し、次に Save (保存) を読み取ります。*初期設定 = 30,000 ミリ秒*



TRGSTO.
読み取りタイムアウト

低品質コード

低品質 1D コード

この設定はダメージのあるバーコードまたは印刷が悪いバーコードの読取を改善させます。**Poor Quality 1D Reading On** (低品質 1D 読取有効) を読み取ると、低品質の 1 次元バーコードの読取が改善されますが、スキャナ読取速度は高品質のバーコードを読み取る場合に比べ低下します。この設定は 2 次元バーコードには影響がありません。*初期設定 = 低品質 1D 読取無効*



DECLDI1.

低品質 1D 読取有効



DECLDI0.

* 低品質 1D 読取無効

低品質 PDF コード

この設定はダメージのある PDF コードまたは印刷が悪い PDF コードの読取を改善させます。**Poor Quality PDF On** (低品質 PDF 読取有効) を読み取ると、低品質の PDF コードの読取が改善されますが、スキャナ読取速度は高品質のバーコードを読み取る場合に比べ低下します。この設定は 1 次元バーコードには影響がありません。*初期設定 = 低品質 PDF 読取無効*



PDFXPR1.

低品質 PDF 読取有効



PDFXPR0.

* 低品質 PDF 読取無効

CodeGate®

CodeGate を有効にすると、デコードされたデータをホストシステムへ送信させるためにトリガーを使用します。スキャナは読み取りもデコードも行いますが、トリガーが引かれるまでデコードされたデータを送信しません。CodeGate が無効になっていると、バーコードのデータはデコードされて直ぐにホストシステムに送信されます。初期設定 = CodeGate Off, Out of Stand (スタンド不使用時 CodeGate 無効)



AOSCGD0.

* CodeGate 無効



AOSCGD1.

CodeGate 有効
スタンド不使用時

ストリーミングプレゼンテーション™ モード

ストリーミングプレゼンテーションモードを設定すると、スキャナのエイマーは短時間後消えますが、スキャナの照明はバーコードを探すために継続して常時点灯されます。一時的、ノーマル、および強化モードが利用できます。

一時的ストリーミングプレゼンテーションはタイマーで動作します。このモードを使用している場合、トリガーを押すとストリーミングプレゼンテーションが始まります。バーコードを読み取っている間、このモードのままです。バーコードが読み取られないまたはタイムアウト時間中にトリガーが押された場合、スキャナはトリガーモードに戻ります。次にトリガーが押されると、再度処理が始まります。一時的ストリーミングプレゼンテーションを使用するために、以下のバーコードを読み取り、裏表紙内側からプログラミングチャート数字を読み取り、タイムアウト時間 (1 ~ 30,000 ミリ秒) を設定した後、Save (保存) を読み取ってください。初期設定 = 60,000

ノーマルストリーミングプレゼンテーションは、高速で広い読取範囲 (読取深度) で読み取ります。

強化ストリーミングプレゼンテーションは、最速の読み取りを行いますが、標準モードより読取範囲が少し狭くなります。強化モードは広い読取範囲を必要とせず、高速処理を行いたいときに適しています。



TRGAPT.

* 一時的ストリーミングプレゼンテーション



PAPSPN.

ストリーミングプレゼンテーションモード 標準



PAPSPE.

ストリーミングプレゼンテーションモード 強化

優先シンボル (4-13 ページ) を使用しているとき、優先順位の低いシンボルはエイミングパターンの中央に置かれ、ストリーミングプレゼンテーションモードで読み取られます。

ハンズフリータイムアウト

ストリーミングプレゼンテーションを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、スキャナがマニュアルトリガーモードのままの時間を設定できます。タイムアウト値に達すると（さらにトリガーが引かれなければ）元のストリーミングプレゼンテーションモードに戻ります。

Hands Free Time-Out のバーコードを読み取り、裏表紙の内側からタイムアウト時間 (0 ~ 300,000 ミリ秒) を読み取り、次に **Save (保存)** を読み取ります。初期設定 = 5,000 ミリ秒



TRGPTO.

ハンズフリータイムアウト

携帯端末読み取りモード

この機能は、お使いのスキャナを携帯端末やその他の LED デバイスのバーコード読み取りに最適化します。しかし、このモードでは、印刷されたバーコードの読取速度は少し遅くなります。携帯端末読み取りモードは、読み取り方式（手持ち、またはハンズフリー）に関わらず、お使いになれます。



PAPHHC.

手持ち読み取り 携帯端末



PAPSPC.

ハンズフリー読み取り 携帯端末

注意：携帯端末読み取りモードを無効にするには、マニュアルトリガーまたはシリアルトリガーモードのバーコード (4-5 ページ参照) を読み取ります。

再読み取りディレイ

同一バーコードを 2 回目に読み取るまでの間隔を秒単位で設定します。再読み取りディレイを設定することで、同一バーコードを誤って再読み取りするのを防ぎます。ディレイを長くすると、再読み取りエラーを最小限にするのに効果的です。バーコードの繰り返し読み取りが必要な場合は、ディレイを短くします。再読み取りディレイが動作するのは、プレゼンテーションモードストリーミングプレゼンテーション™モード (4-7 ページ参照) のときだけです。初期設定 = Medium (中)



DLYRRD500.

短 (500 ミリ秒)



DLYRRD750.

* 中 (750 ミリ秒)



DLYRRD1000.
長 (1000 ミリ秒)



DLYRRD2000.
エクストラ (2000 ミリ)

ユーザー定義の再読み取りディレイ

リリードディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 30,000 ミリ秒) を設定し、最後に **Save (保存)** を読み取ります。



DLYRRD.
ユーザー定義の再読み取りディレイ

2D 読み取りディレイ

2次元シンボルは他のバーコードと比べて、読み取りに時間が掛かることがあります。2次元シンボルに再読み取りディレイを設定したい場合、以下の設定バーコードを読み取ってください。**2D Reread Delay Off** (2D 再読み取りディレイ無効) は再読み取りディレイが設定された1次元・2次元バーコードの両方に使用できます。初期設定 = 2D Reread Delay Off (2D 再読み取りディレイ無効)



DLY2RR0.
* 2D 再読み取りディレイ無効



DLY2RR1000.
短 (1000 ミリ秒)



DLY2RR2000.
中 (2000 ミリ秒)



DLY2RR3000.
長 (3000 ミリ秒)



DLY2RR4000.
エクストラ (4000 ミリ秒)

照明

バーコードの読み取り中に照明をオンにしたい場合は、次の **Lights On** のバーコードを読み取ります。ただし、単に照明をオフしたい場合は、**Lights Off (照明無効)** のバーコードを読み取ります。初期設定 = Lights On (照明 無効)

注意：この設定は、エイマーには無効です。エイマーは、**エイマーモード** (4-10 ページ) で設定できます。



SCNLED1.

* 照明 有効



SCNLED0.

照明 無効

エイマーディレイ

ユーザーがスキャナの狙いを定めて画像を取り込むまでのディレイ (間隔) を設定します。これらのコードで、トリガーが押されてから画像を取り込むまでの時間を設定します。ディレイ時間の間はエイマーが照射されますが、ディレイ時間を過ぎるまで LED は点灯しません。初期設定 = 無効



SCNDLY200.

200 ミリ秒



SCNDLY400.

400 ミリ秒



SCNDLY0.

* 無効、またはディレイ無し

ユーザー定義のエイマーディレイ

ディレイ時間に独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から数字 (0 ? 4,000 ミリ秒) を読み取ってタイムアウト時間を設定し、**Save** (保存) を読み取ります。



SCNDLY.

ディレイ時間

エイマーモード

この機能はエイマーの切り替えを行うものです。**Interlaced** (非同時) のバーコードを読み取ると、エイマーと照明 LED は同時に点灯できません。illumination LEDs. 初期設定 = Interlaced (非同時)



SCNAIM0.

無効



SCNAIM2.

* 非同時

センタリング

希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用してスキャナの視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります（センタリングは、複数のバーコードが接近して配置されている作業環境でエラーができるだけ発生しないように、[エイマーディレイ](#)、4-10 ページと一緒に使用できます。エイマーディレイ機能とセンタリング機能を併用すると、レーザーバーコードスキャナなどの旧式システムの動作をエミュレーションできます。）

シングルコードセンタリング

画像の中央に最も近いバーコードを読み取るために、**Single Code Centering**（シングルコードセンタリング）を読み取ってください。複数のバーコードが近接している場合は、このようにバーコードを選び出すことは正確さを増やしません。

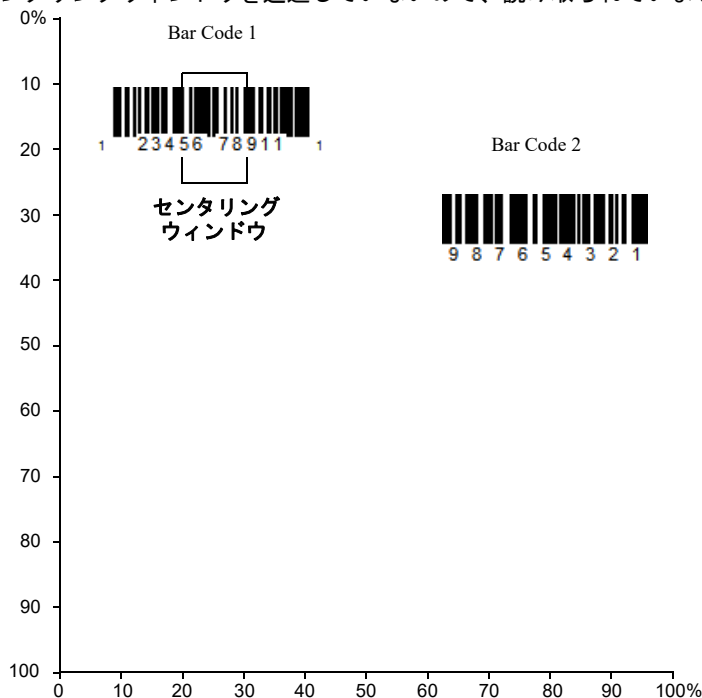


シングルコードセンタリング

カスタムセンタリング設定

センタリングウィンドウをカスタマイズするために以下を使用してください。事前に設定されたウィンドウにバーコードが触れられなかった場合、バーコードのデコードも出力を行われません。**Centering On**（**プレゼンテーションセンタリング 有効**）を読み取って設定を有効にすると、**Top of Centering Window, Bottom of Centering Window**（センタリングウィンドウの上下センタリング）、**Left, and Right of Centering Window**（センタリングウィンドウの左右）によってユーザーが指定したセンタリングウィンドウを通ったバーコードだけを読み取ります。

次の例では、白いボックス がセンタリングウィンドウを示します。センタリングウィンドウは20% 左、30% 右、8% 上、25% 下に設定されています。バーコード1は、センタリングウィンドウを通過したので、正常に読み取られます。一方、バーコード2はセンタリングウィンドウを通過していないので、読み取られていません。



注意：バーコードはある程度センタリングウィンドウを通過しなければなりません。バーコード全体が完全にセンタリングウィンドウに入るように読み取る必要はありません

Centering On (センタリング有効) を読み取り、次のバーコードをどれか読み取ってセンタリングウィンドウの上下左右いずれかを変更します。本書裏面にあるプログラミングコードを読み取って、センタリングウィンドウを移動する割合の数字を読み取り、その後 **Save (保存)** を読み取ります。初期設定センタリング=Top と Left が40%、Bottom と Right が60%





DECLFT.
センタリング 左



DECRGT.
センタリング 右

優先シンボル

複数のシンボルが 1 枚のシートに印刷されているものの、優先順位の低い方のシンボルの読み取りを無効にできない場合、ある一つのシンボルを他のシンボルよりも優先順位が高いものとして指定することができます。

例えば、UPC シンボルを小売店舗で読み取るよう設定を施したスキャナを使用している場合に、運転免許証のバーコードを読み取らなければならない場合があります。一部の免許証には Code 39 シンボルのほかに PDF417 シンボルもありますが、優先シンボルを使用すると、Code 39 ではなく PDF417 を先に読み取るよう指定することができます。

優先シンボルは、各シンボルを優先度 高、優先度 低、または指定なしタイプに分類されます。優先度低のシンボルが現れたとき、スキャナは設定した時間（**優先シンボルのタイムアウト** 4-14 ページ参照）の間、このシンボルを無視し優先度高のシンボルをサーチします。この時間内に優先度高のシンボルが見つかったら、即座にデータが読み取られます。

優先度の高いシンボルを読み取る前にタイムアウト時間が過ぎてしまうと、スキャナは視界内のバーコード（優先度 低または指定なし）を読み取るようになります。タイムアウト時間が過ぎてもスキャナの視界内にバーコードが見つからない場合、データは報告されません。

注意：優先度低のシンボルは、読み取るエイミングパターンの中央に置く必要があります。

次のバーコードを読み取って、優先シンボルを有効または無効にします。 *初期設定 = Preferred Symbology Off*（優先シンボル 無効）



PRFENA1.
優先シンボル 有効



PRFENA0.
*優先シンボル 無効

高優先度シンボル

優先度の高いシンボルを指定するには、次の High Priority Symbology（高優先度シンボル）バーコードを読み取ります。**シンボルチャート** A-1 ページのシンボルチャートで、高優先度に設定するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から 2 桁の Hex 値を読み取ります。Save（保存）を読み取り、設定を保存します。*初期設定 = None*（なし）



PRFCOD.
高優先度シンボル

低優先度シンボル

優先度の低いシンボルを指定するには、次の Low Priority Symbology（低優先度シンボル）バーコードを読み取ります。**シンボルチャート** A-1 ページのシンボルチャートで、低優先度に設定するシンボルを探します。シンボルの Hex 値を確認し、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から 2 桁の Hex 値を読み取ります。

優先度の低いシンボルをさらに設定したい場合は、FF を読み取った後、次のシンボルに対応する 2 桁の Hex 値をプログラミングチャートから読み取ります。最大 5 つの優先度低シンボルを設定できます。Save (保存) を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None (なし)



優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルを有効にし、高優先度および低優先度のシンボルを入力したら、タイムアウト時間を設定する必要があります。これは、低優先度のバーコードが現れた後、スキャナが高優先度のバーコードをサーチする時間です。次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 3,000 ミリ秒) を設定し、Save (保存) を読み取ります。初期値 = 500ms



優先シンボルのタイムアウト

次のバーコードを読み取ると、すべての優先シンボル設定がデフォルトに戻されます。



アウトプットシーケンスの概要

アウトプットシーケンスエディタ

この設定では、バーコードが読み取られる順序には関係無く、アプリケーションに必要な任意の順序でデータを出力するように (複数のシンボルを読み取るとき) スキャナを設定できます。Default Sequence (シーケンスのデフォルト) のシンボルを読み取ると、下記の汎用値にスキャナを設定します。これが初期設定になっています。Default Sequence のシンボルを読み取る前に必ずフォーマットをすべて削除するかクリアしてください。

注意: アウトプットシーケンスエディタを設定するときは、アプリケーションに必要なコード ID、コード長、および合致させるキャラクタを事前に確認する必要があります。英数字シンボル (裏表紙の内側) を用いてこれらの設定値を読み取ってください。また、シーケンスで各バーコードを読み取る間は、トリガーを引いたままにしておく必要があります。

アウトプットシーケンスを追加する

1. **Enter Sequence** (シーケンスの入力) のバーコードを読み取ります。(アウトプットシーケンスの要求、4-17 ページを参照。)
2. **コード I.D.**
シンボルチャート A-1 ページのシンボルチャートでアウトプットシーケンスフォーマットを適用するシンボルの種類を確認します。シンボルの Hex 値を確認し、プログラミングチャート (裏表紙の内側) から 2 桁の Hex 値を読み取ります。
3. **長さ**
シンボルの長さ (最大 9,999 桁) を指定します。プログラミングチャートから 4 桁のデータ桁数を読み取ってください。(注: 50 桁は 0050 と入力します。9999 は汎用の数字で、すべての長さ / 桁数を示します。) データ桁数を計算するときには、設定したプリフィクス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。(9999 を使用しない場合。)

4. 合致キャラクタの指定

ASCII 変換チャート (コードページ 1252)、A-3 ページの「印刷バーコードのコードページマッピング」で合致させたいキャラクタを表す Hex 値を確認します。その後、プログラミングチャートを使用し、ASCII キャラクタを表す英数字の組合せを読み取ります。(99 は汎用の数字で、すべてのキャラクタを示します。)

5. アウトプットシーケンスの終了

追加シンボル用にアウトプットシーケンスを入力するときは **FF** を読み取ります。または **Save (保存)** を読み取って入力を保存します。

他の設定

- **Discard (破棄)**

アウトプットシーケンスの変更を保存しないで終了します。

アウトプットシーケンス 設定例

この例では、Code 93、Code 128、および Code 39 のバーコード読み取りに際し、下記のように Code 39 をはじめに、次に Code 128 を、Code 93 を三番目に出力するよう読み取りたいとします。

注意：この例では、Code 93 が必ず有効でなければなりません。



A - Code 39



B - Code 128



C - Code 93

次のコマンド行でシーケンスエディタを設定します。

```
SEQBLK62999941FF6A999942FF69999943FF
```

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK シーケンスエディタのスタートコマンド

```
62      Code 39 のコード ID
9999    Code 39 の場合に対応しなければならないコード長、9999 : すべての長さ
41      Code 39 先頭キャラクタを指定、41h="A"
FF      最初のコードの終了
6A      Code 128 のコード ID
9999    Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、9999 : すべての長さ
42      Code 128 の先頭キャラクタを指定、42h="B"
FF      2 番目のコードの終了
69      Code 93 のコード ID
9999    Code 93 の場合に対応しなければならないコード長、9999 : すべての長さ
43      Code 93 の先頭キャラクタを指定、43h="C"
FF      3 番目のコードの終了ストリング
```

特定のデータ長を使用して先の例を設定するには、設定したプリフィクス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ長の一部として数える必要があります。4-15 ページの例を使用しつつ <CR> サフィックスと特定のコード長を想定する場合は、次のコマンド行を使用します。

SEQBLK62001241FF6A001342FF69001243FF

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLKシーケンスの入力

62 Code 39 のコード ID
0012 A - Code 39 のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
41 Code 39 先頭キャラクタ、41h="A"
FF 最初のコードの終了
6A Code 128 のコード ID
0013 B - Code 128 のコード長 (12) + CR サフィックス (1) = 13
42 Code 128 先頭キャラクタ、42h="B"
FF 2 番目のコードの終了
69 Code 93 のコード ID
0012 C - Code 93 のコード長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
43 Code 93 先頭キャラクタ、43h="C"
FF 3 番目のコードの終了

アウトプットシーケンスエディタ



SEQBLK.

シーケンスの入力



SEQDFT.

シーケンスのデフォルト

パーティカルシーケンス

アウトプットシーケンスがすべての出力シーケンス基準と合致する前に終了された場合、そこまでに得られたバーコードデータが「パーティカルシーケンス」となります。

Discard Partial Sequence (パーティカルシーケンスの放棄) を読み取ると、アウトプットシーケンスが途中で中断されたパーティカルシーケンスを放棄します。Transmit Partial Sequence (パーティカルシーケンスの送信) を読み取ると、パーティカルシーケンスを送信します。(合致するデータがないシーケンスのフィールドは、出力時にスキップされます。)



SEQTTS1.

パーティカルシーケンスの送信



SEQTTS0.

* パーティカルシーケンスの放棄

アウトプットシーケンスの要求

アウトプットシーケンスが **Required (要求する)** のとき、出力データはすべて設定シーケンスどおりでなければなりません。合致していなければ、スキャナは出力データをホストデバイスに送信しません。**On/Not Required (有効、要求しない)** のときは、編集されたシーケンスに合うように出力データを取得しようとします。取得できなければ、すべての出力データをそのままホスト機器に送信します。

無効の場合は、バーコードデータはスキャナがデコードしたままホストに出力されます。初期設定 = 無効

注意：この設定は、複数シンボルが有効になっているときは使用できません。



SEQ_EN2.
要求する



SEQ_EN1.
有効、要求しない



SEQ_EN0.
* 無効

複数シンボル

このプログラミング設定を**有効**にするとスキャナのトリガーを1回押すだけで複数のシンボルを読み取ることができます。トリガーを押したまま複数のシンボルに照準を合わせると、各シンボルを1回ずつ読み取り、その都度ブザーを鳴らします。スキャナは、トリガーを押している間は新たなシンボルを探してデコードしようとします。このプログラム設定を**無効**にすると、エイマーに最も近いシンボルだけを読み取ります。初期設定 = 無効



SHOTGN1.
有効



SHOTGN0.
* 無効

No Read

No Read を **On** にすると、スキャナはコードを読み取れない場合に通知します。EZConfig Tool Scan Data Window (9-3 ページ参照) を使用している場合は、コードを読み取れなかったときに「NR」と表示されます。No Read を**無効**にすると「NR」は表示されません。初期設定 = 無効



SHWNRD1.
有効



SHWNRD0.
* 無効

例えば「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、出力メッセージを編集できます ([データフォーマット 6-1](#) ページ) からのデータフォーマット参照)。No Read シンボルの Hex 値は 9C です。

ビデオリバース (反転コード)

ビデオリバースを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。**Video Reverse Off** (反転コード 無効) はこのバーコードの例です。色が反転したバーコードのみを読み込む際には、Video Reverse Only (反転コードのみ 有効) を読み取ってください。どちらのタイプのコードも読み込む場合は、Reverse and Standard Bar Codes (標準および反転コード 両方 有効) を読み取ってください。

注意: Video Reverse Only を読み取った後は、メニューバーコードの読み取りができません。メニューバーコードを読み取るには、Video Reverse Off (反転コード 無効) もしくは Video Reverse and Standard Bar Codes (反転および標準コード) を読み込んでください。

注意: 画像は反転されません。これは、読み取り専用の設定です。



VIDREV1.

反転コードのみ 有効



VIDREV2

反転および標準コード



* 反転バーコード 無効

ワーキングオリエンテーション

バーコードによっては、方向に敏感なものがあります。例えば、KIXコードやOCRフォントのように横から、または上下逆さに読み取ると誤読してしまうものもあります。このようなコードが常にスキャナの正面で読み取れない場合、この機能を使用してください。初期設定=Upright (正面)

正面



上下逆さ



垂直、上から下へ
(CW 90° 回転)



垂直、下から上へ
(CW 90° 回転)



ROTATN0.

* 正面



ROTATN1.

垂直、下から上



ROTATN2.

上下逆さ



ROTATN3.

垂直、上から下

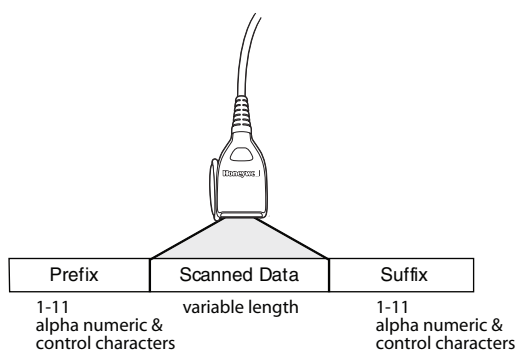


データ編集

プリフィクス／サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータと一緒にホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザ定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザ定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プリフィクスとサフィックスのキャラクタは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクタです。全シンボルに適用するか、特定シンボルにだけ適用するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。



補足

- 常にメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときだけです。初期設定プリフィクス= None (なし) 初期設定サフィックス= None (なし)
- プリフィクスやサフィックスは、1 シンボルまたは全シンボルに追加／削除できます。
- ASCII 変換チャート (コードページ 1252)、A-3 ページで、プリフィクスやサフィックスは、どれでもコード ID や AIM ID と一緒に追加できます。
- 1 回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- 出力で表示したい順にプリフィクスとサフィックスを入力してください。
- すべてのシンボルではなく、特定のシンボルを設定するとき、そのコード ID 値は、追加されたプリフィクスまたはサフィックスのキャラクタと見なします。
- プリフィクス/サフィックスは、ヘッダー情報を含めて最大 200 キャラクタ (桁) まで追加可能です。

プリフィクスまたはサフィックスの追加：

- Step 1. Add Prefix (プリフィクスの追加) または Add Suffix (サフィックスの追加) のバーコードを読み取ります (5-2 ページを参照してください)。
- Step 2. シンボルチャート (シンボルチャート、A-1 ページ参照) からプリフィクスまたはサフィックスを適用したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。例えば、Code 128 の場合、コード ID は「j」、Hex ID は「6A」です。
- Step 3. 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は 9、9 と読み取ります。
- Step 4. ASCII 変換チャート (コードページ 1252)、A-3 ページから、入力したいプリフィクスまたはサフィックスの Hex 値を確認します。

注意：コード ID を追加するときは、5、C、8、0 を読み取ります。
AIM ID を追加するときは、5、C、8、1 を読み取ります。
バックスラッシュ (\) を追加するときは、5、C、5、C を読み取ります。
バックスラッシュ (\) を追加するときは、5C を 2 回読み取ってください。1 回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。

- Step 5.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から、確認した 2 桁の Hex 値を読み取ります。
- Step 6.** プリフィクスまたはサフィックスのキャラクタごとに Step 4 と Step 5 を繰り返します。
- Step 7.** **Save (保存)** を読み取って保存／終了するか、**Discard (破棄)** を読み取って保存せずに終了します。別のシンボルにプリフィクスまたはサフィックスを追加するときは、Step 1 ～ 6 を繰り返します。

例：タブサフィックスをすべてのシンボルに追加する

- Step 1.** **Add Suffix** を読み取ります。
- Step 2.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** すべてのシンボルに適応するために **9、9** を読み取ります。
- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から **0、9** を読み取ります。これは **ASCII 変換チャート (コードページ 1252)**、A-3 ページの水平タブの HEX 値と一致します。
- Save (保存) を読み取って保存・終了するか、Discard (破棄) を読み取って保存せずに終了します。

1 つまたはすべてのプリフィクスまたはサフィックスの削除

シンボルのプリフィクスまたはサフィックスを 1 つまたはすべて削除できます。1 つのシンボルにプリフィクスやサフィックスを追加したことがある場合、Clear One Prefix/Suffix (1 つのプリフィクスまたはサフィックスを削除) で特定のキャラクタをシンボルから消去します。また、Clear All Prefixes/Suffixes (すべてのプリフィクスまたはサフィックスを削除) を選択すると、すべてのプリフィクスまたはサフィックスが削除されます。

- Step 1.** **Clear One Prefix** または **Clear One Suffix** のバーコードを読み取ります。
- Step 2.** シンボルチャート (**シンボルチャート**、A-1 ページ参照) から、プリフィクスまたはサフィックスを削除したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。
- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から 2 桁の Hex 値を読み取ります。全シンボルの場合は **9、9** を読み取ります。

変更内容は自動的に保存されます。

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに追加

キャリッジリターンサフィックス (CR) をすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。



VSUF CR.

キャリッジリターンサフィックス
をすべてのシンボル

プリフィクスの設定



PREBK2.

プリフィクス追加



PRECL2.

プレフィクス 1 つ削除



PRECA2.

すべてのプリフィクス削除

サフィックスの設定



SUFBK2.

サフィックスの追加



SUFCL2.

サフィックス1つ削除



SUFCA2.

すべてのサフィックス削除

ファンクションコード送信

この設定を有効にすると、読み取ったデータにファンクションコードが含まれている場合、スキャナがそのファンクションコードをホストシステムに送信します。これらのファンクションコードの表は、[シンボルチャート](#)、A-1 ページに記載されています。キーボードウェッジモードのとき、読み取りコードはキーコードに変換されてから送信されます。初期設定= Enable (有効)



RMVFNC0.

* 有効



RMVFNC1.

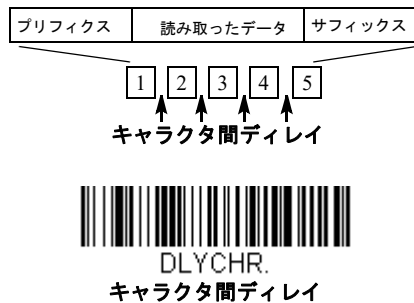
無効

キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ

データ送信が速すぎると、ターミナルによっては情報（キャラクタ）を読み落とすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイはデータ送信を遅くすることで、より確実にデータを送信します。

キャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの各キャラクタを送信する間に最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の **Intercharacter Delay (キャラクタ間ディレイ)** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save (保存)** のバーコードを読み取ります。



このディレイを削除するときは、Intercharacter Delay (キャラクタ間ディレイ) のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から、Save (保存) のバーコードを読み取ります。

注意: キャラクタ間ディレイは、USB のシリアルエミュレーションではサポートされていません。

ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ (間隔)

読み取ったデータの特定のキャラクタを送信した後に、最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の **Delay Length (ディレイ長)** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save (保存)** のバーコードを読み取ってから Save (保存) のバーコードを読み取ります。

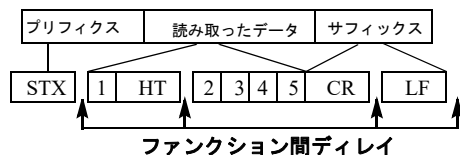
次に、**Character to Trigger Delay (ディレイを有効にするキャラクタ)** のバーコードを読み取り、(下位 **ASCII リファレンステーブル**、A-4 ページ参照) ディレイをトリガーする ASCII キャラクタの 2 桁の Hex 値を読み取ります。



このディレイを削除するときは、Delay Length (ディレイ長) のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から、Save (保存) のバーコードを読み取ります。

ファンクション間ディレイ (間隔)

メッセージストリングの各セグメントを送信する間に最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のファンクション間ディレイを設定できます。次の **Interfunction Delay** (ファンクション間ディレイ) のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save (保存)** のバーコードを読み取ります。



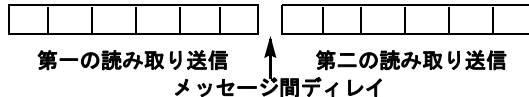
DLYFNC.

ファンクション間ディレイ

このディレイを削除するときは、Interfunction Delay (ファンクション間ディレイ) のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から、Save (保存) のバーコードを読み取ります。

メッセージ間ディレイ

読み取り送信の間に最大 5000 ミリ秒 (5ms 単位) のメッセージ間ディレイを設定できます。次の **Intermessage Delay** (メッセージ間ディレイ) のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save (保存)** のバーコードを読み取ります。



DLYMSG.

メッセージ間ディレイ

このディレイを削除するときは、Intermessage Delay (メッセージ間ディレイ) のバーコードを読み取り、次にディレイ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から、Save (保存) のバーコードを読み取ります。



データフォーマット

データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタを使ってスキヤナの出力を変更できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定個所にキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。

データフォーマットの初期設定 = None (なし)

通常、バーコードを読み取ると自動的にデータが出力されますが、フォーマットを使用する場合は、フォーマットプログラムの中で「送信」コマンド ([送信コマンド](#) 6-4 ページを参照) でデータを出力する必要があります。

スキヤナには複数のフォーマットのプログラム設定が可能です。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適用される順序を示しています。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ

データフォーマットの構成はヘッダー情報を含め、2000 バイトが最大サイズです。

最初のデータフォーマットに失敗し、次にデータフォーマットがある場合、そちらがバーコードデータに使用されます。他のデータフォーマットがない場合、そのままのデータが出力されます。

データフォーマットの設定の変更を行ったものの、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、下の Default Data Format (データフォーマット初期設定) コードを読み取ってください。



DFMD3.

* データフォーマット初期

データフォーマットの追加

Step 1. データフォーマットの入力のシンボルを読み取ります。(6-2 ページ)

Step 2. Primary (基準) もしくは Alternate Format (代用) フォーマットを選択します。

基準のデータフォーマットにするか、または3つある代用フォーマットの1つにするかを決定します。全部で4つの異なるデータフォーマットの方法を保存することができます。基準フォーマットを設定するときは、本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) で **0** を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。(詳細については、「基準/代用データフォーマット」6-15 ページを参照してください。)

Step 3. ターミナルの種類

[ターミナル ID テーブル](#) (6-4 ページ) を参照し、お使いのコンピュータのターミナル ID ナンバーを確認します。裏表紙の内側にある3つの数字バーコードを読み取り、そのターミナル ID でスキヤナをプログラム設定します。(数字を3つ入力してください。) 例えば、AT ウェッジの場合は **0**、**0**、**3** を読み取ります。

注意 : すべてのターミナルに適用する場合は、**099** と入力してください。

Step 4. コード ID

(シンボルチャート、A-1 ページ参照) にて、データフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認し、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の Hex 値を読み取ります。

ある特定のシンボル以外のすべてのシンボルに設定を適用したい場合は、B8 (6-13 ページ) を参照してください。バッチモード数量のデータフォーマットを作成するには、コード ID の 35 を使用します。

注意 :99 はすべてのシンボルを表します。

Step 5. コードの長さ

このシンボルで可能なデータの長さ (最大 9,999 桁) を指定します。本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 4 桁のデータ長を読み取ります。例えば、50 桁は 0050 と入力します。

注意 :コードの長さを問わず設定を適用したい場合は、9999 と入力してください。

Step 6. 編集コマンド

データフォーマットエディタコマンド (編集コマンド) (6-4 ページ) を参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。

Step 7. データフォーマットの保存には、Save (保存) を読み取ってください。保存しない場合は Discard (破棄) を読み取ります。



DFMBK3.

データフォーマットの入力



MNUSAV.

保存



MNUABT.

破棄

他の設定

1 つのデータフォーマットの削除

1 つのシンボルに対してデータフォーマットを 1 つ削除します。基準フォーマットを削除する場合は、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 0 を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって 1、2、または 3 を読み取ります。その後、削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コード ID (シンボルチャート A-1 ページを参照)、およびバーコードデータ桁数を読み取ります。他のフォーマットは全く影響を受けません。

データフォーマットをすべて削除 : すべてのデータフォーマットを削除します。

Save (保存) : データフォーマットを保存します。

Discard (破棄) データフォーマットの設定を中止し、破棄します。



DFMCL3.

データフォーマットを 1 つ削除



DFMCA3.

データフォーマットをすべて削除



MNUSAV.
保存



MNUABT.
破棄

ターミナル ID テーブル

ターミナル	モデル	ターミナル ID
USB	PC キーボード	124
	Mac キーボード	125
	PC 日本語キーボード	134
	シリアル (COM ドライバ必要)	130
	HID POS	131
	USB SurePOS ハンディスキャナ	128
	USB SurePOS テーブルトップス キャナ	129
シリアル	RS232 TTL	000
	RS232 True	000
	RS485 (IBM-HHBCR 1+2, 46xx)	051
キーボード	PS2 互換機	003
	AT 互換機	002

データフォーマットエディタコマンド (編集コマンド)

データフォーマットエディタを行う場合、カーソルが入力データに沿って移動します。次のコマンドを使用して、カーソルを違う位置に移動し、最終出力にデータの選択、変換、そして挿入を行います。

送信コマンド

すべてのキャラクタを送信する

- F1 入力メッセージ (読み取ったデータ) のすべてのキャラクタが出力メッセージに含まれます。現在のカーソル位置から始まり、最後にキャラクタを挿入します。Syntax = F1xx (xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

いくつかのキャラクタを送信する

- F2 入力メッセージ (読み取ったデータ) から指定した桁数のデータだけを送信します。現在のカーソル位置から「nn」個のキャラクタまで、もしくは入力メッセージの最後のキャラクタまで、最後にキャラクタを挿入して送信します。Syntax = F2nnxx (nn はキャラクタの数を示す数字 (00 ~ 99) で、xx は、挿入するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

F2 の例 : いくつかのキャラクタを送信する



上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入して送信します。コマンド : **F2100D**

F2 は「Send a number of characters (いくつかのキャラクタを送信する)」コマンドです。

10 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は : **1234567890**

F2 と F1 の例 : キャラクタを 2 行に分割

上記のバーコードから最初の 10 キャラクタをキャリッジリターンを挿入し、残りのキャラクタを送信します。

コマンド : **F2100DF10D**

F2は「Send a number of characters (いくつかのキャラクタを送信する)」コマンドです。

10は最初の行に送信するキャラクタ数です。

0Dはキャリッジリターン値のHex値です。

F1は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0Dはキャリッジリターン値のHex値です。

データ出力は：

1234567890

ABCDEFGHIJ

<CR>

特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する

- F3 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索キャラクタ「ss」の手前までのデータを送信します。続いて、指定したキャラクタを挿入します。カーソルは「ss」キャラクタへと移動します。Syntax = F3ssxx (nnは検索するキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示し、xxは、挿入したいキャラクタのASCIIコードに対するHex値を示しています。

Dec値、Hex値、キャラクタコードについては、[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)、A-3ページを参照してください。

F3の例：特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「D」までのすべての文字とキャリッジリターンを送信します。

コマンド：**F3440D**

F3は「Send all characters up to a particular character (特定のキャラクタまでのキャラクタすべてを送信する)」です。

44は「D」のHex値です。

0Dはキャリッジリターン値のHex値です。

データ出力は：

1234567890ABC

<CR>

特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する

- B9 現在のカーソル位置のキャラクタから始まり、検索文字列「s...s」の手前までのデータを送信します。カーソルは「s...s」キャラクタへと移動します。Syntax = B9nnnns...s (nnnnは検索する文字列のASCIIコードに対するHex値を示し、s...sは、指定した文字列のASCIIコードに対するHex値を示しています。文字列は文字列にある文字のHex値です。Dec値、Hex値、キャラクタコードについては、[ASCII変換チャート \(コードページ1252\)](#)、A-3ページを参照してください。

B9の例：特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する



上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。

コマンド：**B900024142**

B9は「Send all characters up to a string (特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する)」です。

0002は文字列の長さです。(2文字)

41は「A」のHex値です。

42は「B」のHex値です。

データ出力は : 1234567890

最後のキャラクタ以外を送信する

- E9 現在のカーソル位置から、最後の「nn」キャラクタを除く、すべての出力メッセージを送信します。カーソルは最後の入力メッセージキャラクタが含まれる位置を過ぎたところへ移動します。Syntax = E9nn (nn は、メッセージの最後で送られないキャラクタの数の数値 (00 ~ 99) を示しています。

キャラクタを複数回挿入する

- F4 現在のカーソル位置はそのまま、**「xx」**キャラクタを「nn」回出力メッセージで送信します。Syntax = F4xxnn (xx は、挿入したいキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示し、nn は、送信する回数の数値 (00 ~ 99) を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

E9 と F4 の例 : 最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する



上記のバーコードから最後の 8 桁を除いたすべてのキャラクタにタブを 2 つ追加して送信します。

コマンド : **E908F40902**

E9 は「Send all but the last characters (最後のキャラクタ以外にタブを 2 つを付加し送信する)」

08 は無視するキャラクタ数です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

09 は「水平タブ」の Hex 値です。

02 は挿入するタブの数です。

データ出力は : 1234567890AB <tab><tab>

文字列の挿入

- BA 現在のカーソル位置はそのまま、**「nn」**の長さの「ss」キャラクタを送信します。Syntax = BAnnnns...s (nnnn は文字列の長さ、s...s は文字列を示しています。) 文字列は文字列にある文字の Hex 値です。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

B9 と BA の例 : 「AB」を検索し、アスタリスク () を 2 つ挿入する。**



上記のバーコードを使用して、「AB」までのすべての文字を送信します。2 つのアスタリスクを挿入し、それ以降の文字にキャリッジリターンを付加して送信します。

コマンド : **B900024142BA00022A2AF10D**

B9 は「Send all characters up to a string (特定の文字列までのキャラクタすべてを送信する)」です。

0002 は文字列の長さです。(2 文字)

41 は「A」の Hex 値です。

42 は「B」の Hex 値です。

BA は「文字列の挿入 (Insert a string)」です。

0002 は追加する文字列の長さです。(2 文字)

2A はアスタリスク (*) の Hex 値です。

2A はアスタリスク (*) の Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は :

1234567890**ABCDEFGHIJ

<CR>

シンボル名を挿入する

- B3 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードシンボル名を挿入します。含まれるのは、ハネウエル ID のあるシンボルのみです。(シンボルチャート A-1 ページを参照) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、ASCII 変換チャート (コードページ 1252)、A-3 ページを参照してください。

バーコード長を挿入する

- B4 カーソルを動かすことなく、出力メッセージにバーコードの長さを挿入します。バーコードの長さは数字のストリングによって示され、リード部の 0 は含まれません。

B3 と B4 の例 : シンボル名とシンボル長を挿入する



上記のバーコードにバーコードデータの前にシンボル名と長さを挿入し送信します。その挿入をスペースで分けま
す。キャリッジリターンで終わります。

コマンド : **B3F42001B4F42001F10D**

B3 は「シンボル名を挿入する (Insert symbology name)」です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するスペースの数です。

B4 は「Insert bar code length (バーコード長を挿入する)」です。

F4 は「Insert a character multiple times (キャラクタを複数回挿入する)」です。

20 はスペースの Hex 値です。

01 は挿入するタスペースの数です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は :

Code128 20 1234567890ABCDEFGHIJ

<CR>

キーストロークを挿入する

- B5 キーストローク、またはキーストロークの組み合わせを挿入します。キーストロークは、お使いのキーボードにより異なります。(キーボードキーリファレンス A-10 ページを参照) 矢印やファンクションを含め、どんなキーも挿入できます。Syntax = B5xxssnn ss は下表のキーモディファイアであり、nn はキーボードキーリファレンス、A-10 ページユニコードキーマップのキー番号です。

キーモディファイア	
キーモディファイア無し	00
Shift Left (左シフト)	01
Shift Right (右シフト)	02
Alt Left (左 Alt)	04
Alt Right (右 Alt)	08

キーモディファイア	
Control Left (左 Ctrl)	10
Control Right (右 Ctrl)	20

例えば、B501021F というコマンドを作成すると米国キーボード 104 キーに A を追加します。B5 = キーストロークを挿入するコマンド、01 = キーモディファイア無しに押されたキーの数、02 = Shift Right のキーモディファイア、1F = 小文字の「a」もし小文字の「a」が挿入されたら、B50121F の設定は成功です。

キーストロークが 3 つある場合、B5xxssnn をもう一つ追加し、Syntax は B5xxssnnssnnssnn に変わります。「abc」を入力する場合は、以下のとおりです：B503001F00320030F833。

注意：必要であれば、キーモディファイアは組み合わせて一緒に付加することが可能です。例えば：Control Left (右 Ctrl) + Shift Left (右シフト) = 11 となります。

移動コマンド

前方キャラクタへ移動する

- F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、先へと移動させます。
Syntax = F5nn (nn は、カーソルを前に移動させるキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

F5 の例：カーソルを前に移動し、データを送信します。



1234567890ABCDEFGHIJ

上記のバーコードのカーソルを 3 文字前に移動し、それ以降のバーコードデータを送信します。キャリッジリターンで終わります。

コマンド：F503F10D

F5 は「Move the cursor forward a number of characters (前方キャラクタへ移動する)」です。

03 はカーソルを移動するキャラクタ数です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

4567890ABCDEFGHIJ

<CR>

後方キャラクタへ移動する

- F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ分、後ろへ移動させます。
Syntax = F6nn (nn は、カーソルを後ろに移動させるキャラクタ数 (00 ? 99) を示しています。)

カーソルを先頭に移動する

- F7 カーソルを入力メッセージの先頭キャラクタに移動させます。Syntax = F7

FF と F7 の例：1 で始まるバーコードを処理します。



1234567890ABCDEFGHIJ

1 で始まるバーコードを検索します。バーコードが一致した場合、カーソルはデータの先頭に移動し、6 文字にキャリッジリターンを付加し送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：FE31F7F2060D

FE は「Compare characters (キャラクタの比較)」です。

31 は 1 の Hex 値です。

F7 は「Move the cursor to the beginning (カーソルを先頭に移動する)」です。

F2 は「Send a number of characters (いくつかのキャラクタを送信する)」コマンドです。

06 は送信するキャラクタ数です。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
123456
<CR>

カーソルを末尾に移動する

EA カーソルを入力メッセージの最終キャラクタに移動します。Syntax = EA

検索コマンド

前方のキャラクタを検索する

F8 現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F8xx (xx は、検索するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

F8 の例：特定のキャラクタの後に始まるバーコードデータを送信する



バーコードにある「D」を検索し、「D」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します。

コマンド：**F844F10D**

F8 は「Search forward for a character (前方のキャラクタを検索する)」コマンドです。

44 は「D」の Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：
DEFGHIJ
<CR>

後方のキャラクタを検索する

F9 現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを入力メッセージから検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。Syntax = F9xx (xx は、検索するキャラクタの ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

前方の文字列を検索する

B0 現在のカーソル位置より前方にある「s」文字列を検索し、カーソルは「s」文字列に移動します。Syntax = B0nnnnS. nnnn は文字列の長さ (9999 まで) で、s は対応する文字列の各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B0000454657374 では初めて 4 桁のキャラクタの文字列が登場する「Test」を前方検索します。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

B0 の例：特定の文字列の後に始まるバーコードデータを送信する



バーコードにある「FGH」を検索し、「FGH」を含むその後のすべてのデータを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：**B00003464748F10D**

B0 は「前方の文字列を検索する (Search forward for a string)」コマンドです。

0003 は文字列長 (3 文字) です。

46 は「F」の Hex 値です。

47 は「G」の Hex 値です。

48 は「H」の Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべての文字を送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

FGHIJ

<CR>

後方の文字列を検索する

- B1 現在のカーソル位置より後方にある「s」文字列を検索し、カーソルは「s」文字列に移動します。Syntax = B1nnnnS。nnnn は文字列の長さ (9999 まで) で、s は対応する文字列の各文字の ASCII Hex 値からなっています。例えば、B1000454657374 では初めて 4 文字の文字列が登場する「Test」を後方検索します。Dec 値、Hex 値、文字コードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

合致しない文字の前方を検索する

- E6 現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外の文字を入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではない文字に移動させます。Syntax = E6xx。xx は、検索文字の ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、文字コードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

E6 の例：バーコードデータのはじめにある 0 を削除する



0 があるバーコードの例です。0 を無視し、それ以降のすべてのデータを送信する場合、E6 は 0 ではない最初の文字を検索し、その後のデータすべてとキャリッジリターンを送信します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：**E630F10D**

E6 は「Search forward for a non-matching character (合致しない文字の前方を検索する)」コマンドです。

30 は 0 の Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべての文字を送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

37692

<CR>

合致しない文字の後方を検索する

- E7 現在のカーソル位置より後方にある「xx」以外の文字を入力メッセージから検索し、カーソルを「xx」ではない文字に移動させます。Syntax = E7xx。xx は、検索文字の ASCII コードにコードに対する Hex 値を示しています。Dec 値、Hex 値、文字コードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

その他のコマンド

キャラクタを無効にする

FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大 15 の別のキャラクタをすべて無効にします。FC コマンドを実行することで、この機能を停止することができます。FB コマンドではカーソルが移動しませんので、ご注意ください

Syntax = FBnnxyzz は、リストにある無効キャラクタの数、xyy..zz は、無効にするキャラクタのリストです。

FB の例：バーコードデータのスペースを削除します。



スペースがあるバーコードの例です。データ送信の前にスペースを削除します。上記のバーコードを使用します：

コマンド：**FB0120F10D**

FB は「Suppress characters (キャラクタを無効にする)」です。

01 は無効にするキャラクタタイプです。

20 はスペースの Hex 値です。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は：

34567890

<CR>

キャラクタの無効を停止する

FC キャラクタの無効を停止し、無効になったキャラクタをすべて削除します。Syntax = FC

キャラクタを置き換える

E4 出力メッセージにある最大 15 桁のキャラクタをカーソルを移動せずに変更します。変更は、E5 コマンドを実行するまで続きます。Syntax = E4nnxx₁xx₂yy₁yy₂...zz₁zz₂ は、nn はリスト (置換される文字と置換文字) にある文字の合計数です。xx₁ は置換される文字を定義し、xx₂ は置換文字を定義します。zz₁ から zz₂ を繰り返します。

E4 の例：バーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。



ホストアプリケーションで含めたくないキャラクタを持つバーコードがある場合、E4 コマンドを使用してそれらのキャラクタを別のものに置き換えられます。この例では、上記のバーコードの 0 をキャリッジリターンに置き換えます。

コマンド：**E402300DF10D**

E4 「キャラクタを置き換える (Replace characters)」

02 は置き換えるキャラクタの合計数と置き換えるキャラクタ (0 をキャリッジリターンに置き換えるので、合計キャラクタ数は 2) です。

30 は 0 の Hex 値です。

0D はキャリッジリターンの Hex 値です。(0 に置き換わるキャラクタ)

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

データ出力は :

1234

5678

ABC

<CR>

キャラクタの置き換えを停止する

E5 キャラクタの変更を停止します。Syntax = E5.

キャラクタを比較する

FE 現在のカーソル位置にあるキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを1つ進めます。Syntax = FExx (xx は、比較するキャラクタの ASCII コードに対する Hex 値を示しています。) Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

ストリングを比較する

B2 入力メッセージにあるストリングをストリング「s」と比較します。ストリングが同じ場合は、カーソルをそのストリングの末尾まで移動させます。Syntax = B2nnnnS。nnnn はストリングの長さ (9999 まで) で、s は対応するストリングの各キャラクタの ASCII Hex 値からなっています。例えば、B2000454657374 は現在のカーソル位置のストリングと4つのキャラクタストリング「Test」を比べます。Dec 値、Hex 値、キャラクタコードについては、[ASCII 変換チャート \(コードページ 1252\)](#)、A-3 ページを参照してください。

数字をチェックする

EC 現在のカーソル位置に ASCII 数字があることを確認します。ASCII 数字でない場合は、フォーマットを中止します。

EC の例 : バーコードが数字で始まる場合のみデータを出力します。


数字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド : **ECF10D**

EC は「数字をチェックする (Check for a number)」コマンドです。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されます。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ **AB1234** が出力されます。

このバーコードが読まれると、そのままのデータ **AB1234** が出力されます。

このバーコードが読まれると :  データ出力は :
1234AB

1234AB

<CR>

数字以外のキャラクタをチェックする

ED 現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタがあることを確認します。キャラクタが数字の場合は、フォーマットを中止します。

ED の例 : バーコードが文字で始まる場合のみデータを出力します。


文字で始まるバーコードからデータのみがほしい場合、EC コマンドを使用します。

コマンド : **EDF10D**

ED は「数字以外のキャラクタをチェックする (Check for a non-numeric character)」コマンドです。

F1 は「Send all characters (すべてのキャラクタを送信する)」コマンドです。

0D はキャリッジリターン値の Hex 値です。

このバーコードが読まれると、 次にデータフォーマットがある場合、このデータに使用されま
1234AB

す。他のフォーマットがない場合、そのままのデータ **123 4 AB** が出力されます。

このバーコードが読まれると： データ出力は：
AB1234

AB1234
<CR>

ディレイを挿入する

EF 現在のカーソル位置から 49,995 ミリ秒までの (5 ミリ秒単位) ディレイを挿入します。Syntax = Efnnnn。nnnn は 5 ミリ秒単位でのディレイを示し、9999 までです。このコマンドはキーボードウェッジインターフェースの場合にのみ、使用可能です。

ディレイを破棄する

B8 データを破棄します。例えば、キャラクタ「A」で始まる Code 128 を破棄するとします。6-2 ページの Step 4 で、6A (Code 128) を選択し、Step 5 で 9999 (すべての長さ) を選択します。B8FE41 コマンドを入力し、「A」で始まる Code 128 バーコードのデータを破棄します。Syntax = B8。

注意：B8 コマンドはすべての他のコマンドの後に入力してください。

B8 コマンドを使用するには、データフォーマットは要求する (6-13 ページ参照) になっている必要があります。データフォーマットが有効で、要求しない設定になっている場合、(6-14 ページ) B8 フォーマットに適合するバーコードでも通常通り読み取られて、そして出力されます。

データフォーマットは有効かつ要求するにすることがあるため、(6-14 ページ)、出力したいすべてのバーコードだけでなく破棄したいすべてのバーコードに対してデータフォーマットを入力する必要があります。

他のデータフォーマット設定が、この B8 コマンドに影響します。Data Format Non-Match Error Tone 6-14 ページのデータフォーマット非適合エラーブザー) が有効な場合、スキャナはエラーブザーを鳴らします。逆に Data Format Non-Match Error Tone が無効になっている場合、コードの読み取りを行わないと同時に、エラーブザーもなりません。

データフォーマッタ

データフォーマッタを無効にすると、プリフィクスとサフィックスを含め、バーコードデータは読み取ったままホストに出力されます。



DFM_END.

データフォーマッタ 無効

読み取ったデータをユーザーが作成・保存したデータフォーマットに合致させたい場合、以下の設定をデータフォーマットに適用することができます。

データフォーマッタ 有効、要求しない、プリフィクス/サフィックス あり

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。

データフォーマッタ 有効、要求しない、プリフィクス/サフィックスなし

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィクス、サフィックスは送信されません。データフォーマットが特定のシンボルにない場合、プリフィクス、サフィックスは送信されます。

データフォーマッタ 要求する、プリフィクス/サフィックス あり

読み取ったデータはユーザーのデータフォーマットに合わせて調整され、プリフィクス、サフィックスも送信されます。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合、すべてに対してエラーブザーが鳴らされ、そのバーコードのデータは送信されません。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、[データフォーマット非適合エラーブザー](#)を参照してください。

データフォーマッタ 要求する、プリフィクス/サフィックスなし

読み取ったデータは、データフォーマットに合わせて調整されます。データフォーマットが特定のシンボルの場合、それらのプリフィクス、サフィックスは送信されません。ユーザーのデータフォーマットに合わない場合は、すべてエラーブザーが鳴らされます。エラーブザー無しでこのタイプのバーコード操作を行いたい場合は、[データフォーマット非適合エラーブザー](#)を参照してください。

操作は以下から1つ選んでください。初期設定 = データフォーマット 有効、要求しない、プリフィクス/サフィックスあり



DFM_EN1.

* データフォーマット 有効、
要求しない、
プリフィクス/サフィックスあり



DFM_EN3.

データフォーマット 有効、
要求しない、
プリフィクス/サフィックスなし



DFM_EN2.

データフォーマット 要求する、
プリフィクス/サフィックスあり



DFM_EN4.

データフォーマット 要求する、
プリフィクス/サフィックスなし

データフォーマット非適合エラーブザー

ユーザーが要望するデータフォーマットに合わないバーコードが読み込まれた場合、通常、スキャナがエラーブザーを鳴らします。しかし、エラーブザーを聞くことなくバーコード読み込みを続けたい場合もあります。Data Format Non-Match Error Tone Off (データフォーマット非適合エラーブザー 無効) バーコードを読み込むと、データフォーマットと一致しなかったデータは送信されず、エラーブザーもありません。非適合のバーコードがあったときにエラーブザーを聞きたい場合は、Data Format Non-Match Error Tone On (データフォーマット非適合エラーブザー 有効) バーコードを読み取ってください。初期設定 = Data Format Non-Match Error Tone On



DFMDECO.

* データフォーマット非適合エ
ラーブザー 有効



DFMDEC1.

データフォーマット非適合エラ
ーブザー 無効

基準／代用データフォーマット

データフォーマットは4種類保存することができ、それらのフォーマットを切り換えることができます。基準データフォーマットの場合は、0で保存してください。それ以外のフォーマットは1、2、3のどれかで保存してください。フォーマットを使えるようにするには、以下のバーコードのいずれか1つを読み取ってください。



ALTFNM0.

基準データフォーマット



ALTFNM1.

データフォーマット1



ALTFNM2.

データフォーマット2



ALTFNM3.

データフォーマット3

データフォーマットの切り替え

一回の読み取りだけでデータフォーマットの切り替えができます。以下のバーコードを代用データフォーマットで読み取り、前記で選択したフォーマット（基準、もしくは1、2、3）へと戻します。

例えば、データフォーマット3として保存したデータフォーマットがデバイスに設定されているとします。以下のデータフォーマット1バーコードをスキャンしてデータフォーマット1に切り替えられます。次に読み取られるバーコードはデータフォーマット1が適用され、その後データフォーマット3に戻ります。



VSAF_0.

基準データフォーマットへ切り
替え



VSAF_1.

データフォーマット1へ切り替え



VSAF_2.

データフォーマット2へ切り替え



VSAF_3.

データフォーマット3へ切り替え



シンボル

この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については、[10章](#)を参照してください。

- すべてのシンボル
- Aztec コード
- 中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)
- 中国郵便漢信 (Han Xin) コード
- Codabar
- Codablock A
- Codablock F
- Code 11
- Code 128
- Code 32 Pharmaceutical (PARAF)
- Code 39
- Code 93
- Data Matrix
- EAN/JAN-13
- EAN/JAN-8
- GS1 コンポジットシンボル
- GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)
- GS1 データバー限定型 (リミテッド)
- GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)
- GS1 エミュレーション
- GS1-128
- Interleaved 2 of 5 (ITF)
- 韓国郵便
- ラベルコード
- Matrix 2 of 5
- Maxi コード
- MicroPDF417
- MSI
- NEC 2 of 5
- 2次元郵便コード
- 郵便コード - 1次元
- PDF417
- GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)
- QR コード
- Straight 2 of 5 IATA (2バースタート/ストップ)
- Straight 2 of 5 Industrial (3バースタート/ストップ)
- TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- Telepen
- Trioptic コード
- UPC-A
- 拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13
- UPC-E0
- UPC-E1

すべてのシンボル

お使いのスキヤナですべてのシンボルを読み取りたい場合は、**All Symbolologies On**（すべてのシンボル 有効）のバーコードを読み取ります。一方、特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、**All Symbolologies Off**（すべてのシンボル 無効）を読み取り、その後 特定のシンボルに対して **On**（有効）バーコードを読み取ります。

注意：すべてのシンボルを有効にするとスキヤナのパフォーマンスが低下する場合があります。必要な場合のみ、すべてのシンボル有効を読み取ってください。



ALLENA1.

すべてのシンボル 有効



ALLENA0.

すべてのシンボル 無効

注意：すべてのシンボル有効を読み取っても、2次元郵便コードの読み取りは有効になりません。2次元郵便コードについては、別に設定してください。

読み取り桁数について

バーコードシンボルによっては、読み取り桁数を設定できます。スキヤナに強制的に一定桁数のバーコードデータを読み取らせるため、最小と最大を同じ値に設定することも可能です。これは、読み取りエラーの削減に役立ちます。

例： 桁数が 9 ~ 20 のバーコードだけをデコードする。
最小：09、最大：20

例： 桁数が 15 のバーコードだけをデコードする。
最小：15、最大：15

初期設定の最小および最大読み取り桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコード読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある**プログラミングチャート**の読み取り桁数の数値と **Save**（保存）のバーコードを読み取りません。最小と最大、および初期設定は、それぞれのシンボル別設定に記載されていますので、そちらを参照してください。

Codabar

【Codabar すべての設定を初期化】



Codabar 有効 / 無効



Codabar スタート / ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定 = Don't Transmit (送信しない)



Codabar チェックキャラクタ

Codabar チェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス 16 チェックキャラクタを用いた Codabar のバーコードだけを読み取るよう、スキャナを設定できます。初期設定値 = No Check Character (チェックキャラクタなし)

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate and Transmit (認証および送信) に設定すると、スキャナはチェックキャラクタが印刷された Codabar のみ読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate, but Don't Transmit (認証、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタと共に印刷された Codabar バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは、読み取ったデータと一緒に送信されません。





CBRCK21.
モジュラス 16 有効、
送信しない



CBRCK22.
モジュラス 16 有効、送信する

Codabar の連結

Codabar には、連結サポート機能があります。連結機能を有効にすると、「D」のスタートキャラクタがあるバーコードと、「D」のストップキャラクタがあるバーコードに隣接する Codabar を検索します。この場合、2つのデータは1つに連結され、「D」キャラクタは省略されます。



連結されていない単独の「D」Codabar をデコードしないようにするには、Required (要求する) を選択します。この選択をしても、「D」のスタート/ストップキャラクタがない Codabar には影響ありません。



CBRCCT1.
有効



CBRCCT0.
* 無効



CBRCCT2.
要求する

Codabar の読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 60、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 60。



CBRMIN.
最小読み取り桁数



CBRMAX.
最大読み取り桁数

Code 39

【Code 39 すべての設定を初期化】



Code 39 有効 / 無効



Code 39 バーコードを読み取る場合、Codablock Aは無効のままにしなければなりません。Codablock Aを有効にする場合、(Codablock A、7-34 ページ参照) Code 39 を無効にしなければなりません。

Code 39 スタート / ストップキャラクタ

スタート / ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信の有無を選択できます。初期設定値 = Don't Transmit (送信しない)



Code 39 チェックキャラクタ

No Check Character (チェックキャラクタなし) は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタと読み取ったデータと一緒に送信しません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。初期設定値 = No Check Character (チェックキャラクタなし)





C39CK22.
有効、送信する



C39CK21.
有効、送信しない

Code 39 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 0 ~ 48、最小の初期設定値 = 0、最大の初期設定値 = 48。



C39MIN.
最小読み取り桁数



C39MAX.
最大読み取り桁数

Code 39 連結機能

この機能では、複数の Code 39 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。この機能を有効にすると、スキャナはスペースで始まる Code 39 バーコード（スタートおよびストップシンボルを除く）を保存し、すぐにはデータを送信しません。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。バーコードデータは読み取った順に出力されます（FIFO）。初期設定値 = 無効



C39APP1.
有効



C39APP0.
* 無効

Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical は、イタリアの薬局で使用されている Code 39 の一種です。PARAF と呼ばれます。

注意：Code 32 Pharmaceutical のバーコードを読み取るときは、Trioptic Code（7-33 ページ）を必ず無効にしてください。



C39B321.
有効



C39B320.
* 無効

Full ASCII

Full ASCII Code 39 デコーディングを有効にすると、バーコードシンボル内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例：「\$V」は ASCII キャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」としてデコードされます。初期設定値 = 無効

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	: /Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT \$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[%K	k +K	{ %P
FF \$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- -	= %H	M M] %M	m +M	} %R
SO \$N	RS %D	. .	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
SI \$O	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



C39ASCII.
Full ASCII 有効



C39ASCII.
* Full ASCII 無効

Code 39 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（[ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#)、A-8 ページ参照）、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と **Save (保存)** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



C39DCP.
Code 39 コードページ

Interleaved 2 of 5 (ITF)

【Interleaved 2 of 5 すべての設定を初期化】



Interleaved 2 of 5 の有効 / 無効



チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された ITF バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。初期設定値 = No Check Digit (チェックデジットなし)



Interleaved 2 of 5 (ITF) の読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。





I25MAX.
最大読み取り桁数

NEC 2 of 5

【NEC 2 of 5 すべての設定を初期化】



N25DFT.

NEC 2 of 5 有効 / 無効



N25ENA1.

* 有効



N25ENA0.

無効

チェックデジット

No Check Digit (チェックデジットなし) は、チェックデジットの有無に関係なくスキャナがバーコードデータを読み取って送信することを示します。

Validate, but Don't Transmit (有効、送信しない) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットを読み取ったデータと一緒に送信することはありません。

Validate and Transmit (有効、送信する) に設定すると、チェックデジットが印刷された NEC 2 of 5 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。初期設定値 = No Check Digit (チェックデジットなし)



N25CK20.

* チェックデジット 無効



N25CK21.

有効、送信しない



N25CK22.

有効、送信する

NEC 2 of 5 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



N25MIN.
最小読み取り桁数



N25MAX.
最大読み取り桁数

Code 93

【Code 93 すべての設定を初期化】



C93DFT.

Code 93 有効 / 無効



C93ENA1.
*有効



C93ENA0.
無効

Code 93 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 0 ~ 80、最小の初期設定値 = 0、最大の初期設定値 = 80。



C93MIN.
最小読み取り桁数



C93MAX.
最大読み取り桁数

Code 93 連結機能

この機能を使用すると、複数の Code 93 バーコードをホストデバイスに送信する前に一緒連結させることができます。スペースで始まる Code 93（スタート/ストップシンボルを除く）を読み取った順に保存し、各バーコードからスペースを削除します。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外で始まる Code 93 バーコードを読み取ると、スキャナは結合したデータをホストデバイスに送信します。初期設定 = 無効



C93APP1.

有効



C93APP0.

* 無効

Code 93 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（[ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換](#)、A-8 ページ参照）、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と **Save**（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



C93DCP.

Code 93 コードページ

Straight 2 of 5 Industrial (3 バースタート/ストップ)

【 Straight of 5 Industrial すべての設定を初期化 】



R25DFT.

Straight 2 of 5 Industrial 有効/無効



R25ENA1.

有効



R25ENA0.

* 無効

Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 1 ~ 48、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



R25MIN.

最小読み取り桁数



R25MAX.

最大読み取り桁数

Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート/ストップ)

【IATA すべての設定を初期化】



Straight 2 of 5 IATA 有効/無効



Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 1 ~ 48、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



Matrix 2 of 5

【 Matrix 2 of 5 すべての設定を初期化 】



Matrix 2 of 5 有効 / 無効



Matrix 2 of 5 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



Code 11

【Code 11 すべての設定を初期化】



C11DFT.

Code 11 有効 / 無効



C11ENA1.

有効



C11ENAD.

* 無効

チェックデジットの要求

Code 11 バーコードに必要なチェックデジットを 1 つまたは 2 つに設定します。初期設定値 = Two Check Digits (チェックデジット 2 つ)



C11CK20.

チェックデジット 1 つ



C11CK21.

* チェックデジット 2 つ

Code 11 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



C11MIN.

最小読み取り桁数



C11MAX.

最大読み取り桁数

Code 128

【Code 128 すべての設定を初期化】



Code 128 有効 / 無効



Code 128 バーコードを読み取る場合、Codablock Fは無効のままにしなければなりません。Codablock Fを有効にする場合、(Codablock F、7-35 ページ参照) Code 128 を無効にしなければなりません。

ISBT 128 連結機能

1994 年、国際輸血学会 (ISBT) は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための基準を定めました。ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128 のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1) 血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2) セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いことから Code 128 の使用を現在は推奨すること、3) 隣接シンボルの連結をサポートする Code 128 の変形、4) 血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。次のバーコードを用いて連結をオン/オフします。初期設定値 = 無効



Code 128 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、読み取り桁数について (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 0 ~ 80、最小の初期設定値 = 0、最大の初期設定値 = 80。



Code 128 連結機能

この機能では、複数の Code 128 バーコードをホストデバイスに送信する前に連結して送信することが可能です。スキャナが連結を示すキャラクタを含んだ Code 128 バーコードを読み取ると、連結を示すキャラクタを含まないバーコードを読み取るまで Code 128 バーコードのデータを一時的に保存します。バーコードデータは読み取った順に出力されます (FIFO)。初期設定 = 有効



128APP1.

* 有効



128APP0.

無効

Code 128 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し ((ISO 2022/ISO 646 [キャラクタ変換](#)、A-8 ページ参照)、本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) から値と **Save (保存)** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



128DCP.

Code 128 コードページ

GS1-128

【GS1-128 すべての設定を初期化】



GS1DFT.

GS1-128 有効 / 無効



GS1ENA1.

*有効



GS1ENA0.

無効

GS1-128 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 80、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 80。



GS1MIN.

最小読み取り桁数



GS1MAX.

最大読み取り桁数

Telepen

【Telepen すべての設定を初期化】



Telepen 有効 / 無効



Telepen 出力

AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力) を使用すると、スキャナはスタート / ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、標準の Full ASCII (スタート / ストップパターン 1) としてデコードします。Original Telepen Output (オリジナル Telepen 出力) を選択すると、スタート / ストップパターン 1 のシンボルを読み取り、オプションの Full ASCII (スタート / ストップパターン 2) を含む圧縮された数値としてデコードします。初期設定 = AIM Telepen Output (AIM Telepen 出力)



Telepen 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 60、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 60。



UPC-A

【UPC-A すべての設定を初期化】



UPC-A 有効 / 無効



注意：UPC-A バーコードをEAN-13に変換するには、[UPC-A から EAN-13 への変換](#) 7-26 ページを参照してください。

UPC-A チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



UPC-A システム番号

通常は読み取ったデータの最初にUPCシンボルのシステム番号を送信しますが、送信ないように設定できます。初期設定 = 有効



UPC-A アドオン

読み取ったすべての UPC-A データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。

初期設定 = Off for both 2 Digit and 5 Digit Addenda (2 桁と 5 桁の両方のアドオン追加 禁止)



UPAAD21.

アドオン 2 桁許可



UPAAD51.

アドオン 5 桁許可



UPAAD20.

* アドオン 2 桁禁止



UPAAD50.

* アドオン 5 桁禁止

UPC-A アドオンの要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-A バーコードだけを読み取ります。7-21 ページに記載された 2 桁または 5 桁のアドオンを有効にする必要があります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPAARQ1.

要求する



UPAARQ0.

* 要求しない

UPC-A アドオンセパレーター

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = 無効



UPAADS1.

* 有効



UPAADS0.

無効

拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付き UPC-A および EAN-13 を有効または無効にします。もし初期設定 (Off) のままにしておくと、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを1つのバーコードと見なします。

Allow Concatenation (連結許可) コードを読み取ると、スキャナがクーポンコードと拡張クーポンコードを1つの読み取りで認識した場合、どちらも1つのシンボルとして送信します。それ以外の場合は、読み取った最初のクーポンコードを送信します。

Require Concatenation (連結必須) コードを読み取ると、スキャナはクーポンコードと拡張クーポンコードを1つとして読み取り、データを送信します。両方のコードが読めない限り、データは出力されません。初期設定 = 無効



CPNENA0.

* 無効



CPNENA1.

連結許可



CPNENA2.

連結必須

クーポンGS1 データバー 出力

クーポンがUPCコードとGS1データバー両方を含んでいて、GS1データバーのバーコードデータのみを出力したい場合があるかもしれません。GS1 Output On (GS1データバーのみ出力 有効) を読み取ると、GS1データバーバーコードだけを読み取り、そのデータだけを出力します。初期設定 = GS1 Output Off (GS1データバーのみ出力 無効)



CPNGS10.

* GS1 出力 無効



CPNGS11.

GS1 出力 有効

UPC-E0

【UPC-E0 すべての設定を初期化】



UPC-E0 有効 / 無効

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のナンバーシステムコードで始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 の設定を使用します。「1」のナンバーシステムコードで始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、[UPC-E1](#) (7-25 ページ) を使用します。初期設定 = 有効



UPC-E0 拡張

UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A フォーマットに拡張します。初期設定値 = 無効



UPC-E0 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある UPC-E バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



UPC-E0 アドオンセパレータ

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンデータとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = 無効



UPEADS1.

*有効



UPEADS0.

無効

UPC-E0 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



UPECKX1.

*有効



UPECKX0.

無効

UPC-E0 Leading Zero

UPC-A シンボルのシステム番号は通常読み取ったデータの最初に送信されますが、UPC-E の拡張を使用している場合、送信しないように設定されます。送信を防ぐには OFF (無効) をスキャンします。初期設定 = 有効



UPENSX1.

*有効



UPENSX0.

無効

UPC-E0 アドオン

読み取ったすべての UPC-E データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加無効



UPEAD21.

アドオン 2 桁許可



UPEAD20.

*アドオン 2 桁禁止



UPEAD51.

アドオン 5 桁許可



UPEAD50.

* アドオン 5 桁禁止

UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、[UPC-E0](#) (7-23 ページ) を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 On (UPC-E1 有効) を選択してください。初期設定値 = 無効



UPEEN11.

UPC-E1 有効



UPEEN10.

* UPC-E1 無効

EAN/JAN-13

【EAN/JAN-13 すべての設定を初期化】



EAN/JAN-13 有効 / 無効



UPC-A から EAN-13 への変換

UPC-A Converted to EAN-13 (UPC-A から EAN-13 への変換) が選択されると、UPC-A バーコードは EAN-13 コードの前に0を付加し、13桁にに変換されます。Do not Convert UPC-A (UPC-A の変換禁止) が選択されると、UPC-A コードは UPC-A として読まれます。



EAN/JAN-13 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



EAN/JAN-13 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-13 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加無効



E13AD21.
アドオン 2 桁許可



E13AD20.
* アドオン 2 桁禁止



E13AD51.
アドオン 5 桁許可



E13AD50.
* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-13 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-13 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



E13ARQ1.
要求する



E13ARQ0.
* 要求しない

EAN/JAN-13 アドオンセパレーター

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = 無効



E13ADS1.
* 有効



E13ADS0.
無効

注意：拡張クーポンコード付き EAN13 を有効または無効にしたい場合は、[拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13 \(7-22 ページ\)](#) を参照してください。

ISBN 変換

ISBN は EAN-13 バーコードを用いて本にプリントされているものです。EAN-13 Bookland シンボルを同等の ISBN 番号フォーマットに変換するには、下の On (有効) バーコードを読み取ってください。初期設定 = 無効



E13ISB1.

* 有効



E13ISB0.

* 無効

EAN/JAN-8

【EAN/JAN-8 すべての設定を初期化】



EA8DFT.

EAN/JAN-8 有効 / 無効



EA8ENA1.

* 有効



EA8ENA0.

無効

EAN/JAN-8 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = 有効



EA8CKX1.

* 有効



EA8CKX0.

無効

EAN/JAN-8 アドオン

読み取ったすべての EAN/JAN-8 データの最後に 2 桁または 5 桁のアドオンを追加します。初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加無効



EABAD21.
アドオン 2 桁許可



EABAD20.
* アドオン 2 桁禁止



EABAD51.
アドオン 5 桁許可



EABAD50.
* アドオン 5 桁禁止

EAN/JAN-8 アドオン要求

Required (要求する) バーコードを読み取ると、スキャナはアドオンのある EAN/JAN-8 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required (要求しない)



EABARQ1.
要求する



EABARQ0.
* 要求しない

EAN/JAN-8 アドオンセパレーター

この機能を有効にすると、バーコードデータとアドオンとの間にスペースができます。無効にすると、スペースはできません。初期設定 = 無効



EABADS1.
* 有効



EABADS0.
無効

MSI

【MSI すべての設定を初期化】



MSI 有効 / 無効



MSI チェックキャラクタ

MSI バーコードにはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されています。タイプ 10 のチェックキャラクタのある MSI バーコードを読み取るようにスキャナを設定できます。初期設定 = *Validate Type 10, but Don't Transmit* (タイプ 10 有効、送信しない)

Validate Type 10/11 and Transmit (タイプ 10/11 有効、送信する) に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

Validate Type 10/11, but Don't Transmit (タイプ 10/11 有効、送信しない) に設定した場合は、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。





MSICLK4.

タイプ 11、そしてタイプ 10 有効、送信なし



MSICLK5.

タイプ 11 有効、タイプ 10、送信あり



MSICLK6.

MSI チェックキャラクタ無効

MSI 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能読み取り桁数 = 4 ~ 48、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



MSIMIN.

最小読み取り桁数



MSIMAX.

最大読み取り桁数

GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)

【GS1 データバー標準型 すべての設定を初期化】



GS1 DataBar 標準型有効 / 無効



GS1 データバー限定型 (リミテッド)

【GS1 データバー限定型 すべての設定を初期化】



GS1 データバー限定型有効 / 無効



GS1 データバー拡張型 (エクспанデッド)

【GS1 データバー拡張型 すべての設定を初期化】



GS1 DataBar 拡張型有効/無効



*有効



無効

GS1 データバー拡張型 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 4 ~ 74、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 74。



最小読み取り桁数



最大読み取り桁数

Trioptic コード

注意 : Code 32 Pharmaceutical のバーコード (7-6 ページ) を読み取るときは、Trioptic コードを無効に設定してください。

Trioptic コードとは磁気記憶媒体のラベリングに用いられるものです。



有効



*無効

Codablock A

【Codablock A すべての設定を初期化】



Codablock A 有効 / 無効



Code 39 バーコードを読み取る場合、Codablock Aは無効のままにしなければなりません。Codablock Aを有効にする場合、(Code 39、7-5 ページ参照) Code 39を無効にしなければなりません。

Codablock A 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ)を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 600、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 600。



Codablock F

【Codablock F すべての設定を初期化】



Codablock F 有効 / 無効



Code 128 バーコードを読み取る場合、Codablock Fは無効のままにしなければなりません。Codablock Fを有効にする場合、(Code 128、7-16 ページ参照) Code 128 を無効にしなければなりません。

Codablock F 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 2048、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 2048。



ラベルコード

図書館で使用されている標準ラベルコードです。初期設定 = 無効



PDF417

【PDF417 すべての設定を初期化】



PDF417 有効 / 無効



PDF417 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 2750、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 2750。



MacroPDF417

MacroPDF417 は、複数の PDF417 コードに含まれている非常に大量のデータを暗号化できるよう改良された PDF417 コードです。この機能を有効にすると、複数のコードを集めて一つのデータストリングに仕立てます。初期設定 = 有効



MicroPDF417

【MicroPDF417 すべての設定を初期化】



MicroPDF417 有効 / 無効



MicroPDF417 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 366、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 366。



GS1 コンポジットシンボル

1次元バーコードと固有の2D合成成分とが複合され、GS1 コンポジットシンボルと呼ばれる新たなクラスを形成します。GS1 コンポジットシンボルにより、すでに使用されているシンボルとの共存が可能になります。初期設定 = 無効



UPC/EAN バージョン

UPC または EAN 1 次元バーコードを含む GS1 コンポジット シンボルをデコードするときは、**UPC/EAN Version On** (UPC/EAN バージョン 有効) を読み取ります。(GS1-128、もしくは GS1 バーコードを含む GS1 コンポジットシンボルには影響しません。) 初期設定 = UPC/EAN Version Off (UPC/EAN バージョン 無効)



COMUPC1.

UPC/EAN Version 有効



COMUPC0.

* UPC/EAN Version 無効

注意：クーポンが UPC コードと GS1 データバーコード両方を含んでいて、GS1 データバーのバーコードデータのみを出力したい場合があるかもしれません。その場合は、[クーポンGS1 データバー出力](#) (7-22 ページ) を参照してください。

GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 2435、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 2435。



COMMIN.

最小読み取り桁数



COMMAX.

最大読み取り桁数

GS1 エミュレーション

スキャナは任意の GS1 データキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等の GS1-128 もしくは GS1 データバーシンボルでデコードされる内容をエミュレートすることができます。GS1 データキャリアには UPC-A、UPC-E、EAN-13/EAN-8、ITF-14、GS1-128/GS1-128 データバー /GS1 コンポジットがあります。(GS1 データに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを 1 つ認識するだけですむからです。)

「GS1-128 エミュレーション」を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID、]C1 となります。(シンボルチャート、A-1 ページ参照)

「GS1 データバーエミュレーション」を読み取ると、すべての小売コード (U.P.C.、UPC-E、EAN8、EAN13) が 16 桁に拡張されて出力されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1- データバー AIM ID、]em となります。(シンボルチャート、A-1 ページ参照)

IGS1 Code Expansion Off (GS1 コード エミュレーション 無効) を読み取ると、小売コード拡張が無効となり、UPC-E 拡張は UPC-E0 拡張 [UPC-E0 拡張](#) (7-23 ページ) 設定によって制御されます。AIM ID が有効な場合、その値は GS1-128 AIM ID、]C1 となります。(シンボルチャート、A-1 ページ参照)

「EAN8 から EAN13 へ変換」を読み取ると、すべての EAN8 バーコードは EAN13 フォーマットに転換されます。

初期設定 = GS1 Emulation Off (GS1 エミュレーション 有効)



EANEMU1.
GS1-128 エミュレーション



EANEMU2.
GS1 データバーエミュレーション



EANEMU3.
GS1 コード拡張 無効



EANEMU4.
EAN8 から EAN13 へ変換



EANEMU0.
* GS1 エミュレーション 無効

TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このバーコードは、Code 39 のバーコード部分と MicroPDF417 のスタックコード部分による複合コードになっています。どのバーコードスキャナにも Code39 バーコードを読み取る能力がありますが、MicroPDF417 の部分をデコードできるのは TLC39 On (TLC39 有効) に設定したときだけです。バーコード部分は、TLC39 がオフでも Code39 としてデコードできます。初期設定値 = 無効



T39ENA1.
有効



T39ENA0.
* 無効

QR コード

【QR コード すべての設定を初期化】



QR コード 有効/無効

この選択は、QR Code と Micro QR Code の両方に適用されます。



QR コード 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 7089、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 7089。



QR コード 連結機能

この機能では、複数の QR コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ QR コードを読み取ると、QR コードに含まれた情報に従って、決められた数量の QR コードを一時的に保存します。適切な数量の QR コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。
初期設定 = 有効



QR コードページ

QR コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換、A-8 ページ参照）、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から値と **Save（保存）** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



QRCDCP.
QR コードページ

Data Matrix

【Data Matrix すべての設定を初期化】



IDMDFT.

Data Matrix 有効 / 無効



IDMENA1.

*有効



IDMENA0.

無効

Data Matrix 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、**読み取り桁数について**（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 3116、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 3116。



IDMMIN.

最小読み取り桁数



IDMMAX.

最大読み取り桁数

Data Matrix コードページ

Data Matrix コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（ISO 2022/ISO 646 [キャラクタ変換](#)、A-8 ページ参照）、本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) から値と Save（保存）のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



Maxi コード

【Maxi コード すべての設定を初期化】



Maxi コード有効/無効



Maxi コード 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 150、最小の初期設定 = 1、最大の初期設定 = 150



Aztec コード

【Aztec コード すべての設定を初期化】



Aztec コード有効 / 無効



Aztec コード 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 3832、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 3832。



Aztec 連結機能

この機能では、複数の Aztec コードのデータをホストデバイスに送信する前に連結させることが可能です。連結開始のキャラクタを含んだ Aztec コードを読み取ると、Aztec コードに含まれた情報に従って、決められた数量の Aztec コードを一時的に保存します。適切な数量の Aztec コードを読み取ったら、コード内の情報で定義された順番でデータが出力されます。初期設定 = 有効



Aztec コードページ

Aztec コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換、A-8 ページ参照）、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から値と **Save（保存）** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されます。



AZTDCP.
Aztec コードページ

中国郵便漢信 (Han Xin) コード

【漢信コード すべての設定を初期化】



HX_DFT.

漢信コード有効/無効



HX_ENA1.
有効



HX_ENA0.
*無効

漢信コード 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、**読み取り桁数について**（7-2 ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 1 ~ 7833、最小の初期設定値 = 1、最大の初期設定値 = 7833。



HX_MIN.
最小読み取り桁数



HX_MAX.
最大読み取り桁数

2次元郵便コード

以下は、読み込み可能な2次元郵便コードと2次元郵便コードの組み合わせです。1つの2次元郵便コードしか有効にできません。2つ目の郵便コード設定を有効にする場合、初めの設定は上書きされます。初期設定 = 2D Postal Codes Off (2次元郵便コード 無効)



POSTAL0.

* 2次元郵便コード 無効

2次元郵便コード (単独) :



POSTAL1.

オーストラリア郵便 有効



POSTAL7.

英国郵便 有効



POSTAL30.

カナダ郵便 有効



POSTAL10.

インテリジェントメール 有効



POSTAL3.

日本郵便 有効



POSTAL4.

KIX 有効



POSTAL5.

Planet コード 有効

[Planet コード チェックデジット](#)、
7-48 ページ



POSTAL9.

Postal-4i 有効



POSTAL6.
Postnet 有効

Postnet チェックデジット、7-48 ページ参照



POSTAL11.
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL2.
InfoMail 有効

2次元郵便コード (組み合わせ)



POSTAL8.
Infomail および英国郵便 有効



POSTAL20.
Intelligent Mail バーコード、
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL14.
Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL16.
Postnet および
インテリジェントメールバーコード 有効



POSTAL17.
Postal-4i および
インテリジェントメールバーコード 有効



POSTAL19.
Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL12.
Planet コード
Postnet コード 有効



POSTAL13.
Planet コード
Postal-4i 有効



POSTAL21.
Planet コード、
Postnet および
Postal-4i 有効



POSTAL23.
Planet コード、
Postal-4i および
インテリジェントメールバーコード 有効



POSTAL25.
Planet コード、
Postal-4i および
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL27.
Postal-4i、
Intelligent Mail コード、Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL18.
Planet コード
Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL15.
Planet コード
インテリジェントメールバーコード 有効



POSTAL22.
Planet コード
Postnet および
インテリジェントメールバーコード 有効



POSTAL24.
Postnet、
Postal-4i および
インテリジェントメールバーコード 有効



POSTAL26.
Planet コード、
Intelligent Mail コード、Postnet B および B' フィールド 有効



POSTAL28.
Planet コード、
Postal-4i および
インテリジェントメールコード、
Postnet 有効



POSTAL29.
Planet コード、
Postal-4i および
Intelligent Mail コード、Postnet B お
よび B' フィールド 有効

Planet コード チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



PLNCKX1.
チェックデジットを送信する



PLNCKXD.
* チェックデジットを送信しない

Postnet チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit (送信なし)



NETCKX1.
チェックデジットを送信する



NETCKXD.
* チェックデジットを送信しない

オーストラリア郵便 判読

この機能では、オーストラリア郵便で使用されている 4-State バーコードに含まれている顧客フィールドにどのような判読が適用されるかを制御します。

Bar Output (バー出力) はバーコードのパターンを「0123」フォーマットで一覧にします。

Numeric N Table (数字 N テーブル) は N Table を使用して、フィールドを数字データとして判読します。

Alphanumeric C Table (英数字 C テーブル) は、C Table を使用して、フィールドを英数字データとして判読します。

Australian Post (オーストラリア郵便) の仕様表を参照してください。

Combination C and N Table (C および N コンビネーションテーブル) は C Table または N Table を使用して、フィールドを判読します。



AUSINT0.

* バー出力



AUSINT1.

数字 N テーブル



AUSINT2.

英数字 C テーブル



AUSINT3.

C および N テーブルコンビネーション

郵便コード - 1 次元

1 次元の郵便コードを以下に挙げます。いかなる 1 次元郵便コードの組み合わせでも同時に有効にすることが可能です。

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5)

【中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) すべての設定を初期化】



CPCDFT.

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 有効 / 無効



CPCENA1.

有効



CPCENA0.

* 無効

中国郵便コード (Hong Kong 2 of 5) 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 80。



CPCMIN.

最小読み取り桁数



CPCMAY.
最大読み取り桁数

韓国郵便

【韓国郵便コード すべての設定を初期化】



KPCDFT.

韓国郵便



KPCENA1.

有効



KPCENAD.

*無効

韓国郵便 読み取り桁数

メッセージ長を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については、[読み取り桁数について](#)（7-2ページ）を参照してください。設定可能桁数 = 2 ~ 80、最小の初期設定値 = 4、最大の初期設定値 = 48。



KPCMIN.

最小読み取り桁数



KPCMAX.

最大読み取り桁数

韓国郵便コード チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = Don't Transmit（送信なし）



KPCCHK1.

チェックデジットを送信する



KPCCHK0.

*チェックデジットを送信しない

イメージングコマンド

スキャナは、デジタルカメラのように画像の取り込み、処理、および転送を行うことができます。以下のコマンドでスキャナの機能実行方法を変更することができます。

注意：イメージングコマンドは、ハネウェルアクセスポイント (AP) のみサポートしています。以下のコマンドを使用して画像を撮影するために、スキャナはAPの1つと接続する必要があります。

シングル使用ベース

モディファイア付きのイメージングコマンドは、スキャナにシングル使用ベースで命令を送信し、1つの画像取り込みに対し動作します。この取り込みが完了すると、スキャナはイメージングの初期設定に戻ります。設定を恒久的に変えたければ、(10章参照)を使用します。Serial default commandsを用いると、設定は新しいものになり、スキャナの恒久的設定となります。

コマンドシンタックス

複数のモディファイアやコマンドは1つのシーケンス内で行われます。追加モディファイアが同じコマンドに適応している場合は、そのモディファイアをコマンドに追加するだけです。例えば、Image Snap commandに setting the Imaging Style to 1P や Wait for Trigger to 1T のような2つのモディファイアを追加するには、IMG SNP1P1T と入力します。

注意：イメージ取り込みコマンド (IMG SNP or IMG BOX) を行ったあと、その画像をターミナルで見るとは IMG SHP command を続けます。

1つのシーケンスにコマンドを追加するには、新しいコマンドはそれぞれにセミコロンで分離してください。例えば、上記のシーケンスに Image Ship command を追加する場合は、IMG SNP1P1T;IMG SHP と入力します。

イメージングコマンドは以下のとおりです。

[イメージスナップ : IMG SNP](#) (8-1 ページ)

[画像送信 - IMG SHP](#) (8-4 ページ)

[署名の取り込み - IMG BOX](#) (8-11 ページ)

それぞれのコマンドのモディファイアは、コマンド説明のあとです。

注意：それぞれのコマンド説明を含むイメージは単なる例であり、ご使用の結果得られる効果はこのマニュアル内のものと異なることがあります。ご使用の結果得られる出力クオリティは照明、取り込む画像や対象の品質、画像や対象からの距離によって異なります。質の高い画像を得るためには、取り込む対象からスキャナを 10.2 ~ 15.2cm 離してお使いになることをお勧めします。

Step1 - IMG SNP を用いて写真を撮影する

イメージスナップ : IMG SNP

トリガーボタンを引く度、あるいはイメージスナップ (IMG SNP) コマンドを実行する度に画像が取り込まれます。

Image Snap コマンドには、メモリの画像の見かけを変更できる多種多様なモディファイアがあります。IMG SNP コマンドには、任意の数のモディファイアを追加できます。例えば、次のコマンドを使用して、画像を撮影したりゲインを増やしたりでき、また画像を撮影した後、ブザー音を鳴らすことができます。IMG SNP2G1B

IMG SNP モディファイア

P - Imaging Style (撮影スタイル)

イメージスナップのスタイルを設定します。

0P **Decoding Style** 撮影パラメータが合うまで数フレームを撮影できます。最後のフレームを後で利用できます。

1P **Photo Style** (初期設定) 簡単なデジタルカメラを真似ています。視覚的に最適化された画像が得られます。

2P **Manual Style** 高度なスタイルで上級者向けです。スキャナを最も自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

B - Beeper (ブザー)

画像の撮影後、ブザー音を鳴らします。

0B ブザーが鳴りません。(初期設定)

1B 画像が取り込まれるとブザー音が鳴ります。

T - Wait for Trigger (トリガーの待機)

画像撮影の前に、ボタンが押されるのを待ちます。これは Photo Style (1P) 使用時のみ有効です。

0T すぐに画像を撮影します (初期設定)。

1T ボタンが押されるのを待った後、画像を撮影します。

L - LED State (LED の状態)

LED をオン/オフするのかどうか、いつオン/オフするのかを決定します。ID カードなど、カラー文書の写真を撮影する場合、特にスキャナをスタンドに置くときは、周囲照明 (0L) をお勧めします。スキャナを手を持つ場合は、LED 照明 (1L) をお勧めします。LED State は、Decoding Style (0P) 使用時には利用できません。

0L LED オフ (初期設定)

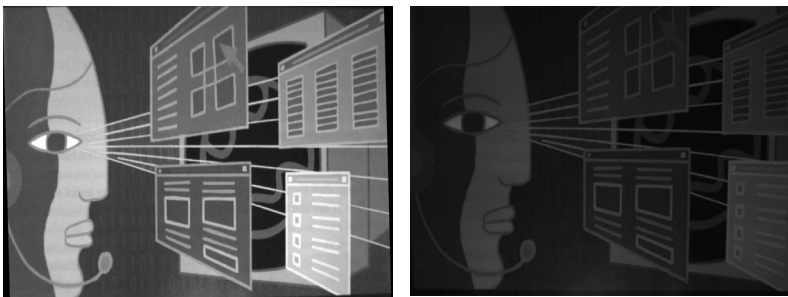
1L LED オン

E - Exposure (露光)

Exposure は、マニュアル時 (2P) のみお使いいただくことができ、露光時間を設定します。これはカメラのシャッター速度に似ています。露光時間はスキャナが画像を取り込む時間の長さを決定します。明るい日には、撮影のための光線が十分ですので露光時間も非常に短くてすみませんが、夜、光がほとんどない状態では露光時間をかなり長くする必要があります。単位は 127 マイクロ秒です。初期設定値 = 7874

nE 範囲 : 1 - 7874

蛍光灯下での 7874E の場合の露光例 蛍光灯下での 100E の場合の露光例



G - Gain (ゲイン)

Gain は Manual Style (2P) 時のみお使いいただくことができます。ボリュームコントロールのような役割を果たし、ゲインモディファイアが信号を増幅させ、ピクセル値を修正します。ゲインを増やすと、画像の乱れも増幅されます。

1G ゲインなし (初期設定)

2G ゲイン 中

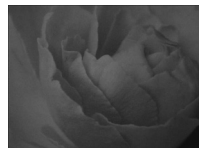
4G ゲイン 高

8G ゲイン 最大

1G ゲインの場合



4G ゲインの場合



8G ゲインの場合



W - Target White Value (ホワイト値)

取り込む画像のグレースケールの中心値をターゲットに設定します。コントラストの高い文書の接写画像を取り込むためには、75 などの低めの値を推奨します。設定を高くすると撮影時間が長くなって画像が明るくなりますが、高すぎると画像が露出オーバーになります。Target White Value は Photo Style (1P) 使用時だけ使用できます。初期設定値 = 125

nE 範囲 : 0 - 255

75W ホワイト値の場合



125W ホワイト値の場合



200W ホワイト値の場合



D - Delta for Acceptance (ホワイト値許容範囲)

ホワイト値設定用の許容範囲を設定します。(「W - Target White Value」を参照。)(W - Target White Value (ホワイト値) 参照) Photo Style (1P) 使用時のみ利用できます。初期設定値 = 25

nD 範囲 : 0 - 255

U - Update Tries (アップデートトライ)

D - Delta for Acceptance (ホワイト値許容範囲) に達するためにスキャナが取得するフレームの最大数のことです。Photo Style (1P) 使用時のみ利用できます。初期設定値 = 6

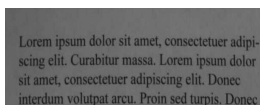
nU 範囲 : 0 - 10

% - Target Set Point Percentage (ターゲットポイント比率)

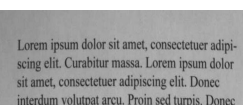
取り込んだ画像の明暗値のターゲットポイントを設定します。設定 75% は、ピクセルの 75% がターゲットのホワイト値以下で、ピクセルの 25% がターゲットのホワイト値を超えることを意味します。通常環境でこの設定を初期設定から変更することは、推奨していません。グレースケール値を変更するには、W - Target White Value (ホワイト値) を使用します。初期設定値 = 50

n% 範囲 : 1 - 99

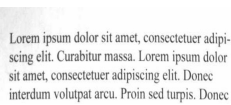
ターゲットポイント
97% の場合



ターゲットポイント
50% の場合



ターゲットポイント
40% の場合



Step 2 - IMGSHIP を使った画像送信

画像送信 - IMGSHIP

画像は、トリガーを引くたびに、あるいは画像送信 (IMGSNP) コマンドを実行することで取り込まれます。最後の画像が
つねにメモリに保存されます。IMGSHIP コマンドでその画像を「送信」できます。

画像送信コマンドには、スキャナが出力する画像の設定を変更するのに使用できる多種多様のモディファイアがあります。
モディファイアは、送信画像には効力がありますが、メモリの画像には効力がありません。IMGSHIP コマンドには、任意の
数のモディファイアを追加できます。例えば、以下のコマンドを使用すると、ガンマ補正と文書画像フィルタリングを行っ
てビットマップ画像を送ることができます。IMGSNP;IMGSHIP8F75K26U

IMGSHIP モディファイア

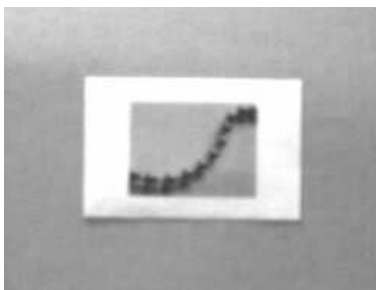
A - Infinity Filter (無限遠フィルタ)

非常に長距離 (10 フィートまたは 3m 以上) から撮影した写真の質を向上します。ただし、Infinity Filter を [IMGSNP モ
ディファイア](#) (8-1 ページ) とともに用いることはできません。

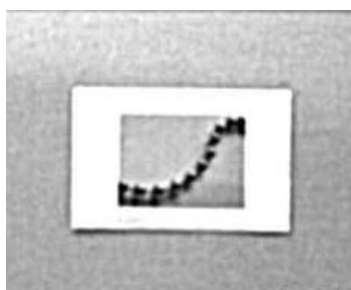
0A 無限遠フィルタ 無効 (初期設定)

1A 無限遠フィルタ 有効

3.66m の距離付近での無限遠フィルタ
無効 (0A) で撮影した場合



3.66m の距離付近での無限遠フィルタ
有効 (1A) で撮影した場合



C - Compensation (圧縮)

画像全体の照度の変化を考慮するために画像をフラットにします。

0C 圧縮 無効 (初期設定)

1C 圧縮 有効

圧縮が無効 (0C) の場合



圧縮が有効 (1C) の場合



D - Pixel Depth (ピクセル濃度)

送信画像のピクセルあたりのビット数を示します。(KIM または BMP フォーマットのみ)

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像 (初期設定)

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

E - Edge Sharpen (エッジシャープニング)

エッジシャープニングフィルタで画像の縁をクリーンにし、画像を更に美しくシャープにします。エッジシャープニングは画像を鮮明にしますが、元々の画像のきれいに撮影された詳細部も取り除いてしまいます。エッジシャープニングフィルタの強度は 1 ~ 24 から設定できます。23E を入力するとエッジが最もシャープになりますが、画像内のノイズも増えます。

0E 画像をシャープにしません (初期設定)。

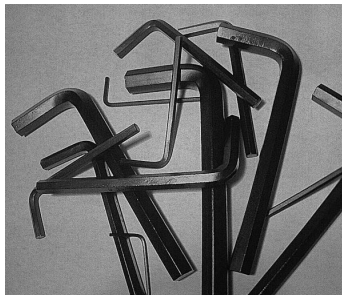
14E 標準画像用にエッジをシャープにします。

ne n の値でエッジをシャープにします (n = 1 ? 24)。

0E でのエッジシャープニング



24E でのエッジシャープニング



F - File Format (ファイルフォーマット)

希望する画像のフォーマットを示します。

0F KIM フォーマット

1F TIFF バイナリ

2F バイナリグループ 4、圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ (左上から右下、1ピクセル/ビット、行の最後を 0 で埋める)

5F 非圧縮グレースケール (左上から右下、ビットマップフォーマット)

6F JPEG 画像 (初期設定)

8F BMP フォーマット (右下から左上、非圧縮)

10F TIFF カラー圧縮画像

11F TIFF カラー無圧縮画像

12F JPEG カラー画像

14F BMP カラーフォーマット

15F BMP 無圧縮 未加工画像

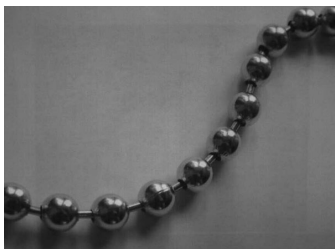
H - Histogram Stretch (ヒストグラムストレッチ)

送信画像のコントラストを高くします。画像フォーマットによっては利用できません。

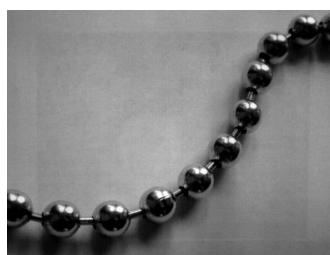
0H ストレッチなし (初期設定)

1H ヒストグラムストレッチ

ヒストグラム ストレッチ (0H)
の場合



ヒストグラム ストレッチ (1H)
の場合



I - Invert Image (画像反転)

画像を X 軸または Y 軸周りで回転させるのに使います。

1ix X 軸で画像を回転 (画像の上下が反転)

1iy Y 軸で画像を回転 (画像の左右が反転)

回転なし



画像の例
回転 (1ix) の場合



画像の例
回転 (1iy) の場合



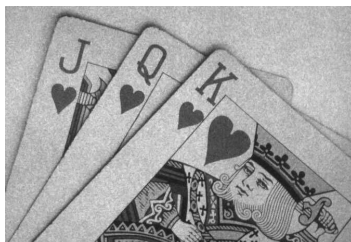
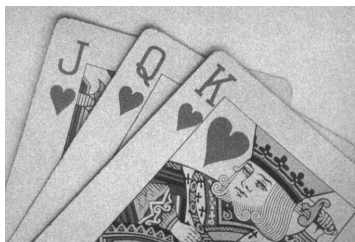
IF - Noise Reduction (ノイズ低減)

白黒ノイズを低減します。

0if 白黒ノイズの低減なし (初期設定)

1if 白黒ノイズの低減

白黒ノイズの低減なし (0if) の場合 白黒ノイズの低減あり (1if) の場合



IR - Image Rotate (画像回転)

0ir 撮影したとおり (正しい向き) の画像 (初期設定)

1ir 画像を右に 90 度回転

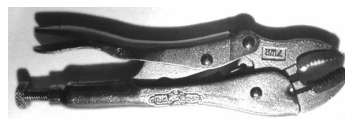
2ir 画像を 180 度回転 (上下逆)

3ir 画像を左に 90 度回転

画像の回転なし (0ir)



画像の回転あり (2ir)



画像の回転あり (1ir)



画像の回転あり (3ir)



J - JPEG Image Quality (JPEG 画像の質)

JPEG 画像フォーマットを選択したときに希望の画質を設定します。数字を大きくすると画質が高くなりますが、ファイルは大きくなります。小さくすると、圧縮量が大きくなって転送速度が速くなり、画質は落ちますが、ファイルは小さくなります。(初期設定 : 50)

nJ 画質係数 n (n : 1 ~ 100) の値で可能な限り画像を圧縮します。

0J 最低画質 (最小ファイル)

100J 最高画質 (最大ファイル)

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

0K ガンマ補正 無効 (初期設定)

50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用

nK ガンマ補正の係数 n ($n = 0 \sim 1,000$) を適用

ガンマ補正 (0K) の場



ガンマ補正 (50K) の場合



ガンマ補正 (255K) の場合



L, R, T, B, M - Image Cropping (画像切り取り)

上下左右のピクセル座標を指定して画像のウィンドウを送ります。機器の列には 0 ~ 1279 の番号が、行には 0 ~ 959 の番号が付けられています。

nL 送信画像の左端は、メモリ内の画像の n 列に対応します。範囲 : 000 - 843. (初期設定 : 0)

nR 送信画像の右端は、メモリ内の画像の $n-1$ 列に対応します。範囲 : 000 - 843. (初期設定 = 全列)

nT 送信画像の上端は、メモリ内の画像の n 行に対応します。範囲 : 000 - 639. (初期設定 : 0)

nB 送信画像の下端は、メモリ内の画像の $n-1$ 行に対応します。範囲 : 000 - 639. (初期設定 = 全行)

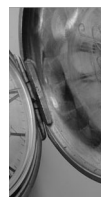
切り取りなし



切り取り設定 (300R)



切り取り設定 (300L)



切り取り設定 (200B)



切り取り設定 (200T)



代わりに、画像の外側マージンから切り取るピクセルの数を指定します。中央のピクセルだけが送信されます。

nM マージン : 画像の左から n 列、右から $n+1$ 列、上から n 行、下から $n+1$ 行を切り取ります。残った中央のピクセルを送ります。範囲 : 0 - 238.

(初期設定 : 0、または全画像)

切り取り設定 (238M)



P - Protocol (プロトコル)

画像の送信に使用します。画像の送信に使用します。プロトコルは画像をホストに送る際、2種の機能に対応しており、データの送信に使用するプロトコル (Hmodem : 追加のヘッダー情報を持つ Xmodem 1K の変形) と、送信される画像のフォーマットに対応します。

0P 無し (生データ)

2P 無し (USB の初期設定)

3P 圧縮 Hmodem (RS-232 の初期設定)

4P Hmodem

S - Pixel Ship (ピクセル送信)

ピクセル送信はオリジナルサイズに対する比率に拡大縮小します。スペースで定期的に区切られた一定のピクセルだけを送ることで画像を間引くのに使用できます。例えば、**4S**では4行おきに4ピクセルごとに送信します。送るピクセルを減らすと、画像が小さくなりますが、画像がある数値まで達すると、使用できなくなります。

- 1S すべてのピクセル送信 (初期設定)
- 2S 縦横両方で、2ピクセルごとに送る (初期設定)
- 3S 縦横両方で、3ピクセルごとに送る

ピクセルの送信が3Sの場合



ピクセル送信が1Sの場合



ピクセルの送信が2Sの場合



U - Document Image Filter (テキスト画像フィルタ)

送信されたテキスト画像の縁をシャープにし、それ以外の部分を滑らかにします。このフィルタは、ガンマ補正 (8-7 ページを参照) と共に使用します。このとき、スキャナはスタンドに置いた状態で、次のコマンドを使用して画像を取り込みます。

IMGSNP1P0L168W90%32D

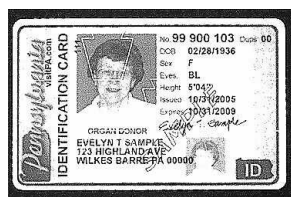
このフィルタは通常、標準の E - Edge Sharpen コマンド (8-10 ページを参照) よりも良好な JPEG 圧縮を提供します。このフィルタは、白黒のみの画像 (ピクセルあたり1ビット) を送信するときにも良好に機能します。最適設定は26Uです。

- 0U 文書画像フィルタオフ (初期設定)
- 26U 文書画像フィルタを標準的な文書画像に適用する
- nU グレースケールの閾値 n を使用して、画像コントラストが低いときに数値を下げます。1UE - エッジシャープニング (8-7 ページ) 22e と同等の効果があります。E - Edge Sharpen (エッジシャープニング) (8-5 ページ) 範囲: 0-255

Image Filter が 0U の場合



Image filter が 26U の場合



V - Blur Image (画像ぼかし)

境界線のハードエッジに隣接するピクセルと画像内の陰影領域を平均化して、変わり目を滑らかにします。

0V ぼかさない (初期設定)

1V ぼかす

画像のぼかし 無効 (0V)



画像のぼかし 有効 (1V)



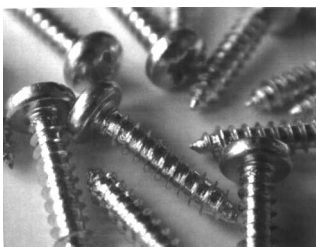
W - Histogram Ship (ヒストグラム送信)

ヒストグラムによって、画像の色調範囲すなわちキーのタイプをすばやく識別することができます。ローキー画像はシャドウに、ハイキー画像はハイライトに、標準的な (アベレージキー) 画像は中間調にディテールが集中します。このモディファイアは画像用のヒストグラムを送信します。

0W ヒストグラムを送信しない (初期設定)

1W ヒストグラムを送信する

ヒストグラムを使用しない場合



ヒストグラムが左にある場合



画像サイズの互換性

画像送信が正確に 640x480 ピクセルを返すようにアプリケーションを設定している場合、Force VGA Resolution (NGA 解像度の強制) バーコードを読み取ります。初期設定 = Native Resolution (元の解像度)



IMGVGA1.

VGA 解像度の強制



IMGVGA0.

*元の解像度

署名の取り込み - IMGBOX

IMGBOX を用いれば、バーコードに近接している署名取り込みエリアのサイズや位置を修正することができます。これにより、署名取り込みエリアを特定のフォームに仕立てることができます。IMGBOX を使うためには、署名ボックスがバーコードに近い既知位置にあるようフォームを設定する必要があります。署名エリアからバーコードまでの水平および垂直距離を指定できるだけでなく、全体的なサイズを入力できます。また、取り込んだ署名画像の最終出力の解像度とファイル形式も設定できます。

注意：IMGBOX コマンドは、以下のいずれかのバーコードによって使用することができます。PDF417、Code 39、Code 128、Aztec、Codabar、Interleaved 2 of 5 (ITF) これらのシンボルが読み取られると、IMGBOX コマンドを受け付けるために画像が維持されます。

署名取り込みの最適化

署名取り込みを頻繁に使う場合は、最適化をしてください。ただし、このモードを有効にするとバーコード読み取り速度は遅くなります。ご注意ください。初期設定 = 無効



DECBND1.

最適化 有効



DECBND0.

*最適化 無効

署名取り込みアプリケーションの例を以下に示します。この例では、エイマーを署名取り込みエリアの中心に置き、トリガーを引きます。一度ブザーが鳴り振動し、スキャナが Code 128 バーコードを読み取り、データがホストシステムへと転送されたことを知らせます。ホストからそのコードの下の署名取り込みエリアの座標を特定するために IMGBOX コマンドが送られ、その署名を含むエリアのみ画像としてホストに送るよう示します。

この例を試す方法：エイマーを（バーコードではなく）署名エリアにそろえ、トリガーを引きます。



署名取り込みエリア

トリガーを引いた後に、以下の IMGBOX コマンドストリングを送信します。

例：**IMGBOX245w37h55y**

注意：コマンドストリングにおいて大文字/小文字は重要ではありません。ここでは説明の為に用いています。

すると、以下のような画像が得られます。



IMGBOX コマンドには、スキャナから出力される署名画像のサイズや表示を変えることができる多種多様なモディファイアが用意されています。モディファイアは、送信画像には効力がありますが、メモリの画像には効力がありません。IMGBOX コマンドには、任意の数のモディファイアを追加できます。

注意：IMGBOX コマンドはウィンドウサイズ（高さ）が指定されない限り、NAK 返信を行います。H - Height of Signature Capture Area（署名取り込みエリアの高さ）（8-12 ページ）と W - Width of Signature Capture Area（署名取り込みエリアの幅）（8-13 ページ）を参照してください。

IMGBOX モディファイア

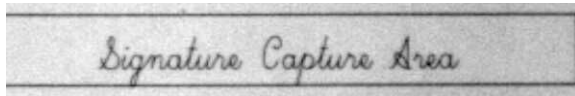
A - Output Image Width (出力画像の幅)

この設定は、画像の幅を変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度 (R) は 0 に設定されます。

幅を 200A に設定した場合



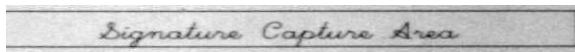
幅を 600A に設定した場合



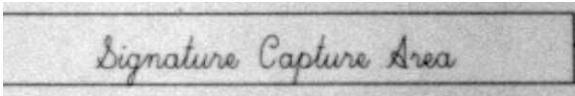
B - Output Image Height (出力画像の高さ)

この設定は、画像の高さを変えるのに使用します。この設定を使用した場合、解像度 (R) は 0 に設定されます。

高さを 50B に設定した場合



高さを 100B に設定した場合



D - Pixel Depth (ピクセル濃度)

送信画像のピクセルあたりのビット数を示し、グレースケールか白黒かを設定します。

8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像

1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

F - File Format (ファイルフォーマット)

画像を保存するファイル形式を示します。

0F KIM フォーマット

1F TIFF バイナリ

2F バイナリグループ 4、圧縮

3F TIFF グレースケール

4F 非圧縮バイナリ

5F 非圧縮グレースケール

6F JPEG 画像 (初期設定)

7F 輪郭画像

8F BMP フォーマット

H - Height of Signature Capture Area (署名取り込みエリアの高さ)

取り込む領域の高さは 0.01 インチ (約 0.026cm) ごとに測られます。例では、取り込みエリアの高さは 3/8 インチ (約 0.953cm) で、H の値 = $.375/0.01 = 37.5$ となります。

例: *IMGBOX245w37h35y*

K - Gamma Correction (ガンマ補正)

ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

0K ガンマ補正 無効（初期設定）

50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用

nK ガンマ補正の係数 n ($n = 1 \sim 255$) を適用

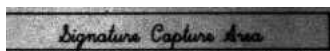
ガンマ補正 (0K) の場



ガンマ補正
50K の場合



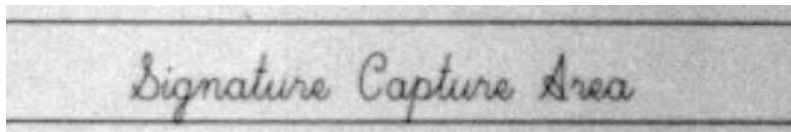
ガンマ補正



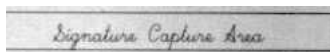
R - Resolution of Signature Capture Area（署名取り込みエリアの解像度）

最小単位ごとにスキャナが出力するピクセル数です。R の値を大きくすると画質が良くなりますが、ファイルサイズも大きくなります。値は 1000 からです。スキャナは自動的に、最初の桁と次の桁の間に小数点を挿入します。例えば、2.5 の解像度を指定するには 2500 を使用します。A および B のモディファイアを使用するときは、0 に設定します [A - Output Image Width（出力画像の幅）](#) と [B - Output Image Height（出力画像の高さ）](#) 8-12 ページを参照してください。

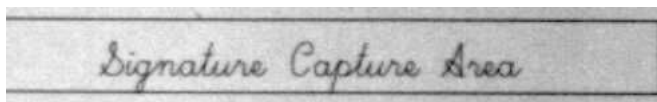
解像度設定 0R



解像度設定 1000R



解像度設定 2000R



S - Bar Code Aspect Ratio（バーコード様相比）

IMGBOX に用いられる寸法はバーコードの最小幅の倍数で測られます。Bar Code Aspect Ratio ではバーコードの高さとナローエレメントの幅を設定することができます。例では、ナローエレメントの幅は 0.010 インチ（約 0.026cm）、バーコードの高さは 0.400 インチ（約 1.01cm）なので、S の値 = $0.4/0.01 = 40$ となります。

W - Width of Signature Capture Area（署名取り込みエリアの幅）

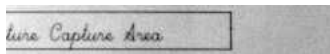
取り込むエリア域の高さは 0.01 インチ（約 0.026cm）ごとに測られます。例えば、取り込むエリアの幅が 2.4 インチ（約 6.096cm）の場合、W 値 = $2.4/0.01 = 240$ となります。（ここでは画像エリアを少し大きめに調節するため、245 を用います。）

例えば: `IMGBOX245w37h55y`

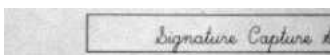
X - Horizontal Bar Code Offset (水平バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を水平方向にずらします。プラス数値は水平中心を右へ移動させ、マイナス数値は左へ移動させます。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

水平バーコードオフセットを 75X に設定した場合



水平バーコードオフセットを -75X に設定した場合



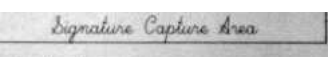
Y - Vertical Bar Code Offset (縦バーコードオフセット)

署名取り込みエリアの中心を垂直方向にずらします。マイナス値は、署名取り込みがバーコードの上であることを示し、プラスの場合はバーコードの下であることを示します。数値はバーの最小幅の倍数を用います。

縦バーコードオフセット設定：-7Y の場合



縦バーコードオフセット設定：65Y の場合



RF 初期設定のイメージングデバイス

このスキャナはイメージングコマンドプロセス (IMGSHIP, IMGSNIP, IMG-BOX) に対応しており、(9-3 ページ参照) やその他のアプリケーションはスキャナと直接接続されているかのように画像機能を実行することができます。これを行うためには、RF_DID (RF Default Imaging Device) と呼ばれるメニューコマンドを使用します。RF_DID とは、イメージングコマンドを受け取るスキャナ (BT_NAM) の名称です。RF_DID の初期設定は「*」で、イメージングコマンドがすべての連結するスキャナに送信されることを示します。特定のスキャナに送るようには *RF_DIDscanner_name* に変更してください。各スキャナのポート、ワークグループ、スキャナ名とアドレスのレポートを作成するには 3-8 ページ [スキャナレポート](#) 3-4 ページの「ページング」の項目を参照してください。また、各スキャナに固有のネームをつける場合は、[スキャナ名](#) 3-8 ページの「スキャナ名」の項目を参照してください。

ユーティリティ

すべてのシンボル体系へのテストコードID プリフィクス追加

これを選択すると、デコードされたシンボルの前にコード ID を送信することができます。(各シンボルを識別する単独のシンボルキャラクタコードについては、[シンボルチャート](#)、A-1 ページに記載されたシンボルチャートを参照してください。)ここでは、まず現在のプリフィクスをすべて消去し、その後すべてのシンボルについてコード ID プリフィクスを設定します。これは、電源を入れなおすと削除される一時設定です。



PRECA2,BK2995C80!

全シンボルへ体系のコード ID プリフィクス追加

デコーダの改訂情報を表示

次のバーコードを読み取り、デコーダの改訂情報を出力します。



REV_DR.

デコーダの改訂情報の表示

ドライバの改訂情報の表示

次のバーコードを読み取り、ドライバの改訂情報の読み取りを出力します。読み取りドライバは画像の取り込みを制御します。



REV_SD.

ドライバの改訂情報の表示

ソフトウェアの改訂情報表示

次のバーコードを読み取り、スキャナとアクセスポイントの現在のソフトウェアの改訂情報、シリアルナンバー、およびその他の製品情報を出力します。



REVINF.

ソフトウェアの改訂情報表示

データフォーマットの表示

次のバーコードを読み取り、現在のデータフォーマット設定を表示します。



DFMBK3?.

データフォーマット設定

テストメニュー

テストメニューの On (有効) バーコードを読み取り、次に本書のプログラミングコードを読み取ると、スキャナはプログラミングコードの内容を表示します。プログラミングファンクションはまだ存在しますが、さらにそのプログラミングコードの内容もターミナルに出力されます。

注意：この機能は、通常のスキャナ操作では使用しないでください。



TSTMNU1.

有効



TSTMNU0.

* 無効

TotalFreedom (トータルフリーダム)

TotalFreedom (トータルフリーダム) とは、スキャナにプラグインアプリケーションを作成することができる オープンシステムアーキテクチャです。この TotalFreedom でデコードアプリケーションとデータフォーマットアプリケーションの作成が可能です。TotalFreedom について詳しくは、ウェブサイト www.honeywellaidc.com を参照してください。

プラグインアプリケーション

以下のバーコードを読み取ることで、プラグインアプリケーションをオン/オフにすることができます。アプリケーションはデコードとフォーマットというグループごとに保存されています。デコードおよびフォーマット以下のグループのオン/オフバーコードを読み取り、アプリケーションを立ち上げたり、閉じたりすることができます。アプリー覽バーコードを読み取ると、すべてのアプリケーションのリストを出力します。



PLGDCE1.

* デコードアプリオン



PLGDCE0.

デコードアプリオフ



PLGFOE1.

* フォーマットアプリオン



PLGFOE0.

フォーマットアプリオフ



PLGINF.

アプリー覽

注意：アプリケーションを有効にするためには、デバイスを再起動しなければなりません。

EZConfig-Scanning について

EZConfig-Scanning (イージーコンフィグ) は PC にスキャナを接続することにより、PC 上で多様な設定を行うことができます。EZConfig を用いると、スキャナのアップグレードの為にファームウェアをダウンロードしたり、設定済みのパラメータを変更したり、プログラミングバーコードを作成して印刷することができます。さらに、スキャナのプログラミングパラメータを保存したり開いたりすることもできます。この保存ファイルは電子メールで送信でき、必要であれば、カスタマイズされたプログラミングパラメータをすべて含む単一のバーコードを作成し、どこへでもメールやファックスで送信することもできます。他の場所にいるユーザは、そのバーコードを読み取り、カスタマイズされたプログラミングに組み込むことができます。

EZConfig の操作

EZConfig ソフトウェアでは、以下の操作を実行します。

Scan Data (データ読み取り)

バーコードを読み取って、ウィンドウにバーコードデータを表示することができます。また、シリアルコマンドをスキャナに送信したり、スキャナからの応答を受信したりでき、Scan Data ウィンドウでこれらを確認することができます。Scan Data ウィンドウに表示されるデータは、ファイルに保存することもできれば、印刷することもできます。

Configure (環境設定)

環境設定は、スキャナのプログラミングと環境設定データを表示します。スキャナのプログラミングと環境設定データは、異なるカテゴリに分類されます。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラの「Configure」ツリーノードの下にツリーアイテムとして表示されます。これらのツリーノードの1つをクリックすると、その特定のカテゴリに所属するパラメータのフォームが右側に表示されます。「Configure」ツリーオプションには、スキャナ用に指定したプログラミングと環境設定パラメータのすべてが含まれています。これらのパラメータは、必要に応じて設定または変更できます。後で、変更した設定値をスキャナに書き込んだり、dcf ファイルに保存したりできます。

Imaging (画像取り込み)

ここでは、2次元イメージャーが持つ、画像関連機能すべてを調節することができます。現在の設定を利用して画像を取り込むことができます。画像はイメージウィンドウに表示されます。スキャナが撮影した画像は、様々な画像形式で保存することが可能です。画像設定を変更して INI ファイルに保存することができます。また、後でこの設定を読み込んで新しい画像を取り込むことができます。また、お使いのスキャナから画像を連続して見る事もできます。

ウェブサイトからの EZConfig-Scanning のインストール

Note: EZConfig には .NET ソフトウェアが必要です。お使いの PC に .NET がインストールされていない場合、EZConfig のインストール時に .NET のインストールを促すメッセージが表示されます。

1. www.honeywellaidc.com または www.honeywellaidc.com/ja-jp (www.honeywellaidc.com/ja-jp/Pages/default.aspx) からハネウェルのウェブサイトアクセスします。
2. 製品情報から装着型スキャナ&ハンディターミナルを選んでクリックします。
3. 8670g ワイヤレスリングスキャナをクリックします。
4. ソフトウェアのタブをクリックし、Tools and Utilities から EZConfig for Scanning を選択してクリックします。
5. ダウンロードを開始します。
6. ダウンロードが終了したら、EZConfig-Scanning Setup.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。
7. 画面の指示に従って、インストールを行ってください。
8. スタートメニューから EZConfig - Scanning IE (Internet Explorer) または EZConfig - Scanning Chrome を選んで開始してください。

工場出荷時設定の再設定：



本章ではすべての設定を消去しスキャナを工場出荷時の状態にリセットします。またすべてのプラグインを無効にします。

スキャナのどのプログラムオプションが有効か不確かな場合またはいくつかのオプションを変更し、工場出荷時の設定に復元したい場合、**Remove Custom Defaults**（カスタムデフォルトの削除）バーコードをスキャンし、次に **Activate Defaults**（デフォルトの有効化）をスキャンしてください。これでスキャナは工場出荷時の設定にリセットされます。



DEFOVR.

カスタムデフォルトの削除



DEFAULT.

デフォルトの有効化

注意： ハネウェルアクセスポイント（AP）を使用している場合、スキャナはリセットされ接続が切れます。スキャナを再接続するために、AP 接続バーコードを読み取ってください。

メニューコマンド、 10-4 ページは、各コマンド（プログラミングページでアスタリスク（*）で表示）の標準の初期設定を示しています。

シリアルプログラミングコマンド

シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもスキャナをプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

スキャナをRS232 インタフェース用に設定する必要があります。(2-1 ページを参照。) 以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いて PC COM 経由で送信できます。

記述上の語句

メニューと質問コマンドの記述には、以下の取り決めが用いられています。

Parameterコマンドの一部として送信する実際の値

[option] コマンドのオプション部分

{Data} コマンド内の選択肢

Bold 画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

メニューコマンドシンタックス (構文)

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。(スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです。)

Prefix [:Name:]Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [: Tag SubTag {Data}] [...] Storage

Prefix 3つのASCIIのキャラクタ: SYN M CR (ASCII 22, 77, 13) **SYN M CR** (ASCII 22,77,13)

:Name: このコマンドは、アクセスポイントまたはスキャナと通信するかどうかを特定するために使用します。スキャナ(ホストに連結したアクセスポイントと共に)に情報を送信するために、:8670:を使用します。工場出荷時の8670スキャナの初期設定は8670スキャナです。この設定は英数字を許可するBT_NAMコマンドを使用して設定します。ネームがわからない場合は、「*」を:*:の形で用います。

注意: アクセスポイントはすべてのワークグループの設定を保存し、スキャナがそれらと接続されるとすぐにスキャナに転送します。変更はAPに対してのみ行われ、スキャナには行われません。

Tag メニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い3キャラクタのフィールド。例えば、RS232の環境設定は、すべて232というTagで識別されます。

SubTag タググループの中のメニューコマンドグループを識別する大文字・小文字の区別がない3キャラクタのフィールド。例えば、RS232ボーレートのSubTagはBADになります。

Data メニュー設定の新規値。TagとSubTagで識別されます。

Storage コマンドを適用するストレージテーブルを指定する1つのキャラクタ。感嘆符(!)は、機器の一時的なメモリ上でコマンド操作を実行します。ピリオド(.)の場合は、機器の不揮発性メモリ上でコマンド操作を実行します。不揮発性メモリ上は、始動時に保存したい半恒久的な変更の場合だけに使用します。

質問コマンド

設定について機器から返答を得るためのいくつかの特殊キャラクタを使用できます。

^ 設定の初期値

? 機器の現在の設定値

* 設定で可能な範囲(機器のレスポンスでは、ダッシュ(-)で値の連続範囲を示し、パイプ(|)で不連続値の一覧の項目を区切ります。

:Name: フィールドの使い方 (オプション)

このコマンドを用いると、スキャナからの質問情報を返送します。

Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので SubTag および Data フィールドは使用しないでください。

Sub Tag フィールドの使い方

Sub Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのサブセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので Data フィールドは使用しないでください。

Data フィールドの使い方

Data フィールドに代わって質問を使用すると、Tag および SubTag フィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを 1 つの Prefix/Storage シーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、および Data フィールドだけです。同じ Tag でコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ (,) で区切り、追加コマンドの SubTag および Data フィールドだけを記述します。追加コマンドで異なる Tag フィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン (;) で前のコマンドと区切ります。

レスポンス

機器は、次の 3 つのレスポンスの 1 つでシリアルコマンドに応答します。

ACK 正しくコマンドを実行した。

ENQ Tag または SubTag コマンドが無効。

NAK コマンドは正しいが、Data フィールドの入力がこの Tag および SubTag 組み合わせの許容範囲外。例えば、フィールドが 2 キャラクタしか受け付けられないときに最小読み取り桁数の入力が 100 になっている場合。

応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクターを挿入したコマンドシーケンスを返します。

質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ [] は非表示レスポンスを示します。

Example: 例 : Codabar Coding Enable で可能な値の範囲は？

入力: cbrena*.

レスポンス CBRENA0-1[ACK]

Codabar Coding Enable (CBRENA) の値の範囲が 0 ~ 1 (オフとオン) であることを示します。

Example: Codabar Coding Enable の初期設定値は？

入力: cbrena^.

レスポンス CBRENA1[ACK]

Codabar Coding Enable (CBRENA) のデフォルト設定が 1 またはオンであることを示しています。

Example: 例 : Codabar Coding Enable のデフォルト値は？

入力: cbrena?.

レスポンス CBRENA1[ACK]

機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1、またはオンに設定されいることを示します。

Example: 例：すべての Codabar 選択項目に対する機器の設定は？

入力： cbr?.

レスポンス **CBRENA1[ACK],
SSX0[ACK],
CK20[ACK],
CCT1[ACK],
MIN2[ACK],
MAX60[ACK],
DFT[ACK].**

このレスポンスは、機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1 または有効に設定され
スタート/ストップキャラクタ (SSX) は 0、または Don't Transmit に、
チェックキャラクタ (CK2) は 0、または Not Required に、
連結機能 (CCT) は 1、または Enabled に、
最小読み取り桁数 (MIN) は 2 キャラクタに、
最大読み取り桁数 (MAX) は 60 キャラクタに、
またデフォルト設定 (DFT) には値が無いことを示しています。

トリガーコマンド

シリアルトリガーコマンドでスキャナを起動または停止できます。まず、Manual Trigger Mode (マニュアルトリガーモード) のバーコード (4-5 ページ) を読み取りマニュアルトリガーモードにするか、シリアルメニューコマンド (4-6 ページ) を送ります。スキャナがいったんシリアルトリガーモードになると、以下のコマンドを送ってトリガーをアクティブ/非アクティブにできます。

起動する： **SYN T CR**

停止する： **SYN U CR**

スキャナは、バーコードを読み取るか、非アクティブ化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウトになるまで読み取りを実行します。(説明については "読み取りタイムアウト" 4-6 ページを、また 10-11 ページのシリアルコマンドを参照。)

カスタムデフォルトの再設定

ご使用のスキャナでカスタムデフォルトを修復したい場合、以下の Activate Custom Defaults (カスタムデフォルトを起動) バーコードを読み取ってください。これはスキャナの設定をカスタムデフォルト設定に再設定するものです。カスタムデフォルトがない場合は、工場出荷時の初期設定値になります。カスタムデフォルトによって指定されていない設定はすべて工場出荷時設定になります。



DEFAULT.

カスタムデフォルトを起動

注意： このバーコードを読み取ると、スキャナおよびハネウェルアクセスポイント (AP) にもリセットを実行し、非接続と なってしまいます。コードを入力する前に、リンクを再確立するためにスキャナでリンクバーコードを読み取って ください。

次ページ以降のチャートは、各メニューコマンド (プログラミングページ上アスタリスク (*) で表示) の標準の工場出荷時 設定一覧です。

メニューコマンド

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
はじめに			
HID キーボードを使用して Bluetooth デバイスとペアリング	* Bluetooth HID キーボードとの通 信確立	PAPBTH	1-6
	Bluetooth HID 日本語キーボード との通信確立	PAPJKB	1-6
	Bluetooth PIN コード	BT_PIN#	1-6
ホストからの切断	Bluetooth HID キーボードとの通 信解除	PAPSPP	1-7
Bluetooth PC/ ノート型 PC シリア ルポートとのペアリング	BT 接続 - ホームベース以外のデバ イス	BT_TRM0;BT_DNG5	1-8
ハネウェルモバイルコンピュータ とペアリング	PDA/ ハンディターミナル用 Bluetooth 接続	BT_TRM0;BT_DNG1	1-8
	BT 接続 - ホームベース以外のデバ イス	BT_TRM0;BT_DNG5	1-8
Android またはアップルデバイスと ペアリング	BT 接続 -Android/ アップルデバイ ス	DEFAULT;PAPBTH	1-9
アクセスポイントとペアリング	Bluetooth HID キーボードとの通 信解除	PAPSPP	1-10
カスタムデフォルトの設定	カスタムデフォルトの設定	MNUCDP	1-11
	カスタムデフォルトの保存	MNUCDS	1-11
カスタムデフォルトのリセット	カスタムデフォルトを起動	DEFAULT	1-11
インターフェースの設定			
プラグ&プレイ	キーボードウェッジ： IBM PC AT and Compatibles with CR suffix (IBM PC AT と互換機、 CR サフィックスつき)	PAP_AT	2-1
	Laptop Direct Connect with CR suffix (ノート PC ダイレクト接 続、CR サフィックスつき)	PAPLTD	2-1
	RS232 シリアルポート	PAP232	2-2
プラグ&プレイ： RS485	IBM Port 5B インターフェース	PAPP5B	2-2
	IBM Port 9B HHBCR-1 インター フェース	PAP9B1	2-2
	IBM Port 17 インターフェース	PAPP17	2-2
	IBM Port 9B HHBCR-2 インター フェース	PAP9B2	2-2
	RS485 パケットモード 有効	RTLPDF1	2-3
	RS485 パケットモード 無効	RTLPDF0	2-3
	RS485 パケット長 (20-256)	RTLMP5	2-3

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
プラグ&プレイ : IBM SurePos	USB IBM SurePos ハンディインターフェース	PAPSPH	2-3
	USB IBM SurePos 卓上インターフェース	PAPSPT	2-3
プラグ&プレイ : USB	USB Keyboard (PC)	PAP124	2-4
	USB キーボード (Mac)	PAP125	2-4
	USB Japanese キーボード (PC)	TRMUSB134	2-4
	USB HID	PAP131	2-4
	USB シリアル	TRMUSB130	2-4
	CTS/RTS エミュレーション有効	USBCTS1	2-4
	CTS/RTS エミュレーション無効 *	USBCTS0	2-4
	ACK/NAK モード 有効	USBACK1	2-5
ACK/NAK モード無効 *	USBACK0	2-5	
USB 用リモート MasterMind	ReM 無効	REMIFC0	2-5
	ReM 有効	REMIFC1	2-5
プラグ&プレイ	Verifone Ruby ターミナル	PAPRBY	2-5
	Gilbarco ターミナル	PAPGLB	2-6
	Honeywell 2 面式カウンタースキャナ	PAPBIO	2-6
	Datalogic Magellan 2 面式カウンタースキャナ	PAPMAG	2-6
	NCR 2 面式カウンタースキャナ	PAPNCR	2-6
	Wincor Nixdorf ターミナル	PAPWNX	2-7
	Wincor Nixdorf Beetle	PAPBTL	2-8
	Wincor Nixdorf RS232 モード A	PAPWMA	2-8
国別キーボード	* アメリカ	KBDCTY0	2-9
	アルバニア	KBDCTY35	2-9
	アゼリー (キリル文字)	KBDCTY81	2-9
	アゼリー ラテン	KBDCTY80	2-9
	ベラルーシ	KBDCTY82	2-9
	ベルギー	KBDCTY1	2-9
	ボスニア	KBDCTY33	2-9
	ブラジル	KBDCTY16	2-9
	ブラジル MS	KBDCTY59	2-9
	ブルガリア (キリル文字)	KBDCTY52	2-9
	ブルガリア (ラテン)	KBDCTY53	2-10
	カナダ (フランス語 Legacy)	KBDCTY54	2-10
	カナダ (フランス語)	KBDCTY18	2-10
	カナダ (多言語)	KBDCTY55	2-10
	クロアチア	KBDCTY32	2-10
チェコ	KBDCTY15	2-10	

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
	チェコ (プログラマー)	KBDCTY40	2-10
	チェコ (QWERTY)	KBDCTY39	2-10
	チェコ (QWERTZ)	KBDCTY38	2-10
国別キーボード	デンマーク	KBDCTY8	2-10
	オランダ語 (オランダ)	KBDCTY11	2-10
	エストニア	KBDCTY41	2-10
	フェロー語	KBDCTY83	2-11
	フィンランド	KBDCTY2	2-11
	フランス	KBDCTY3	2-11
	ゲール語	KBDCTY84	2-11
	ドイツ	KBDCTY4	2-11
	ギリシャ (ギリシャ語)	KBDCTY17	2-11
	ギリシャ 220 ラテン	KBDCTY64	2-11
	ギリシャ 220	KBDCTY61	2-11
	ギリシャ 319 ラテン	KBDCTY65	2-11
	ギリシャ 319	KBDCTY62	2-11
	ギリシア ラテン	KBDCTY63	2-11
	ギリシャ MS	KBDCTY66	2-11
	ギリシャ Polytonic	KBDCTY60	2-12
	ヘブライ (ヘブライ語)	KBDCTY12	2-12
	ハンガリー語 101 キー	KBDCTY50	2-12
	ハンガリー	KBDCTY19	2-12
	アイスランド	KBDCTY75	2-12
	アイルランド	KBDCTY73	2-12
	イタリア語 142	KBDCTY56	2-12
	イタリア	KBDCTY5	2-12
	日本語	KBDCTY28	2-12
	カザフスタン	KBDCTY78	2-12
	キルギスタン キリル文字	KBDCTY79	2-12
	ラテンアメリカ	KBDCTY14	2-12
	ラトビア	KBDCTY42	2-13
	ラトビア QWERTY	KBDCTY43	2-13
	リトアニア	KBDCTY44	2-13
	リトアニア IBM	KBDCTY45	2-13
	マケドニア	KBDCTY34	2-13
	マルタ	KBDCTY74	2-13
	モンゴル キリル文字	KBDCTY86	2-13
	ノルウェー	KBDCTY9	2-13
	ポーランド	KBDCTY20	2-13
	ポーランド語 214	KBDCTY57	2-13

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ	
	ポーランド語 プログラマー	KBDCTY58	2-13	
	ポルトガル	KBDCTY13	2-13	
	ルーマニア	KBDCTY25	2-14	
国別キーボード	ロシア	KBDCTY26	2-14	
	ロシア MS	KBDCTY67	2-14	
	ロシア タイプライター	KBDCTY68	2-14	
	SCS	KBDCTY21	2-14	
	セルビア キリル文字	KBDCTY37	2-14	
	セルビア ラテン	KBDCTY36	2-14	
	スロヴァキア	KBDCTY22	2-14	
	スロヴァキア QWERTY	KBDCTY49	2-14	
	スロヴァキア QWERTZ	KBDCTY48	2-14	
	スロヴェニア	KBDCTY31	2-14	
	スペイン	KBDCTY10	2-14	
	スペイン語 変動	KBDCTY51	2-15	
	スウェーデン	KBDCTY23	2-15	
	スイス フランス語	KBDCTY29	2-15	
	スイス ドイツ語	KBDCTY6	2-15	
	タタール語	KBDCTY85	2-15	
	トルコ F	KBDCTY27	2-15	
	トルコ Q	KBDCTY24	2-15	
	ウクライナ	KBDCTY76	2-15	
	イギリス	KBDCTY7	2-15	
	アメリカ Dvorak 右	KBDCTY89	2-15	
	アメリカ Dvorak 左	KBDCTY88	2-15	
	アメリカ Dvorak	KBDCTY87	2-15	
	アメリカ インターナショナル	KBDCTY30	2-16	
	ウズベキスタン キリル文字	KBDCTY77	2-16	
	キーボードスタイル	* レギュラー	KBDSTY0	2-16
		Caps Lock	KBDSTY1	2-16
Shift Lock		KBDSTY2	2-16	
自動 Caps Lock		KBDSTY6	2-16	
外付けキーボードエミュレート		KBDSTY5	2-17	
キーボードの変換	* キーボード変換 無効	KBDCNV0	2-17	
	すべてのキャラクタを大文字に変換	KBDCNV1	2-17	
	すべてのキャラクタを小文字に変換	KBDCNV2	2-17	
制御キャラクタの出力	* 制御キャラクタ出力 無効	KBDNPE0	2-17	
	* 制御キャラクタ出力 有効	KBDNPE1	2-17	

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
キーボードの設定	*Control + ASCII 無効	KBDCAS0	2-18
	Dos モード Control + X	KBDCAS1	2-18
	Windows モード Control + X	KBDCAS2	2-18
	Windows モード プリフィクス/サフィックス 無効	KBDCAS3	2-18
	*ターボモード 無効	KBDTMD0	2-18
	ターボモード 有効	KBDTMD1	2-18
	*数字キーパッド 無効	KBDNPS0	2-19
	数字キーパッド 有効	KBDNPS1	2-18
	*自動直接接続 無効	KBDADC0	2-19
	自動直接接続 有効	KBDADC1	2-19
ワイヤレスシステムの操作			
スキャナの Bluetooth PIN コードの変更	Bluetooth PIN コード	BT_PIN	3-1
自動再接続モード	* 自動再接続モード 有効	BT_ACM1	3-1
	自動再接続 無効	BT_ACM0	3-1
再接続試行最高限度回数	再接続試行最高限度回数	BT_MLA	3-2
再接続タイムアウト	再接続タイムアウト	BT_RLT	3-3
スキャナのリセット	スキャナのリセット	RESET_	3-4
スキャナレポート	スキャナレポート	RPTSCN	3-4
スキャナのアドレス	スキャナのアドレス	BT_LDA	3-5
通信モード	通信固定モード：スキャナ 1 台の場合	BASCON0,DNG1	3-5
	通信オープンモード	BASCON1,DNG1	3-5
	スキャナとの解除	BT_RMV	3-5
	通信固定されたスキャナの上書き	BT_RPL1	3-6
通信範囲外警告	スキャナアラームの鳴動時間（範囲 1-3000 ミリ秒）* 0	BT_ORD	3-6
警告ブザーの種類	スキャナアラームの種類	BT_ORW	3-6
スキャナパワータイムアウトタイマー	0 - 7200 秒	BT_LPT0	3-7
	200 秒 *	BT_LPT200	3-7
	400 秒 *	BT_LPT400	3-7
	900 秒 *	BT_LPT900	3-7
	3600 秒 *	BT_LPT3600	3-7
	7200 秒 *	BT_LPT7200	3-7
フレキシブルパワーマネージメント	* フルパワー	BT_TXP100	3-8
	出力 - 中	BT_TXP35	3-8
	出力 - 中低	BT_TXP5	3-8
	出力 - 低	BT_TXP1	3-8
複数スキャナ操作モード	複数スキャナでの操作	BASCON2,DNG3	3-8

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
スキャナ名	スキャナ名 1-7	BT_NAM#####	3-9
	リセット	RESET_	3-9
	スキャナ名	BT_NAM	3-9
アプリケーションワークグループ 選択項目	* グループ 0	GRPSEL0	3-10
	グループ 1-6	GRPSEL#	3-10
工場出荷時設定の再設定：すべてのアプリケーションワークグループ	工場出荷時設定の再設定：すべてのワークグループ	PAPDFT&	3-11
カスタムデフォルトのリセットすべてのアプリケーションワークグループ	カスタムデフォルト設定：すべてのワークグループ	PAPDFT	3-11
アクセスポイントの操作			
ホストからの切断およびアクセスポイントへの接続	Bluetooth HID キーボードとの通信解除	PAPSPP	3-12
リンクされたスキャナの交換	ロックされたスキャナを無視（シングルスキャナ）	BT_RPL1	3-12
アクセスポイントの操作	アクセスポイントアドレス	:::BASLDA	3-13
ページング（スキャナの呼び出し）	* ページングモード 有効	BEPPGE1	3-13
	ページングモード 無効	BEPPGE0	3-13
ページング音の音程	* 低（1000 Hz）	BEPPFQ1000	3-13
	中（3250Hz）	BEPPFQ3250	3-13
	高（4200 Hz）	BEPPFQ4200	3-13
バッチモード	自動バッチモード	BATENA1	3-14
	* バッチモード無効	BATENA0	3-14
	棚卸バッチモード	BATENA2	3-14
	持続バッチモード	BATENA3	3-14
バッチモード：ブザー音	オフ	BATBEP0	3-15
	* 有効	BATBEP1	3-15
バッチモード：保存形式	* フラッシュメモリに保存	BATNVS1	3-15
	フラッシュメモリに保存	BATNVS0	3-15
バッチモード：個数	* 無効	BATQTY0	3-15
	有効	BATQTY1	3-15

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
個数コード	0	BATNUM0	3-16
	*1	BATNUM1	3-16
	2	BATNUM2	3-16
	3	BATNUM3	3-16
	4	BATNUM4	3-17
	5	BATNUM5	3-17
	6	BATNUM6	3-17
	7	BATNUM7	3-17
	8	BATNUM8	3-17
	9	BATNUM9	3-17
バッチモード：出力順序	先入れ先出し	BATLIF0	3-17
	後入れ先出し	BATLIF1	3-17
レコードの合計件数	レコードの合計件数	BATNRC	3-17
最後のコードを削除	最後のコードを削除	BATUND	3-18
すべてのコードを削除	すべてのコードを削除	BATCLR	3-18
保存したデータをホストへ送信	棚卸の記録を送信	BAT_TX	3-18
バッチモード：送信ディレイ（間隔）	* 無効	BATDLY0	3-18
	短（ミリ秒）	BATDLY250	3-18
	中（ミリ秒）	BATDLY500	3-18
	長（ミリ秒）	BATDLY1000	3-19
ホストコマンドの ACK	ホスト ACK 有効	HSTACK1	3-20
	* ホスト ACK 無効	HSTACK0	3-20
	Host ACK Timeout	HSTATO##	3-20
入力・出力設定			
起動ブザー	スキャナ、起動ブザー無効	BEPPWR0	4-1
	* スキャナ、起動ブザー有効	BEPPWR1	4-1
BEL ブザー	BEL ブザー 有効	BELBEP1	4-1
	*BEL ブザー 無効	BELBEP0	4-1
トリガークリック音	有効	BEPTRG1	4-1
	* 無効	BEPTRG0	4-1
読み取り成功時ブザー	無効	BEPBEP0	4-2
	* 有効	BEPBEP1	4-2
読み取り成功時ブザー：音量	無効	BEPLVL0	4-2
	* 低	BEPLVL1	4-2
	中	BEPLVL2	4-2
	* 大	BEPLVL3	4-2
読み取り成功時ブザー：音程	低（1600）（最低 400Hz）	BEPFQ11600	4-2
	* 中（2700 Hz）	BEPFQ12700	4-2
	高（4200Hz）（最大 9000Hz）	BEPFQ14200	4-2

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
振動：読み取り成功時	読み取り成功時の振動 無効	TFBGRD0	4-3
	* 読み取り成功時の振動 有効	TFBGRD1	4-3
	振動時間	TFBDUR#####	4-3
ブザー音程 - エラー	* 低 (250) (最小 200Hz)	BEPFQ2800	4-3
	* 中 (3250Hz)	BEPFQ23250	4-3
	高 (4200Hz) (最大 9000Hz)	BEPFQ24200	4-3
読み取り成功時ブザー：長さ	* 通常	BEPBIP0	4-4
	短	BEPBIP1	4-4
読み取り成功時：LED	無効	BEPLD0	4-4
	* 有効	BEPLD1	4-4
読み取り成功時ブザー：回数	*1	BEPRPT1	4-4
	1 - 9	BEPRPT#	4-4
エラーブザーの回数：	*1	BEPERR3	4-4
	1 - 9	BEPERR#	4-4
読み取り成功ディレイ	* ディレイなし	DLYGRD0	4-5
	短いディレイ (500 ミリ秒)	DLYGRD500	4-5
	中位のディレイ (1000 ミリ秒)	DLYGRD1000	4-5
	長いディレイ (1500 ミリ秒)	DLYGRD1500	4-5
ユーザー定義の読み取り成功ディレイ	0 - 30,000 ミリ秒	DLYGRD#####	4-5
マニュアルトリガーモード	* マニュアルトリガー 標準	PAPHHF	4-5
	マニュアルトリガー 強化	PAPHHS	4-5
シリアルトリガーモード	読み取りタイムアウト (0 - 300,000 ミリ秒) *30,000	TRGSTO#####	4-6
低品質コード	低品質 1D 読取有効	DECLDI1	4-6
	* 低品質 1D 読取無効	DECLDI0	4-6
	低品質 PDF 読取有効	PDFXPR1	4-6
	* 低品質 PDF 読取無効	PDFXPR0	4-7
CodeGate®	* スタンド不使用時 CodeGate 無効	AOSCGD0.	4-7
	スタンド不使用時 CodeGate 有 効	AOSCGD1.	4-7
ストリーミングプレゼンテーション	一時的ストリーミングプレゼン テーション *60,000 ミリ秒 (範囲 0- 3000 ミ リ秒)	TRGAPT#####	4-7
	ストリーミングプレゼンテーショ ンモード 標準	PAPSPN	4-7
	ストリーミングプレゼンテーショ ンモード 強化	PAPSPE	4-7
ハンズフリータイムアウト	0 - 300,000 ミリ秒	TRGPTO#####	4-8

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
携帯端末読み取りモード	手持ち読み取り - 携帯端末	PAPHHC	4-8
	ハンズフリー読み取り 携帯端末	PAPSPC	4-8
再読み取りディレイ	短 (500 ミリ秒)	DLYRRD500	4-8
	* 中 (750 ミリ秒)	DLYRRD750	4-8
	長 (1000 ミリ秒)	DLYRRD1000	4-9
	エクストラ (2000 ミリ秒)	DLYRRD2000	4-8
	ユーザー定義の再読み取りディレイ 0 ~ 30,000 ミリ秒	DLYRRD#####	4-9
2D 読み取りディレイ	* 2 D 再読み取りディレイ無効	DLY2RR0	4-9
	短 (1000ms)	DLY2RR1000	4-9
	中 (2000ms)	DLY2RR2000	4-9
	長 (3000ms)	DLY2RR3000	4-9
	エクストラ (4000ms)	DLY2RR4000	4-9
照明ライト	* 照明 有効	SCNLED1	4-10
	照明 無効	SCNLED0	4-10
エイマーディレイ	200 ミリ秒	SCNDLY200	4-10
	400 ミリ秒	SCNDLY400	4-10
	* 無効 (ディレイなし)	SCNDLY0	4-10
	ユーザー定義のエイマーディレイ 0 - 4,000 ミリ秒	SCNDLY#####	4-10
エイマーモード	無効	SCNAIM0	4-10
	* インターレース	SCNAIM2	4-11
センタリング	シングルコードセンタリング	DECWIN1;DECTOP49;DECBOT51;DECRGT51;DECLFT49.	4-11
カスタムセンタリング	センタリング 有効	DECWIN1	4-12
	* センタリング 無効	DECWIN0	4-12
	センタリングウィンドウ 左 (*40%)	DECLFT###	4-13
	センタリングウィンドウ 右 (*60%)	DECRGT###	4-13
	センタリングウィンドウ 上 (*40%)	DECTOP###	4-12
	センタリングウィンドウ 左 (*60%)	DECBOT###	4-12
優先シンボル	有効	PRFENA1	4-13
	* 無効	PRFENA0	4-13
	高優先度シンボル	PRFCOD##	4-13
	低優先度シンボル	PRFBLK##	4-14
	優先シンボルタイムアウト *500 ミリ秒 (範囲 100- 3000 ミリ秒)	PRFPPT#####	4-14
	優先シンボルのデフォルト	PRFDFT	4-14

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
アウトプットシーケンスエディタ	シーケンスの入力	SEQBLK	4-16
	シーケンスのデフォルト	SEQDFT	4-16
パーティカルシーケンス	パーティカルシーケンスの送信	SEQTTS1	4-16
	* パーティカルシーケンスの破棄	SEQTTS0	4-16
アウトプットシーケンス要求	要求する	SEQ_EN2	4-17
	有効、要求しない	SEQ_EN1	4-17
	* 無効	SEQ_EN0	4-17
複数シンボル	有効	SHOTGN1	4-17
	* 無効	SHOTGN0	4-17
No Read	有効	SHWNRD1	4-17
	* 無効	SHWNRD0	4-17
ビデオリバース（反転コード）	反転コードのみ 有効	VIDREV1	4-18
	反転および標準コード	VIDREV2	4-18
	* 反転バーコード 無効	VIDREV0	4-18
ワーキングオリエンテーション	* 正面	ROTATN0	4-19
	垂直、下から上（反時計回りに 90° 回転）	ROTATN1	4-19
	上下逆さ	ROTATN2	4-19
	垂直、上から下（時計回りに 90° 回転）	ROTATN3	4-19
プリフィクス/ サフィックスの設定			
すべてのシンボルに CR サフィックスを付加		VSUF CR	5-2
プリフィクス	プリフィクスの追加	PREBK2##	5-2
	1つのプリフィクスを削除	PRECL2	5-2
	すべてのプリフィクスを削除	PRECA2	5-3
サフィックス	サフィックスの追加	SUFBK2##	5-3
	1つのサフィックスを削除	SUFCL2	5-3
	すべてのサフィックスを削除	SUFCA2	5-3
ファンクションコード送信	* 有効	RMVFNC0	5-3
	無効	RMVFNC1	5-3
キャラクタ間ディレイ（間隔）	0 - 1000 ミリ秒（5 ミリ秒ごとの 設定）	DLYCHR##	5-4
ユーザー定義 キャラクタ間ディレイ（間隔）	ディレイ長 0 - 1000 ミリ秒（5 ミリ秒ごとの 設定）	DLYCRX##	5-4
	ユーザー定義のキャラクタ間ディ レイ	DLY_XX##	5-4
ファンクション間ディレイ	0 - 1000 ミリ秒（5 ミリ秒ごとの 設定）	DLYFNC##	5-5
メッセージ間ディレイ	0 - 1000 ミリ秒（5 ミリ秒ごとの 設定）	DLYMSG##	5-5

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
データフォーマットの設定			
データフォーマットエディタ	* データフォーマットの初期化 (なし)	DFMDF3	6-1
	データフォーマットの入力	DFMBK3##	6-2
	1つのデータフォーマットの削除	DFMCL3	6-2
	すべてのデータフォーマットの削除	DFMCA3	6-2
データフォーマット	データフォーマッタ 無効	DFM_EN0	6-13
	* データフォーマッタ 有効、 要求しない、 プリフィクス/サフィックス あり	DFM_EN1	6-14
	データフォーマット要求する、 プリフィクス/サフィックス あり	DFM_EN2	6-14
	データフォーマット 有効、 要求しない、 プリフィクス/サフィックス なし	DFM_EN3	6-14
	データフォーマット要求する、 プリフィクス/サフィックス なし	DFM_EN4	6-14
データフォーマット非適合エラー ブザー	* データフォーマット非適合エ ラーブザー 有効	DFMDEC0	6-14
	データフォーマット非適合エラ ーブザー 無効	DFMDEC1	6-14
基準・代用データフォーマット	基準データフォーマットの使用	ALTFNM0	6-15
	データフォーマット 1	ALTFNM1	6-15
	データフォーマット 2	ALTFNM2	6-15
	データフォーマット 3	ALTFNM3	6-15
データフォーマットの切り替え	基準データフォーマットへ切り替 え データフォーマット (基準デー タフォーマットへ切り替え)	VSAF_0	6-15
	データフォーマット 1へ切り替え	VSAF_1	6-15
	データフォーマット 2へ切り替え	VSAF_2	6-15
	データフォーマット 3へ切り替え	VSAF_3	6-15
シンボル			
All Symbolologies	すべてのシンボル 無効	ALLENA0	7-2
	すべてのシンボル 読み取り許可	ALLENA1	7-2
Codabar	すべての設定を初期化	CBRDFT	7-3
	無効	CBRENA0	7-3
	* 有効	CBRENA1	7-3
Codabar スタート/ストップキャラ クタ	* 送信しない	CBRSSX0	7-3
	送信する	CBRSSX1	7-3

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Codabar チェックキャラクタ	* チェックキャラクタなし	CBRCK20	7-3
	振動、送信しない	CBRCK21	7-3
	有効、送信する	CBRCK22	7-3
Codabar の連結	* 無効	CBRCCT0	7-4
	有効	CBRCCT1	7-4
	要求する	CBRCCT2	7-4
Codabar 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 60) *4	CBRMIN##	7-4
	最大読み取り桁数 (2 - 60) * 60	CBRMAX##	7-4
Code 39	すべての設定を初期化	C39DFT	7-5
	無効	C39ENA0	7-5
	* 有効	C39ENA1	7-5
Code 39 Start/Stop Char.	* 送信しない	C39SSX0	7-5
	送信する	C39SSX1	7-5
Code 39 Check Char.	* チェックキャラクタなし	C39CK20	7-5
	有効、送信しない	C39CK21	7-5
	有効、送信する	C39CK22	7-5
Code 39 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 48) *0	C39MIN##	7-6
	最大読み取り桁数 (0 - 48) * 48	C39MAX##	7-6
Code 39 の連結	* 無効	C39APP0	7-6
	有効	C39APP1	7-6
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	* 無効	C39B320	7-6
	有効	C39B321	7-6
Code 39 Full ASCII	* 無効	C39ASC0	7-7
	有効	C39ASC1	7-7
	Code 39 コードページ	C39DCP	7-7
Interleaved 2 of 5	すべての設定を初期化	I25DFT	7-8
	無効	I25ENA0	7-8
	* 有効	I25ENA1	7-8
Interleaved 2 of 5 チェックデジット	* チェックキャラクタなし	I25CK20	7-8
	有効、送信しない	I25CK21	7-8
	有効、送信する	I25CK22	7-8
Interleaved 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	I25MIN##	7-8
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	I25MAX##	7-8
NEC 2 of 5	すべての設定を初期化	N25DFT	7-9
	無効	N25ENA0	7-9
	* 有効	N25ENA1	7-9
NEC 2 of 5 チェックデジット	* チェックキャラクタなし	N25CK20	7-9
	有効、送信しない	N25CK21	7-9
	有効、送信する	N25CK22	7-9

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
NEC 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) * 4	N25MIN##	7-10
	最大読み取り桁数 (2 - 80) * 80	N25MAX##	7-10
Code 93	すべての設定を初期化	C93DFT	7-10
	無効	C93ENA0	7-10
	* 有効	C93ENA1	7-10
Code 93 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) * 0	C93MIN##	7-10
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	C93MAX##	7-10
Code 93 の連結	有効	C93APP1	7-11
	* 無効	C93APP0	7-11
Code 93 コードページ	Code 93 コードページ	C93DCP	7-11
Straight 2 of 5 Industrial	すべての設定を初期化	R25DFT	7-12
	* 無効	R25ENA0	7-12
	有効	R25ENA1	7-12
Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) * 4	R25MIN##	7-12
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	R25MAX##	7-12
Straight 2 of 5 IATA	すべての設定を初期化	A25DFT	7-13
Straight 2 of 5 IATA (2 バースタート / ストップ)	* 無効	A25ENA0	7-13
	有効	A25ENA1	7-13
Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 48) * 4	A25MIN##	7-13
	最大読み取り桁数 (1 - 48) * 48	A25MAX##	7-13
Matrix 2 of 5	すべての設定を初期化	X25DFT	7-14
	* 無効	X25ENA0	7-14
	有効	X25ENA1	7-14
Matrix 2 of 5 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 4	X25MIN##	7-14
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	X25MAX##	7-14
Code 11	すべての設定を初期化	C11DFT	7-15
	* 無効	C11ENA0	7-15
	有効	C11ENA1	7-15
Code 11 チェックデジットの要求	1 チェックデジット	C11CK20	7-15
	*2 チェックデジット	C11CK21	7-15
Code 11 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) * 4	C11MIN##	7-15
	最大読み取り桁数 (1 - 80) * 80	C11MAX##	7-15
Code 128	すべての設定を初期化	128DFT	7-16
	無効	128ENA0	7-16
	* 有効	128ENA1	7-16
ISBT の連結	* 無効	ISBENA0	7-16
	有効	ISBENA1	7-16
Code 128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (0 - 80) * 0	128MIN##	7-16
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	128MAX##	7-16

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Code 128 の連結	* 有効	128APP1	7-17
	無効	128APP0	7-17
Code 128 コードページ	Code 128 コードページ (*2)	128DCP##	7-17
GS1-128	すべての設定を初期化	GS1DFT	7-18
	* 有効	GS1ENA1	7-18
	無効	GS1ENA0	7-18
GS1-128 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 80) *1	GS1MIN##	7-18
	最大読み取り桁数 (0 - 80) * 80	GS1MAX##	7-18
Telepen	すべての設定を初期化	TELDFT	7-19
	* 無効	TELENA0	7-19
	有効	TELENA1	7-19
Telepen 出力	*AIM Telepen 出力	TELOLD0	7-19
	オリジナル Telepen 出力	TELOLD1	7-19
Telepen 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 60) *1	TELMIN##	7-19
	最大読み取り桁数 (1 - 60) * 60	TELMAX##	7-19
UPC-A	すべての設定を初期化	UPADFT	7-20
	無効	UPAENA0	7-20
	* 有効	UPAENA1	7-20
UPC-A チェックデジット	無効	UPACKX0	7-20
	* 有効	UPACKX1	7-20
UPC-A システム番号	無効	UPANSX0	7-20
	* 有効	UPANSX1	7-20
UPC-A 2 桁のアドオン	* 無効	UPAAD20	7-21
	有効	UPAAD21	7-21
UPC-A 5 桁のアドオン	* 無効	UPAAD50	7-21
	有効	UPAAD51	7-21
UPC-A アドオンの要求	* 要求しない	UPAARQ0	7-21
	要求する	UPAARQ1	7-21
UPC-A アドオン セパレータ	無効	UPAADS0	7-21
	* 有効	UPAADS1	7-21
拡張クーポンコード付き UPC-A/ EAN-13	* 無効	CPNENA0	7-22
	連結許可	CPNENA1	7-22
	連結必須	CPNENA2	7-22
クーポン GS1 データバー 出力	* GS1 出力 無効	CPNGS10	7-22
	GS1 出力 有効	CPNGS11	7-22
UPC-E0	すべての設定を初期化	UPEDFT	7-23
	無効	UPEEN00	7-23
	* 有効	UPEEN01	7-23
UPC-E0 拡張	* 無効	UPEEXP0	7-23
	有効	UPEEXP1	7-23

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
UPC-E0 アドオンの要求	要求する	UPEARQ1	7-23
	* 要求しない	UPEARQ0	7-23
UPC-E0 アドオンセパレータ	* 有効	UPEADS1	7-24
	無効	UPEADS0	7-24
UPC-E0 チェックデジット	無効	UPECKX0	7-24
	* 有効	UPECKX1	7-24
UPC-E0 Leading Zero	無効	UPENSX0	7-24
	* 有効	UPENSX1	7-24
UPC-E0 アドオン	2桁のアドオン 有効	UPEAD21	7-24
	* 2桁のアドオン 無効	UPEAD20	7-24
	5桁のアドオン 有効	UPEAD51	7-24
	* 5桁のアドオン 無効	UPEAD50	7-24
UPC-E1	* 無効	UPEEN10	7-25
	有効	UPEEN11	7-25
EAN/JAN-13	すべての設定を初期化	E13DFT	7-26
	無効	E13ENA0	7-26
	* 有効	E13ENA1	7-26
UPC-A から EAN-13 への変換	UPC-A から EAN-13 への変換	UPAENA0	7-26
	UPC-A の変換禁止	UPAENA1	7-26
EAN/JAN-13 チェックデジット	無効	E13CKX0	7-26
	* 有効	E13CKX1	7-26
EAN/JAN-132桁のアドオン	2桁のアドオン 有効	E13AD21	7-27
	* 2桁のアドオン 無効	E13AD20	7-27
	5桁のアドオン 有効	E13AD51	7-27
	* 5桁のアドオン 無効	E13AD50	7-27
EAN/JAN-13 アドオンの要求	* 要求しない	E13ARQ0	7-27
	要求する	E13ARQ1	7-27
EAN/JAN-13 アドオン セパレータ	無効	E13ADS0	7-27
	* 有効	E13ADS1	7-27
ISBN 変換	* 無効	E13ISB0	7-28
	有効	E13ISB1	7-28
EAN/JAN-8	すべての設定を初期化	EA8DFT	7-28
	無効	EA8ENA0	7-28
	* 有効	EA8ENA1	7-28
EAN/JAN-8 チェックデジット	無効	EA8CKX0	7-28
	* 有効	EA8CKX1	7-28
EAN/JAN-8 アドオン	* 2桁のアドオン 無効	EA8AD20	7-29
	2桁のアドオン 有効	EA8AD21	7-29
	* 5桁のアドオン 無効	EA8AD50	7-29
	5桁のアドオン 有効	EA8AD51	7-29

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
EAN/JAN-8 アドオンの要求	* 要求しない	EA8ARQ0	7-29
	要求する	EA8ARQ1	7-29
EAN/JAN-8 アドオン セパレータ	無効	EA8ADS0	7-29
	* 有効	EA8ADS1	7-29
MSI	すべての設定を初期化	MSIDFT	7-30
	* 無効	MSIENA0	7-30
	有効	MSIENA1	7-30
MSI チェックキャラクタ	* タイプ 10 有効、送信しない	MSICHK0	7-30
	タイプ 10 有効、送信する	MSICHK1	7-30
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信しない	MSICHK2	7-30
	タイプ 10 有効、2 キャラクタ、送信する	MSICHK3	7-30
	タイプ 10、そしてタイプ 11 有効、送信しない	MSICHK4	7-31
	タイプ 10、そしてタイプ 11 有効、送信する	MSICHK5	7-31
	MSI チェックキャラクタ無効	MSICHK6	7-31
MSI 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (4 - 48) *4	MSIMIN##	7-31
	最大読み取り桁数 (4 - 48) *48	MSIMAX##	7-31
GS1 データバー標準型 (オムニ ディレクショナル)	すべての設定を初期化	RSSDFT	7-32
	無効	RSSENA0	7-32
	* 有効	RSSENA1	7-32
GS1 データバー限定型 (リミテッ ド)	すべての設定を初期化	RSLDFT	7-32
	無効	RSLENA0	7-32
	* 有効	RSLENA1	7-32
GS1 DataBar 拡張型	すべての設定を初期化	RSEDFT	7-33
	無効	RSEENA0	7-33
	* 有効	RSEENA1	7-33
GS1 データバー 拡張型 読み取 り桁数	最小読み取り桁数 (4 - 74) *4	RSEMIN##	7-33
	最大読み取り桁数 (4 - 74) *74	RSEMAX##	7-33
Trioptic Code	* 無効	TRIENA0	7-33
	有効	TRIENA1	7-33
Codablock A	すべての設定を初期化	CBADFT	7-34
	* 無効	CBAENA0	7-34
	有効	CBAENA1	7-34
Codablock A 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 600) *1	CBAMIN###	7-34
	最大読み取り桁数 (1 - 600) *600	CBAMAX###	7-34
Codablock F	すべての設定を初期化	CBFDFT	7-35
	* 無効	CBFENA0	7-35
	有効	CBFENA1	7-35

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Codablock F 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1 - 2048) *1	CBFMIN####	7-35
	最大読み取り桁数 (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	7-35
ラベルコード	有効	LBLENA1	7-35
	* 無効	LBLENA0	7-35
PDF417	すべての設定を初期化	PDFDFT	7-36
	* 有効	PDFENA1	7-36
	無効	PDFENA0	7-36
MicroPDF417 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-2750) *1	PDFMIN####	7-36
	最大読み取り桁数 (1-2750) *2750	PDFMAX####	7-36
MacroPDF417	* 有効	PDFMAC1	7-37
	無効	PDFMAC0	7-37
MicroPDF417	すべての設定を初期化	MPDDFT	7-37
	有効	MPDENA1	7-37
	* 無効	MPDENA0	7-37
MicroPDF417 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-366) *1	MPDMIN###	7-37
	最大読み取り桁数 (1-366) *366	MPDMAX###	7-37
GS1 コンポジットシンボル	有効	COMENA1	7-37
	* 無効	COMENA0	7-37
UPC/EAN バージョン	有効	COMUPC1	7-38
	* 無効	COMUPC0	7-38
GS1 コンポジットシンボル 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-2435) *1	COMMIN####	7-38
	最大読み取り桁数 (1-2435) *2435	COMMAX####	7-38
GS1 エミュレーション	GS1-128 エミュレーション	EANEMU1	7-38
	GS1 データパーエミュレーション	EANEMU2	7-37
	GS1 コード拡張 無効	EANEMU3	7-39
	EAN8 から EAN13 へ転換	EANEMU4	7-39
	* GS1 エミュレーション 無効	EANEMU0	7-39
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	有効	T39ENA1	7-39
	* 無効	T39ENA0	7-39
QR コード	すべての設定を初期化	QRCDFT	7-40
	* 有効	QRCENA1	7-40
	無効	QRCENA0	7-40
QR コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-7089) *1	QRCMIN####	7-40
	最大読み取り桁数 (1-7089) *7089	QRCMAX####	7-40
QR コード 連結機能	* 有効	QRCAPP1	7-40
	無効	QRCAPP0	7-40
QR コードページ	QR コード コードページ (*3)	QRCDCP##	7-41

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Data Matrix	すべての設定を初期化	IDMDFT	7-41
	* 有効	IDMENA1	7-41
	無効	IDMENA0	7-41
Data Matrix 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-3116) *1	IDMMIN####	7-41
	最大読み取り桁数 (1-3116) *3116	IDMMAX####	7-41
Data Matrix コードページ	Data Matrix コードページ (*51)	IDMDCP##	7-42
MaxiCode	すべての設定を初期化	MAXDFT	7-42
	有効	MAXENA1	7-42
	* 無効	MAXENA0	7-42
MaxiCode 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-150) *1	MAXMIN###	7-42
	最大読み取り桁数 (1-150) *150	MAXMAX###	7-42
Aztec コード	すべての設定を初期化	AZTDFT	7-43
	* 有効	AZTENA1	7-43
	無効	AZTENA0	7-43
Aztec コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-3832) *1	AZTMIN####	7-43
	最大読み取り桁数 (1-3832) *3832	AZTMAX####	7-43
Aztec 連結機能	* 有効	AZTAPP1	7-43
	無効	AZTAPP0	7-43
Aztec コードページ	Aztec コードページ (*51)	AZTDCP##	7-44
中国郵便漢信 (Han Xin) コード	すべての設定を初期化	HX_DFT	7-44
	有効	HX_ENA1	7-44
	* 無効	HX_ENA0	7-44
中国郵便コード (漢信コード) 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (1-7833) *1	HX_MIN####	7-44
	最大読み取り桁数 (1-7833) *7833	HX_MAX####	7-44
2次元郵便コード			
2次元郵便コード (単独)	* 無効	POSTAL0	7-45
2次元郵便コード (単独)	オーストラリア郵便 有効	POSTAL1	7-45
	英国郵便 有効	POSTAL7	7-45
	カナダ郵便 有効	POSTAL30	7-45
	インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL10	7-45
	日本郵便 有効	POSTAL3	7-45
	KIX 有効	POSTAL4	7-45
	Planet コード 有効	POSTAL5	7-45
	Postal-4i 有効	POSTAL9	7-45
	Postnet コード 有効	POSTAL6	7-46
	Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL11	7-46
	Info Mail 有効	POSTAL2	7-46

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
2次元郵便コード（組み合わせ）	Infomail および英国郵便 有効	POSTAL8	7-46
	インテリジェントメールバーコード および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL20	7-46
	Postnet および Postal- 4i 有効	POSTAL14	7-46
	Postnet および インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL16	7-46
	Postal-4i および インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL17	7-46
	Postal-4i および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL19	7-46
	Planet および Postnet 有効	POSTAL12	7-46
	Planet および Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL18	7-47
	Planet および Postal-4i 有効	POSTAL13	7-47
	Planet および インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL15	7-47
	Planet, Postnet, および Postal-4i 有効	POSTAL21	7-47
	Planet, Postnet, および インテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL22	7-47
	Planet, Postal-4i, およびインテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL23	7-47
2次元郵便コード（組み合わせ） （続き）	Postnet, Postal-4i, およびインテリジェントメールバーコード 有効	POSTAL24	7-47
	Planet, Postal-4i, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL25	7-47
	Planet, インテリジェントメールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL26	7-47
	Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL27	7-47
	Planet, Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet 有効	POSTAL28	7-48
	Planet, Postal-4i, インテリジェントメールバーコード, Postnet B および B' フィールドつき 有効	POSTAL29	7-47
Planet Code チェックデジット	送信する	PLNCKX1	7-48
	送信しない	PLNCKX0	7-48
Postnet チェックデジット	送信する	NETCKX1	7-48
	* 送信しない	NETCKX0	7-48

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
オーストラリア郵便	バー出力	AUSINT0	7-49
	数字 N テーブル	AUSINT1	7-49
	英数字 C テーブル	AUSINT2	7-49
	N および C の組み合わせ	AUSINT3	7-49
郵便コード - 1 次元			
中国郵便コード (香港 2 of 5)	すべての設定を初期化	CPCDFT	7-49
	* 無効	CPCENA0	7-49
	有効	CPCENA1	7-49
中国郵便コード (香港 2 of 5) 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	CPCMIN##	7-49
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *80	CPCMAX##	7-49
韓国郵便コード	すべての設定を初期化	KPCDFT	7-50
	* 無効	KPCENA0	7-50
	有効	KPCENA1	7-50
韓国郵便コード 読み取り桁数	最小読み取り桁数 (2 - 80) *4	KPCMIN##	7-50
	最大読み取り桁数 (2 - 80) *48	KPCMAX##	7-50
韓国郵便コード チェックデジット	送信チェックデジット	KPCCHK1	7-50
	* チェックデジットを送信しない	KPCCHK0	7-50
イメージングコマンド			
画像の撮影	すべての設定を初期化	IMGDFT	8-1
	撮影スタイル : Decoding Style	SNPSTY0	8-1
	* 撮影スタイル : Photo Style	SNPSTY1	8-1
	撮影スタイル : Manual Style	SNPSTY2	8-1
	ブザー 有効	SNPBEP1	8-1
	* ブザー 無効	SNPBEP0	8-1
	* すぐに画像を撮影する	SNPTRG0	8-2
	トリガーが引かれてから画像を撮影する	SNPTRG1	8-2
	* LED オフ	SNPLED0	8-2
	LED オン	SNPLED1	8-2
	露光 (1-7874 ミリ秒)	SNPEXP	8-2
	* ゲインなし	SNPGAN1	8-2
	ゲイン 中	SNPGAN2	8-2
	ゲイン 高	SNPGAN4	8-2
	ゲイン 最大	SNPGAN8	8-2
	ホワイト値 (0-255) * 125	SNPWHT###	8-3
	ホワイト値許容範囲 (0-255) * 25	SNPDEL###	8-3
	アップデートトライ (0-10) * 6	SNPTRY##	8-3
	ターゲットポイント比率 (1-99) * 50	SNPPCT##	8-3
	画像の送信	* 無限遠フィルタ 無効	IMGINF0

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
画像の送信	無限遠フィルタ 有効	IMGINF1	8-4
	* 圧縮 無効	IMGCOR0	8-4
	圧縮 有効	IMGCOR1	8-4
	* ピクセル濃度 8bit グレースケール画像	IMGBPP8	8-4
	ピクセル濃度 1bit 白黒画像	IMGBPP1	8-4
	* 画像をシャープにしない	IMGEDG0	8-5
	画像をシャープにする (0-23)	IMGEDG##	8-5
	* ファイル形式 : JPEG	IMGFMT6	8-5
	ファイル形式 : KIM	IMGFMT0	8-5
	ファイル形式 : TIFF バイナリ	IMGFMT1	8-5
	ファイル形式 : TIFF バイナリグループ 4 圧縮	IMGFMT2	8-5
	ファイル形式 : TIFF グレースケール画像	IMGFMT3	8-5
	ファイル形式 : 無圧縮 バイナリ	IMGFMT4	8-5
	ファイル形式 : 無圧縮 グレースケール	IMGFMT5	8-5
	ファイル形式 : BMP	IMGFMT8	8-5
	* ヒストグラム ストレッチなし	IMGHIS0	8-6
	ヒストグラム ストレッチあり	IMGHIS1	8-6
	* ノイズの低減 無効	IMGFSP0	8-7
	ノイズの低減 有効	IMGFSP1	8-7
	X 軸に対して画像を上下反転	IMGNVX1	8-6
	Y 軸に対して画像を左右反転	IMGNVY1	8-6
	画像の回転なし	IMGROT0	8-7
	画像を右に 90° 回転	IMGROT1	8-7
	画像を右に 180° 回転	IMGROT2	8-7
	画像を左に 90° 回転	IMGROT3	8-7
	JPEG 画像品質 (1-100) * 50	IMGJQF###	8-7
	* ガンマ補正 無効	IMGGAM0	8-7
	ガンマ補正 有効 (1-1000)	IMGGAM###	8-7
	画像の切り取り : 左 (0-843) *0	IMGWNL###	8-8
	画像の切り取り : 右 (0-843) *843	IMGWNR###	8-8
	画像の切り取り : 上 (0-639) *0	IMGWNT###	8-8
	画像の切り取り : 下 (0-639) *639	IMGWNB###	8-8
	画像の切り取り : 余白 (1-238) *0	IMGMAR###	8-8
プロトコルなし (生データ)	IMGXFR0	8-8	

選択項目	設定 * 初期設定	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
画像の送信	プロトコルなし (USB 初期設定)	IMGXFR2	8-8
	プロトコル (Hmodem 圧縮)	IMGXFR3	8-8
	プロトコル (Hmodem)	IMGXFR4	8-8
	すべてのピクセルを送信	IMGSUB1	8-9
(続き)	2 ピクセルごとに送信	IMGSUB2	8-9
	3 ピクセルごとに送信	IMGSUB3	8-9
	* 文書画像フィルタ 無効	IMGUSH0	8-9
	文書画像フィルタ 有効 (0-255)	IMGUSH###	8-9
	* ヒストグラムを送信しない	IMGHST0	8-10
	ヒストグラムを送信する	IMGHST1	8-10
画像サイズの互換性	VGA 解像度の強制	IMGVGA1	8-10
	* 元の画像解像度	IMGVGA0	8-10
署名の取り込み	最適化 有効	DECBND1	8-11
	* 最適化 無効	DECBND0	8-11
ユーティリティ			
コード ID の追加すべての体系へテストコード ID を追加		PRECA2,BK2995C80!	9-1
デコーダの改訂情報を表示		REV_DR	9-1
ドライバの改訂情報を表示		REV_SD	9-1
ソフトウェアの改訂情報を表示		REVINF	9-1
データフォーマットの表示		DFMBK3?	9-1
テストメニュー	有効	TSTMNU1	9-2
	* 無効	TSTMNU0	9-2
プラグインアプリケーション	* デコードアプリアオン	PLGDCE1	9-2
	デコードアプリアオフ	PLGDCE0	9-2
	* (フォーマットアプリアオン	PLGFOE1	9-2
	フォーマットアプリアオフ	PLGFOE0	9-2
	アプリア一覧	PLGINF	9-2
工場出荷時設定の再設定 :	カスタムデフォルトの削除	DEFOVR	9-4
	デフォルトの有効化	DEFAULT	9-4



製品仕様

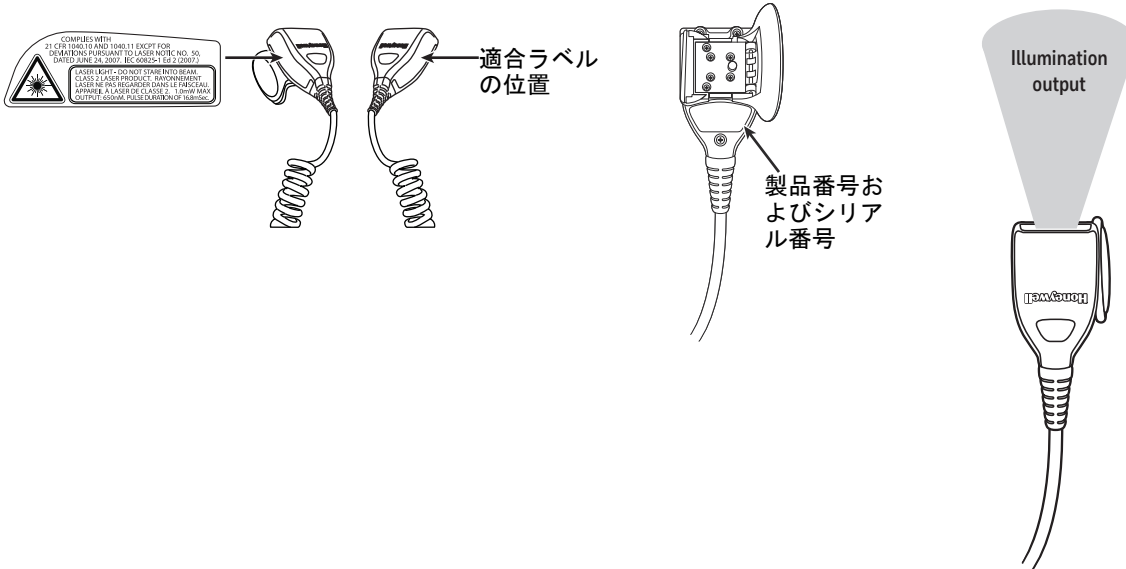
8670 ワイヤレスリングスキャナ製品仕様

パラメータ	仕様
機械仕様	
寸法：	
Bluetooth モジュール：	
高さ	28mm
長さ	78.2mm
幅	70mm
リングスキャナ：	
高さ	30.5mm
長さ	50.8mm
幅	30.5mm
重量	136g (4.8 オンス)
電気仕様	
バッテリー	
リチウムイオン	3.7v 750mAh
推定読取回数	最低 6,500 スキャン (4 秒に 1 回スキャンで 7 時間)
想定動作時間	1 分間に 8 回スキャンで 10 時間 1 分間に 15 回スキャンで 7 時間
想定充電時間	4 時間
照明	白色 LED (危険グループ免除)
エイミング	650nm 高視認性赤色レーザー (クラス 2)
無線	
周波数	2.4 - 2.5 GHz (ISM バンド) FH 方式 Bluetooth V2.1
範囲	見通距離 10m
データレート	1Mbps まで
環境仕様	
動作温度	-20 °C ~ 50 °C
保管温度	-20 °C ~ 60 °C
湿度	0 - 95% (結露無きこと)
落下	1.5m からコンクリートへ 30 回落下後動作
保護等級	IP54
耐振動	10 ~ 500 Hz で最大 10G に耐えること
耐静電気	20kV 空中放電、8kV 接触放電
画像	
イメージサイズ	844 x 640 ピクセル
読取性能	
ピッチ、スキュー	±45°、±60°
シンボルコントラスト	20%
移動読取：	全暗状態で、100% UPC を 10cm の距離で、最大 584cm/秒

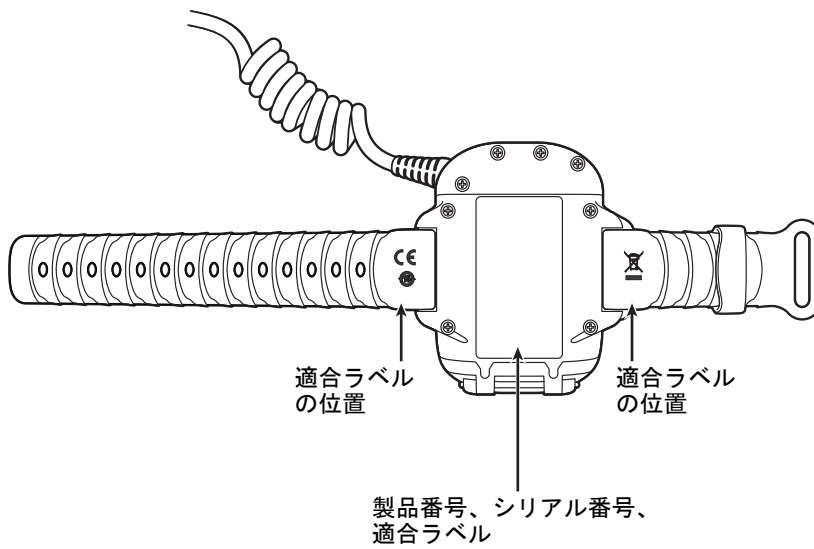
パラメータ	仕様
分解能	
標準性能	
0.127mm Code39	54 - 153mm (2.1 - 6 in.)
0.254mm Code 39	18 - 328mm (0.7 - 12.9 in.)
0.331mm UPC-A	36 - 409mm (1.4 - 16.1 in.)
0.171mm PDF417	36 - 175mm (1.4 - 6.9 in.)
0.254mm Data Matrix	43 - 193mm (1.7 - 7.6 in.)
保証性能	
0.127mm Code39	81 - 132mm (3.2 - 5.2 in.)
0.254mm Code 39	38 - 295mm (1.5 - 11.6 in.)
0.331mm UPC-A	43 - 371mm (1.7 - 14.6 in.)
0.171mm PDF417	54 - 158mm (2.1 - 6.2 in.)
0.254mm Data Matrix	64 - 175mm (2.5 - 6.9 in.)

必要な安全ラベル

8670 リングスキャナ



Bluetooth モジュール





保守とトラブルシューティング

修理

修理、アップグレードはこの製品に付属しておりません。これらのサービスは、かならず正規のサービスセンターで受けてください（[カスタマーサポート](#) iii ページ参照してください）。

保守

本機器は、最低限の手入れで確実に効率的な動作を提供します。特別な保守は不要ですが、以下の定期点検によって信頼性の高いスキャナの動作を確保できます。

スキャナの清掃

スキャナまたは Bluetooth モジュールの筐体が汚れている場合、柔らかい布やレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）にぬらして拭いてください。洗剤を使用する場合は、水だけで濡らしたきれいなレンズ用ティッシュで拭き取ってください。



注意:

スキャナを水に浸けないでください。スキャナのハウジングに耐水性はありません。

研磨剤入りの布やティッシュを使用しないでください。ウィンドウを傷つけることがあります。ハウジングやウィンドウには溶剤（アルコールやアセトンなど）を絶対に使用しないでください。

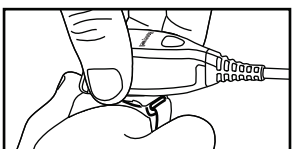
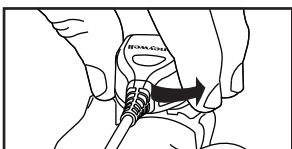
ウィンドウの清掃

スキャナのウィンドウの汚れが、スキャナの読み取り性能を低下させる原因になる場合があります。汚れが目立ったり、十分に動作しない場合は、柔らかい布やレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）で軽く濡らして窓を拭いてください。洗剤を使用する場合は、水だけで濡らしたきれいなレンズ用ティッシュで拭き取ってください。

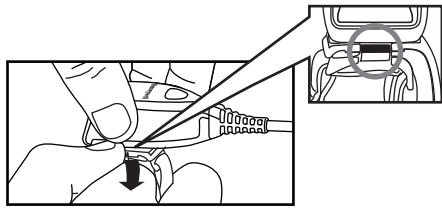
リングスキャナストラップおよびトリガーの交換

リングストラップ/IC リングの取り外し

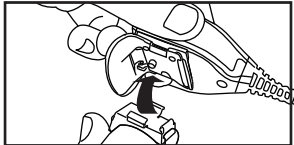
1. リングスキャナを 90 度回してください。



2. ラッチダウンを押してください。

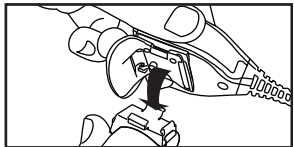


3. リングストラップまたはCリングを取り外してください。

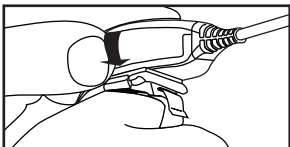


リングストラップ/Cリングの交換

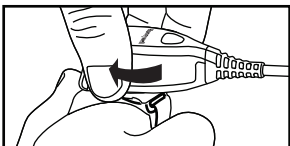
1. トリガーキャッチにリングラッチを接続してください。



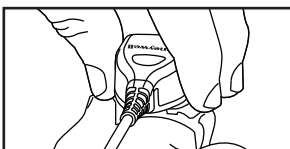
2. カチッというまで押してください。



3. 90度回してください。

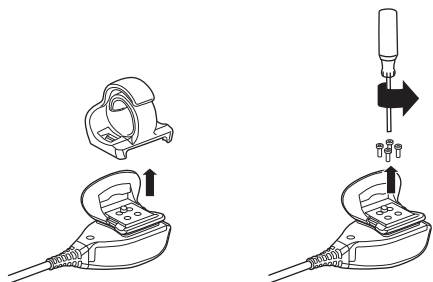


4. 読取ができます。

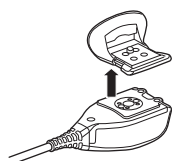


トリガーの交換

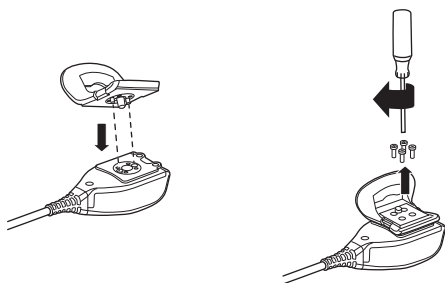
1. リングストラップまたはCリングを取り外し、トリガーを取り外すために4つのねじをはずしてください。



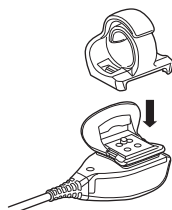
2. トリガーを取り外してください。



3. リングスキャナに新しいトリガーを置き4つのねじを締めてください。



4. リングストラップまたはCリングをカチッと取り付けてください。



トラブルシューティング

注意：バッテリーが充電されていることをご確認ください。

シンボルの読み取りでスキャナに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、以下の項目を確認してください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。
- スキャナと接続されているホストが有効か。

バーコードが読み取られてもデータが入力されませんか？

ホストシステムによっては、バーコードデータを入力するためにキーを押す必要がある場合があります。(Enter/Return キーや Tab キーなど。)

- サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージはバーコードデータと必要なキー（「CR」など）を出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。詳細については[プリフィクス/サフィックスについて](#) 5-1 ページを参照してください。

スキャナがバーコードをまったく読み取らない。

- 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。スキャナがサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。

お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください（[7 章](#)を参照。）

それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、[すべてのシンボル](#) 7-2 ページ（すべてのシンボル 有効）を読み取ってください。

付録チャート

シンボルチャート

注意：「m」は、AIM モディファイアのキャラクタを示します。AIM モディファイアキャラクタの詳細については、*International Technical Specification* の *Symbology Identifiers* を参照してください。

特定のシンボルに対するプリフィクス／サフィックスの入力は、汎用 (All Symbologies, 99) 入力に優先します。

コード ID と AIM ID の使用方法については、[データ編集 5-1 ページ](#)と[データフォーマット 6-1 ページ](#)を参照してください。

リニアシンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Codabar]Fm	0-1	a	61
Code 11]H3		h	68
Code 128]Cm	0, 1, 2, 4	j	6A
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)]X0		<	3C
Code 39 (Full ASCII モード対応)]Am	0, 1, 3, 4, 5, 7	b	62
TCIF Linked Code 39 (TLC39)]L2		T	54
Code 93 and 93i]Gm	0-9, A-Z, a-m	i	69
EAN]Em	0, 1, 3, 4	d	64
EAN-13 (Bookland EAN を含む)]E0		d	64
EAN-13 with Add-On (アドオン付き EAN-13)]E3		d	64
EAN-13 with Extended Coupon Code (拡張クーポンコード付き EAN-13)]E3		d	64
EAN-8]E4		D	44
EAN-8 with Add-On (アドオン付き EAN-13)]E3		D	44
GS1				
GS1 DataBar (GS1 データバー)]em	0	y	79
GS1 データバー限定型 (リミテッド)]em		{	7B
GS1 DataBar 拡張型]em		}	7D
GS1-128]C1		l	49
2 of 5				
中国郵便コード (香港 2 of 5)]X0		Q	51
Interleaved 2 of 5]lm	0, 1, 3	e	65
Matrix 2 of 5]X0		m	6D
NEC 2 of 5]X0		Y	59
Straight 2 of 5 IATA]Rm	0, 1, 3	f	66
Straight 2 of 5 Industrial]S0		f	66

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
MSI]Mm	0, 1	g	67
Telepen]Bm		t	74
UPC		0, 1, 2, 3, 8, 9, A, B, C		
UPC-A]E0		c	63
UPC-A with Add-On (アドオン付き UPC-A)]E3		c	63
UPC-A with Extended Coupon Code (拡張コード付き UPC-A)]E3		c	63
UPC-E]E0		E	45
UPC-E with Add-On (アドオン付き UPC-E)]E3		E	45
UPC-E1]X0		E	45

Honeywell Code ID 追加				5C80
AIM Code ID 追加				5C81
Backslash 追加				5C5C
Batch mode quantity			5	35

2次元シンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
すべてのシンボル				99
Aztec コード]zm	0-9, A-C	z	7A
Chinese Sensible Code (漢信コード)]X0		H	48
Codablock A]O6	0, 1, 4, 5, 6	V	56
Codablock F]Om	0, 1, 4, 5, 6	q	71
Code 49]Tm	0, 1, 2, 4	l	6C
Data Matrix]dm	0-6	w	77
GS1]em	0-3	y	79
GS1 Composite (GS1 コンポジット)]em	0-3	y	79
GS1 データバー標準型 (オムニディレクショナル)]em	0-3	y	79
MaxiCode]Um	0-3	x	78
PDF417]Lm	0-2	r	72
MicroPDF417]Lm	0-5	R	52
QR コード]Qm	0-6	s	73
Micro QR コード]Qm		s	73

郵便シンボル

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (<i>m</i>)	ID	Hex
すべてのシンボル				99

シンボル	AIM		Honeywell	
	ID	モディファイ (m)	ID	Hex
Australian Post (オーストラリア郵便)]X0		A	41
British Post (英国郵便)]X0		B	42
Canadian Post (カナダ郵便)]X0		C	43
China Post (中国郵便)]X0		Q	51
InfoMail]X0		,	2c
インテリジェントメールバーコード]X0		M	4D
日本郵便]X0		J	4A
KIX (Netherlands) Post (オランダ郵便)]X0		K	4B
Korea Post (韓国郵便)]X0		?	3F
Planet コード]X0		L	4C
Postal-4i]X0		N	4E
Postnet]X0		P	50

ASCII 変換チャート (コードページ1252)

キーボードアプリケーションで、ASCII コントロールキャラクタは以下のように3つの異なる方法で表現されます。CTRL+X ファンクションキーは OS とアプリケーションによって異なります。以下のテーブルは Microsoft で使用される共通の機能のリストです。この表は、米国方式のキーボードに適用されます。特定のキャラクタは、国コード / PC の地域設定によって異なる場合があります。

印刷不可能な キャラクタ		ASCII コントロール	キーボードコントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	コントロール + X モードオフ (KBDCAS0)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
				CTRL + X	CTRL + X function
0	00	NUL	Reserved	CTRL+ @	
1	01	SOH	NP Enter	CTRL+ A	Select all
2	02	STX	Caps Lock	CTRL+ B	Bold
3	03	ETX	ALT Make	CTRL+ C	Copy
4	04	EOT	ALT Break	CTRL+ D	Bookmark
5	05	ENQ	CTRL Make	CTRL+ E	Center
6	06	ACK	CTRL Break	CTRL+ F	Find
7	07	BEL	Enter / Ret	CTRL+ G	
8	08	BS	(Apple Make)	CTRL+ H	History
9	09	HT	タブ	CTRL+ I	Italic
10	0A	LF	(Apple Break)	CTRL+ J	Justify
11	0B	VT	タブ	CTRL+ K	hyperlink
12	0C	FF	削除	CTRL+ L	list, left align
13	0D	CR	Enter / Ret	CTRL+ M	
14	0E	SO	Insert	CTRL+ N	New
15	0F	SI	ESC	CTRL+ O	Open
16	10	DLE	F11	CTRL+ P	印刷
17	11	DC1	ホーム	CTRL+ Q	Quit
18	12	DC2	PrtScn	CTRL+ R	
19	13	DC3	バックスペース	CTRL+ S	保存
20	14	DC4	バックタブ	CTRL+ T	
21	15	NAK	F12	CTRL+ U	

印刷不可能な キャラクタ		ASCII コントロール	キーボードコントロール + ASCII (CTRL+X) モード		
DEC	HEX	Char	コントロール + X モードオフ (KBDCAS0)	Windows モードコントロール + X モードオン (KBDCAS2)	
DEC	HEX	Char		CTRL + X	CTRL + X function
22	16	SYN	F1	CTRL+ V	Paste
23	17	ETB	F2	CTRL+ W	
24	18	CAN	F3	CTRL+ X	
25	19	EM	F4	CTRL+ Y	
26	1A	SUB	F5	CTRL+ Z	
27	1B	ESC	F6	CTRL+ [
28	1C	FS	F7	CTRL+ \	
29	1D	GS	F8	CTRL+]	
30	1E	RS	F9	CTRL+ ^	
31	1F	US	F10	CTRL+ -	
127	7F	Δ	NP Enter		

下位 ASCII リファレンステーブル

注意 : Windows コードページ 1252 および 下位 ASCII は同じキャラクタを使用します。

印刷可能なキャラクタ								
DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字
32	20	<SPACE>	64	40	@	96	60	`
33	21	!	65	41	A	97	61	a
34	22	"	66	42	B	98	62	b
35	23	#	67	43	C	99	63	c
36	24	\$	68	44	D	100	64	d
37	25	%	69	45	E	101	65	e
38	26	&	70	46	F	102	66	f
39	27	'	71	47	G	103	67	g
40	28	(72	48	H	104	68	h
41	29)	73	49	I	105	69	i
42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
48	30	0	80	50	P	112	70	p
49	31	1	81	51	Q	113	71	q
50	32	2	82	52	R	114	72	r
51	33	3	83	53	S	115	73	s
52	34	4	84	54	T	116	74	t
53	35	5	85	55	U	117	75	u
54	36	6	86	56	V	118	76	v
55	37	7	87	57	W	119	77	w
56	38	8	88	58	X	120	78	x
57	39	9	89	59	Y	121	79	y
58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
59	3B	;	91	5B	[123	7B	{

印刷可能なキャラクタ (つづき)

DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字	DEC	HEX	文字
60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
63	3F	?	95	5F	_	127	7F	△

拡張 ASCII キャラクタ

DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
128	80	€	Ç	up arrow ↑	0x48
129	81		ü	down arrow ↓	0x50
130	82	‚	é	right arrow →	0x4B
131	83	ƒ	â	left arrow ←	0x4D
132	84	„	ä	Insert	0x52
133	85	…	à	削除	0x53
134	86	†	á	ホーム	0x47
135	87	‡	ç	終了	0x4F
136	88	ˆ	ê	ページアップ	0x49
137	89	‰	ë	ページダウン	0x51
138	8A	Š	è	Right ALT	0x38
139	8B	Ƶ	ì	Right CTRL	0x1D
140	8C	Œ	í	Reserved	n/a
141	8D		î	Reserved	n/a
142	8E	Ž	Ā	Numeric Keypad Enter	0x1C
143	8F		Ă	Numeric Keypad /	0x35
144	90		Ē	F1	0x3B
145	91	ˆ	æ	F2	0x3C
146	92	ˆ	Æ	F3	0x3D
147	93	ˆ	ö	F4	0x3E
148	94	ˆ	ö	F5	0x3F
149	95	ˆ	ò	F6	0x40
150	96	ˆ	ù	F7	0x41
151	97	ˆ	ù	F8	0x42
152	98	ˆ	ÿ	F9	0x43
153	99	™	Ö	F10	0x44
154	9A	Š	Û	F11	0x57
155	9B	ˆ	ç	F12	0x58
156	9C	œ	£	Numeric Keypad +	0x4E
157	9D	ˆ	¥	Numeric Keypad -	0x4A
158	9E	ž	Pts	Numeric Keypad *	0x37
159	9F	Ÿ	ƒ	Caps Lock	0x3A
160	A0		á	Num Lock	0x45
161	A1	ı	í	Left Alt	0x38
162	A2	ç	ó	Left Ctrl	0x1D
163	A3	£	ú	Left Shift	0x2A
164	A4	¤	ñ	Right Shift	0x36
165	A5	¥	Ñ	印刷画面	n/a
166	A6	ı	ª	タブ	0x0F
167	A7	§	º	Shift Tab	0x8F

拡張 ASCII キャラクタ (つづき)

DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
168	A8	•	¿	エンター	0x1C
169	A9	©	¸	Esc	0x01
170	AA	ª	¸	Alt Make	0x36
171	AB	«	½	Alt Break	0xB6
172	AC	¸	¼	Control Make	0x1D
173	AD	¸	¸	Control Break	0x9D
174	AE	®	«	Alt Sequence with 1 Character	0x36
175	AF	¸	»	Ctrl Sequence with 1 Character	0x1D
176	B0	°	•		
177	B1	±	•		
178	B2	²	•		
179	B3	³			
180	B4	´			
181	B5	µ			
182	B6	¶			
183	B7	·			
184	B8	¸			
185	B9	¹			
186	BA	º			
187	BB	»			
188	BC	¼			
189	BD	½			
190	BE	¾			
191	BF	¿			
192	C0	À	À		
193	C1	Á	Á		
194	C2	Â	Â		
195	C3	Ã	Ã		
196	C4	Ä	Ä		
197	C5	Å	Å		
198	C6	Æ	Æ		
199	C7	Ç	Ç		
200	C8	È	È		
201	C9	É	É		
202	CA	Ê	Ê		
203	CB	Ë	Ë		
204	CC	Ì	Ì		
205	CD	Í	Í		
206	CE	Î	Î		
207	CF	Ï	Ï		
208	D0	Ð	Ð		
209	D1	Ñ	Ñ		
210	D2	Ò	Ò		
211	D3	Ó	Ó		
212	D4	Ô	Ô		
213	D5	Õ	Õ		
214	D6	Ö	Ö		
215	D7	×	×		

拡張 ASCII キャラクタ (つづき)

DEC	HEX	CP 1252	ASCII	代替拡張	PS2 Scan Code
216	D8	ø	⏏		
217	D9	ù	⏑		
218	DA	ú	⏒		
219	DB	û	■		
220	DC	ü	■		
221	DD	ÿ	■		
222	DE	þ	■		
223	DF	ÿ	■		
224	E0	à	α		
225	E1	á	β		
226	E2	â	Γ		
227	E3	ã	Π		
228	E4	ä	Σ		
229	E5	å	σ		
230	E6	æ	μ		
231	E7	ç	τ		
232	E8	è	Φ		
233	E9	é	Θ		
234	EA	ê	Ω		
235	EB	ë	δ		
236	EC	ì	∞		
237	ED	í	φ		
238	EE	î	ε		
239	EF	ï	∩		
240	F0	ò	≡		
241	F1	ñ	≠		
242	F2	ó	∇		
243	F3	ô	κ		
244	F4	õ	⏓		
245	F5	ö	⏔		
246	F6	÷	÷		
247	F7	+	∞		
248	F8	ø	°		
249	F9	ù	·		
250	FA	ú	·		
251	FB	û	√		
252	FC	ü	²		
253	FD	ý	²		
254	FE	þ	■		
255	FF	ÿ			

ISO 2022/ISO 646 キャラクタ変換

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、バーコードが作成されたときのコードページを選択してください。これでデータキャラクタが正しく表示されます。

コードページ選択方法 / 国	標準	国別キーボード	Honeywell コードページオプション
アメリカ (standard ASCII)	ISO/IEC 646-IRV	n/a	1
自動国キャラクタ置換	ISO/IEC 2022	n/a	2 (デフォルト)
バイナリコードページ	n/a	n/a	3
デフォルトの“自動国キャラクタ置換”は以下の Code128、Code 39、Code 93. 用 Honeywell コードページオプションを選択します。			
アメリカ	ISO/IEC 646-06	0	1
カナダ	ISO /IEC 646-121	54	95
カナダ	ISO /IEC 646-122	18	96
日本	ISO/IEC 646-14	28	98
中国	ISO/IEC 646-57	92	99
イギリス (UK)	ISO /IEC 646-04	7	87
フランス	ISO /IEC 646-69	3	83
ドイツ	ISO/IEC646-21	4	84
スイス	ISO /IEC 646-CH	6	86
スウェーデン / フィンランド (拡張 Annex C)	ISO/IEC 646-11	2	82
アイルランド	ISO /IEC 646-207	73	97
デンマーク	ISO/IEC 646-08	8	88
ノルウェー	ISO/IEC 646-60	9	94
イタリア	ISO/IEC 646-15	5	85
ポルトガル	ISO/IEC 646-16	13	92
スペイン	ISO/IEC 646-17	10	90
スペイン	ISO/IEC 646-85	51	91

Dec			35	36	64	91	92	93	94	96	123	124	125	126
Hex			23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
US	0	1	#	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
CA	54	95	#	\$	à	â	ç	ê	î	ô	é	ù	è	û
CA	18	96	#	\$	à	â	ç	ê	É	ô	é	ù	è	û
JP	28	98	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	-
CN	92	99	#	¥	@	[\]	^	`	{		}	-
GB	7	87	£	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
FR	3	83	£	\$	à	°	ç	§	^	μ	é	ù	è	..
DE	4	84	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
CH	6	86	ù	\$	à	é	ç	ê	î	ô	ä	ö	ü	û
SE/FI	2	82	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
DK	8	88	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
NO	9	94	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	-
IE	73	97	£	\$	Ó	É	Í	Ú	Á	ó	é	í	ú	á
IT	5	85	£	\$	§	°	ç	é	^	ù	à	ò	è	ì
PT	13	92	#	\$	§	Ã	Ç	Õ	^	`	ã	ç	õ	°
ES	10	90	#	\$	§	í	Ñ	¿	^	`	°	ñ	ç	~
ES	51	91	#	\$	·	í	Ñ	Ç	¿	`	·	ñ	ç	..
国	国キ	ーホ	ISO / IEC 646 国キ											
	ーポ	ー	コード											
		ベ	ー											
		ー	Honeywell											
		ー	コード											
		ー	ベ											
		ー	ー											

キーボードキーリファレンス

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E							
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5A	5F	64	69		
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	2B	4C	51	56	5B	60	65	6A		
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A				5C	61	66				
2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39	53	5D	62	67				6C		
3A	3B	3C				3D						3E	3F	38	40	4F	54	59	63	68		

104 キー アメリカスタイルキーボード

6E	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E							
01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0F	4B	50	55	5A	5F	64	69		
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	1A	1B	1C	2B	4C	51	56	5B	60	65	6A		
1E	1F	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A				5C	61	66				
2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	39	53	5D	62	67				6C		
3A	3B	3C				3D						3E	3F	38	40	4F	54	59	63	68		

105 キー ヨーロッパスタイルキーボード

サンプルシンボル

UPC-A



0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



1234567890

EAN-13



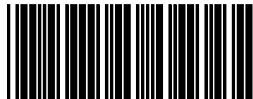
9 780330 290951

Code 128



Code 128

Code 39



BC321

Codabar



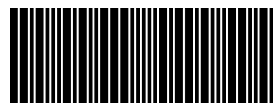
A13579B

Code 93



123456-9S

Code 2 of 5



123456

Matrix 2 of 5



6543210

RSS-14



?01?00123456789012

サンプルシンボル

PDF417



Car Registration

Code 49



1234567890

Postnet



Zip Code

Data Matrix



Test Symbol

QR ???



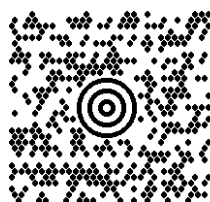
Numbers

Aztec



Package Label

MaxiCode



Test Message

Micro PDF417



Test Message

プログラミングチャート



K0K

0



K2K

2



K4K

4



K6K

6



K8K

8



K1K

1



K3K

3



K5K

5



K7K

7



K9K

9

プログラミングチャート



KAK
A



KBK
B



KCK
C



KDK
D



KEK
E



KFK
F



MNUSAV.
Save (保存)



MNUABT.
Discard (破棄)



RESET_
Reset

注意：Save を読み取る前に文字または数字をスキャンしエラーした場合は、Discard (破棄) を読み取り、正確に文字または数字をもう一度スキャンして、Save (保存) を読み取ってください。

